消防年報

令和７年



粕屋南部消防組合消防本部

令和８年１０月刊行

はしがき

この消防年報は、粕屋南部消防組合消防本部の消防現勢及び令和7年中の消防統計などを広く紹介するため収録したものです。

なお、この消防年報の統計資料は、原則として暦年をもってあらわしていますが、予算に関する事項については、会計年度で収録し、一部については、当該表に記載した年月日をもってあらわしています。

令和8年10月







目　次

はしがき

総括編

管内の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
管内面積・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
管轄エリア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
構成町の横顔・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
管内人口・管内世帯数の推移・・・・・・・・・・・・10
消防組合の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
消防庁舎の現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
粕屋南部消防組合組織図・・・・・・・・・・・・・・16
消防本部の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・17
消防署の事務分掌・・・・・・・・・・・・・・・・・19
防災センターの紹介・・・・・・・・・・・・・・・・20
防災センター利用状況・・・・・・・・・・・・・・・21
消防組合消防本部の沿革・・・・・・・・・・・・・・22

総務編

令和７年度消防組合（一般会計）決算額　・・・・・34
消防組合の財政・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
令和８年度消防組合（一般会計）当初予算　・・・・35
令和８年度構成町分担金　・・・・・・・・・・・・36
当初予算の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
消防相互応援協定等の状況・・・・・・・・・・・・37
消防力の基準と現有の比較・・・・・・・・・・・・39
職員の特殊技能免許・有資格・・・・・・・・・・・40
職員の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
職員の階級別年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・42
職員の階級別勤務年数・・・・・・・・・・・・・・・43
職員の研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
職員互助会及びクラブ活動・・・・・・・・・・・・47

予防編

防火対象物現況表・・・・・・・・・・・・・・・・・50
防火対象物の予防査察状況・・・・・・・・・・・・51
建築確認同意事務処理状況・・・・・・・・・・・・52
中高層建築物（４階以上）の現況・・・・・・・・・53
防火管理者選任状況・・・・・・・・・・・・・・・・54
消防用設備等着工届出事務処理状況・・・・・・・・54
危険物施設状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況・・・55
液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況・・・・56
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況・・・・56
手数料収入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
町別危険物設置許可施設・事業所数状況・・・・・・57
製造所等状況グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・57
粕屋南部地域防災協会・・・・・・・・・・・・・・・58
幼年・少年消防クラブ・・・・・・・・・・・・・・・59

警防編

警防
車両の保有状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・62
消防車両紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
火災の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・67
火災の総括表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
火災件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
建物火災における罹災状況・・・・・・・・・・・・74
出火原因の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
過去５年間の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・76
月別・各町建物火災総括表・・・・・・・・・・・・80
消防水利状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・81
救急
救急の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・82
救急の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
出動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
搬送状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・88
所要時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
救急隊員の行った応急処置件数・・・・・・・・・・93
不搬送状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・94
応急手当の普及啓発活動状況・・・・・・・・・・・94
救助
救助の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
救助の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97
救助機械器具等の保有状況・・・・・・・・・・・・99
通信
通信指令系統図・・・・・・・・・・・・・・・・・100
月別１１９着信数内訳・・・・・・・・・・・・・・101
類別１１９着信割合・・・・・・・・・・・・・・・101

消防団編

消防団の歴史・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
消防団の組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
消防団員の年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・108
消防団員の勤務年数・・・・・・・・・・・・・・・109
消防団装備状況・・・・・・・・・・・・・・・・・109
火災出場状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・109
消防連絡協議会・・・・・・・・・・・・・・・・・110

総括編

1　管内の概要・・・・・・・・・・・・・・・6
2　管内面積・・・・・・・・・・・・・・・・6
3　管轄エリア・・・・・・・・・・・・・・・7
4　構成町の横顔・・・・・・・・・・・・・・8
5　管内人口・管内世帯数の推移・・・・・10
6　消防組合の組織・・・・・・・・・・・・11
7　消防庁舎の現況・・・・・・・・・・・・13
8　粕屋南部消防組合組織図・・・・・・・16
9　消防本部の事務分掌・・・・・・・・・17
10　消防署の事務分掌・・・・・・・・・・19
11　防災センターの紹介・・・・・・・・・20
12　防災センター利用状況・・・・・・・・21
13　消防組合消防本部の沿革・・・・・・・22

1　管内の概要

本組合は福岡県の中西部で糟屋郡の中南部に位置する。

区域は、南北に約 20km、東西に約 15km で、北東から東にかけては犬鳴峠と八木山峠との稜線を結び、南東は若杉山に連なる三郡の山々が延びており、南側には四王寺山脈がそびえている。これらを境に、北東から南東及び南側は宮若市、飯塚市、筑紫野市、太宰府市、大野城市と接し北側は古賀市、新宮町と西側は一部の丘陵地を除きほぼ平坦な地形のまま福岡市博多区、東区とそれぞれ隣接している。

管内の中央を国道 201 号線が東西に横断し、西寄りには九州自動車道が南北に亘って約 12km 縦断している。又、管内の北側には山陽新幹線が北東から南西にかけて横切っている。当組合は、福岡都心から半径僅か 10km の範囲内にあって、しかも福岡空港から約 5km、さらに福岡県庁から約 8km という距離のため、福岡都市圏として今後益々の発展が予想される。

中南部地域は 70 数年に亘り操業してきた国鉄志免鉱業所（旧海軍炭坑）や小炭坑の開坑により、鉱業や商工業の町として隆盛を極めたが、昭和 39 年志免鉱業所の閉山によってその隆盛にも終止符が打たれた。

その後産炭地振興による工業団地の開発、中小企業、大型店舗の進出及び福岡市の東部に隣接する好立地条件から、都市圏のベットタウンとして大型団地造成がなされ人口が急増して今や福岡都市圏として重要な地域をしめている。

また、南部には史跡と自然に包まれた「四王寺県民の森」や国の天然記念物大楠が社前にそびえ立つ安産の神様、宇美八幡宮があり、須恵町の高鳥居城跡、木造十一面観音立像、須恵焼窯跡などと共に歴史に名高い。

さらに管内のほぼ中心にそびえる若杉山、岳城山の山麓から北方にかけては、城戸の真言宗南蔵院を中心に篠栗新四国八十八カ所があって「お遍路」の名として親しく、犬鳴連山のふもとに位置した北端の久山町は、伊野皇大神宮や猪野公園を背に、連山の谷間をぬった清流と豊富な森林資源を生かした健康町づくりが、ユニークな町行政として注目をあつめている。

このように管内は美しい緑と自然に囲まれた福岡都市圏の住宅や産業・経済の町として「住みよい町づくり」を目指して大きくはばたいている。

2　管内面積

町別	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	計
面積	8.69 ㎢	30.21 ㎢	16.31 ㎢	14.13 ㎢	38.93 ㎢	37.44 ㎢	145.71 ㎢

粕屋南部消防本部

3 管轄エリア

Jurisdiction area



管内主要連絡先

Contact information

【町役場】

- 志免町役場 092-935-1001
- 宇美町役場 092-932-1111
- 須恵町役場 092-932-1151
- 粕屋町役場 092-938-2311
- 篠栗町役場 092-947-1111
- 久山町役場 092-976-1111

【消防署】

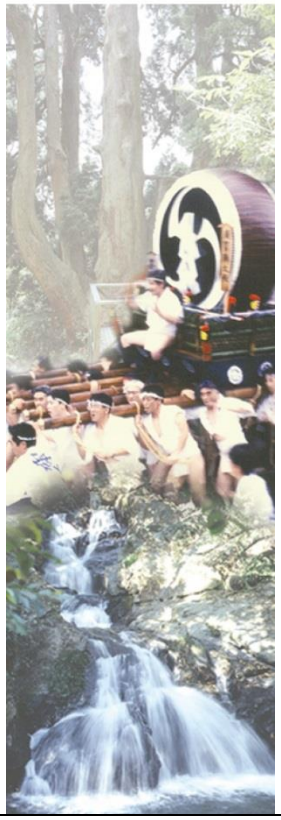
- 消防本部・南部消防署 092-935-5111
- 中部消防署 092-938-3216
  中部消防署　西出張所 ☎092-629-6271
  【休日診療所】
- 粕屋中南部休日診療所 092-652-3119

４　構成町の横顔

南部消防署管内

志免町（しめまち）	宇美町（うみまち）	須恵町（すえまち）
		
志免町総合福祉施設「シーメイト」は、・総合的情報の発信基地・自立の共存を図る・誰もがフリーアクセスできる。をコンセプトに福祉事業の拠点となっています。	宇美八幡宮は、神功皇后が新羅遠征から帰還して、この地で応神天皇をお産みになったことから安産の神様として全国的に知られ、町名も「産み」に由来します。	上須恵須賀神社「祇園山笠」は、明治時代中ごろから始まり、毎年７月下旬の「かき山」の１週間前から飾り山が飾られ、当日は勇壮に町内を駆け抜けます。
岩崎神社で毎年９月に行われる伝統行事「石投げ相撲」の起源は江戸時代末期とされ、見物客が石を投げ合うほどに熱中したことが名前の由来という。現在は、子供相撲や赤ちゃんの土俵入りが行われ青少年の健全育成に大きな役割を果たしています。	宇美八幡宮に毎年４月１５日と１０月１５日に奉納される神楽で清楚で神への敬謙さが、よく表現され、現在も神楽座が構成されて、熱心に受け継がれています。 （県指定無形民俗文化財）	「左谷山建正寺」に安置されている「木造十一面観音立像」（県指定有形文化財）は、十一の面に人々の苦しみを救う力を秘めているといわれ、発見当時は傷みが激しく、修復後は厳重に安置されていますが、年に一度だけ、４月に一般公開され拝観できます。
町の花：サクラ	町の花：ツクシシャクナゲ	町の花：つつじ

中部消防署管内

粕屋町（かすやまち）	篠栗町（ささぐりまち）	久山町（ひさやままち）
		
筑前三大大池のひとつ駕与丁（かよいちょう）池が「駕与丁公園」として整備され、住民の憩いの場となっており、公園内の粕屋町総合体育館「かすやドーム」は、円形状の屋根が青い空と池の湖面によくマッチしています。	若杉山の大和の森には計５本の巨大杉が天高く伸び、森の巨人たち百選に選ばれている「トウダの二股杉」や５本の中でも最も大きな「大和の大杉」は幹周 16.15m、樹高 40m あり、大自然の偉大さ、雄大さが体中を包みます。	伊野皇大神宮沿いを緩やかに流れる猪野川と久原川の上流は、螢の生息地として有名で、猪野川の源氏螢、久原川の平家螢の乱舞するひかりは、幻想的な世界を作り出します。
２１世紀の粕屋町の祭りとして「よさこい祭り」が推奨され、毎年かすやドームをメイン会場として、老若男女を問わず、町民多数が参加し楽しいお祭りが開催されています。	篠栗町で開催される夏のイベント「篠栗祇園夏まつり」では、昔ながらの風情漂う 100 店もの露店が並び祭りのムードを盛り上げ、夜にはフィナーレに花火が打ち上げられます。	久山欅太鼓は、ジュニアからシニアまでの４チームで編成し、地元の祭りや各地区のイベント、福祉施設の慰問などで活躍され、青少年の健全育成に大きな役割を担っています。
町の花：バラ	五塔の滝：鳴渕川渓流の滝	町の花：えびね

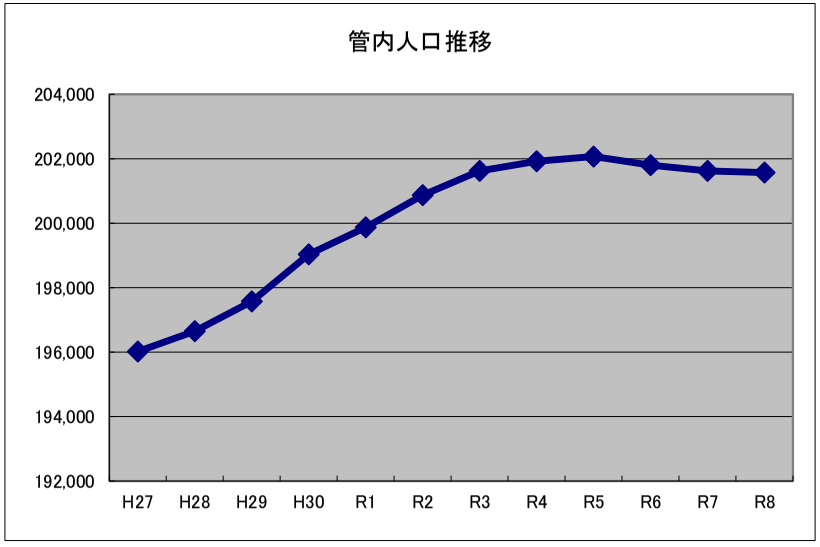
※掲載写真は、本部エントランスに掲げるタペストリーの写真です。

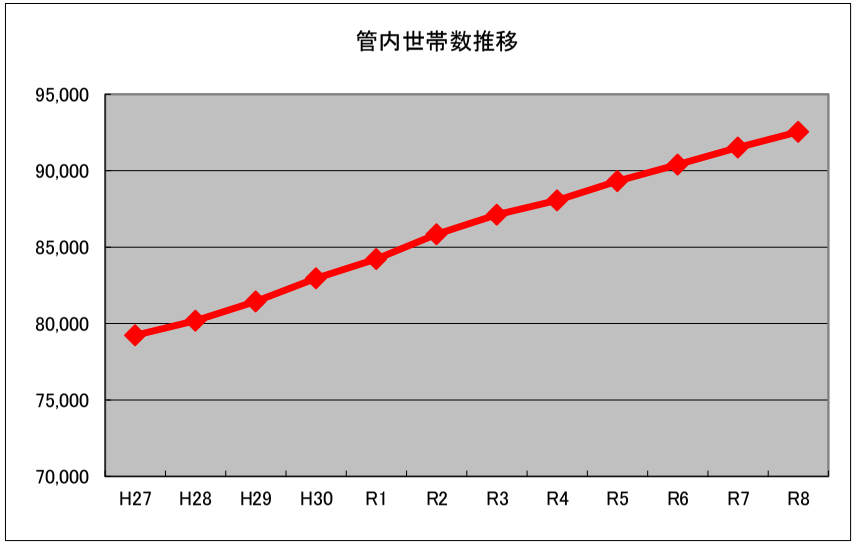
文章は写真の上、中、下段について、それぞれ説明しています。

５　管内人口・管内世帯数の推移

令8年4月1日現在

区分 / 年	志免町		宇美町		須恵町		粕屋町		篠栗町		久山町		合　計	
	人　口	世帯数	人　口	世帯数	人　口	世帯数	人　口	世帯数	人　口	世帯数	人　口	世帯数	人　口	世帯数
H27	45,684	18,844	37,657	15,091	27,539	10,842	45,241	18,687	31,545	12,759	8,353	3,007	**196,019**	**79,230**
H28	45,641	19,008	37,411	15,174	27,692	11,013	45,785	18,999	31,659	12,881	8,460	3,114	**196,648**	**80,189**
H29	45,644	19,213	37,273	15,316	27,812	11,182	46,668	19,521	31,551	12,992	8,622	3,220	**197,570**	**81,444**
H30	45,835	19,502	37,359	15,524	28,294	11,528	47,218	19,886	31,506	13,132	8,821	3,387	**199,033**	**82,959**
R1	46,080	19,736	37,299	15,684	28,628	11,820	47,530	20,235	31,373	13,240	8,963	3,507	**199,873**	**84,222**
R2	46,407	20,096	37,295	15,982	28,666	12,010	47,938	20,677	31,496	13,484	9,065	3,595	**200,867**	**85,844**
R3	46,509	20,344	37,345	16,223	28,929	12,271	48,246	21,017	31,380	13,575	9,210	3,699	**201,619**	**87,129**
R4	46,638	20,612	37,184	16,315	29,104	12,445	48,592	21,385	31,162	13,648	9,244	3,656	**201,924**	**88,061**
R5	46,543	20,810	37,082	16,520	29,340	12,745	48,828	21,738	30,966	13,760	9,312	3,755	**202,071**	**89,328**
R6	46,388	21,035	36,907	16,691	29,241	12,853	48,731	21,931	31,191	14,041	9,347	3,845	**201,805**	**90,396**
R7	46,325	21,228	36,733	16,860	29,512	13,163	48,431	22,078	31,233	14,262	9,386	3,925	**201,620**	**91,516**
R8	46,203	21,436	36,609	17,002	29,842	13,411	48,372	22,351	31,211	14,434	9,336	3,912	**201,573**	**92,546**





６ 消防組合の組織

（1）執行機関

（令和8年10月現在）

職　　名	氏　　名	所 属 町 役 職
組 合 長	西　村　　勝	久 山 町 長
副組合長	安 川 茂 伸	宇 美 町 長

	職　　名	氏　　名	所 属 町 役 職
運営協議会	委　　員	世 利 良 末	志 免 町 長
	〃	安 川 茂 伸	宇 美 町 長
	〃	平 松 秀 一	須 恵 町 長
	〃	箱　田　　彰	粕 屋 町 長
	〃	三　浦　　正	篠 栗 町 長
	〃	西　村　　勝	久 山 町 長

（2）議会

（令和8年10月現在）

職　　名	議席番号	氏　　名	所 属 町
議　　長	7	末 若 憲 治	粕 屋 町
副議長	10	黒　川　　悟	宇 美 町
議　　員	1	田　代　　勘	粕 屋 町
〃	2	丸 山 卓 嗣	志 免 町
〃	3	松 山 力 弥	須 恵 町
〃	4	牟田口 武 史	志 免 町
〃	5	山 野 久 生	久 山 町
〃	6	古 賀 ひろ子	宇 美 町
〃	8	稲 永 辰 巳	須 恵 町
〃	9	横 山 和 輝	篠 栗 町
〃	11	古 屋 宏 治	篠 栗 町
〃	12	津 原 健太郎	久 山 町

（3）監査委員

氏　　名	備　　考
山 田 重 徳	識見を有する者
松 山 力 弥	組合議会選出

（4）会計管理者

氏　　名	備　　考
安河内　正樹	消防本部次長

歴代組合長

令和8年10月現在

歴　代	氏　名	就任年月	退任年月	在職期間	備　考
初　代	世 利 健 助	S48. 4	S50. 4	2年1ヶ月	志免町
2　代	原 田　昇	S50. 5	S54. 4	4年	須恵町
3　代	安 川 辰 雄	S54. 5	S57. 3	2年10ヶ月	宇美町
4　代	南 里 久 雄	S57. 3	H 3. 5	9年2ヶ月	志免町
5　代	江 﨑　淳	H 3. 6	H 6. 3	2年9ヶ月	宇美町
6　代	長　憲 一	H 6. 3	H7.11	1年8ヶ月	粕屋町
7　代	吉 松 昭 幸	H 7.11	H11. 3	3年4ヶ月	須恵町
8　代	佐 伯 勝 重	H11. 4	H12. 6	1年2ヶ月	久山町
9　代	神 武　照	H12. 6	H14. 3	1年9ヶ月	宇美町
10　代	小 池 弘 輔	H14. 3	H17. 3	3年1ヶ月	粕屋町
11　代	南 里 辰 己	H17. 3	H19. 3	2年1ヶ月	志免町
12　代	三 浦　正	H19. 4	H21. 3	2年	篠栗町
13　代	安 川　博	H21. 4	H23. 3	2年	宇美町
14　代	篠 﨑 久 義	H23. 4	H23.10	7ヶ月	粕屋町
15　代	中 嶋 裕 史	H23.11	H26. 3	2年5ヶ月	須恵町
16　代	久 芳 菊 司	H26. 4	H28. 3	2年	久山町
17　代	木 原　忠	H28. 4	H30. 3	2年	宇美町
18　代	世 利 良 末	H30. 4	R2. 3	2年	志免町
19　代	平 松 秀 一	R2. 4	R4. 3	2年	須恵町
20　代	箱 田　彰	R4. 4	R6. 3	2年	粕屋町
21　代	西 村　勝	R6. 4	現組合長		久山町

歴代議長

歴　代	氏　名	就任年月	退任年月	在職期間	備　考
初　代	吉 村　光	S48. 4	S49. 3	1年	宇美町
2　代	安 河 内 伝	S49. 4	S50. 3	1年	須恵町
3　代	山 口 偉 寿	S50. 4	S54. 5	4年1ヶ月	宇美町
4　代	大 林 今 朝 澄	S54. 5	S57. 4	2年11ヶ月	志免町
5　代	御 手 洗 明	S57. 4	S62. 4	5年	須恵町
6　代	諸 永 宗 義	S62. 5	H 6. 2	6年9ヶ月	宇美町
7　代	西 本　僥	H 6. 4	H11. 4	5年	志免町
8　代	堤　晋 一	H11. 5	H14. 3	2年10ヶ月	宇美町
9　代	臼 井 徳 義	H14. 4	H15. 5	1年1ヶ月	篠栗町
10　代	後 藤 一 磨	H15. 6	H17. 6	2年	宇美町
11　代	大 林 弘 明	H17. 6	H19. 4	1年10ヶ月	志免町
12　代	佐 伯 源 吾	H19. 5	H21. 9	2年4ヶ月	久山町
13　代	木 下 康 一	H21.10	H23. 5	1年6ヶ月	久山町
14　代	三 角 良 人	H23. 5	H25. 5	2年	須恵町
15　代	進 藤 啓 一	H25. 5	H27. 5	2年	粕屋町
16　代	白 水 英 至	H27. 5	H29. 5	2年	宇美町
17　代	阿 部 寛 治	H29. 5	R1. 6	2年	篠栗町
18　代	丸 山 真 智 子	R1. 6	R3. 5	2年	志免町
19　代	阿 部 文 俊	R3. 5	R3. 10	5月	久山町
20　代	只 松 秀 喜	R3. 10	R5. 5	1年8ヶ月	久山町
21　代	松 山 力 弥	R5. 5	R7. 5	2年	須恵町
22　代	末 若 憲 治	R7. 5	現議長		粕屋町

歴代消防長

歴　代	氏　名	就任年月	退任年月	在職期間	備　考
初　代	世 利 健 助	S48. 4	S50. 3	2年	志免町
2　代	光 安 金 美	S50. 4	S63. 3	13年	志免町
3　代	高 尾 克 磨	S63. 4	H 3. 3	3年	須恵町
4　代	世 利 敏 實	H 3. 4	H 8. 3	5年	志免町
5　代	武 藤 義 則	H 8. 4	H12. 3	4年	志免町
6　代	川 口 建 典	H12. 4	H19. 3	7年	志免町
7　代	豊 福 康 廣	H19. 4	H25. 3	6年	志免町
8　代	橋 本 広 幸	H25. 4	H27. 3	2年	宇美町
9　代	橋 本 俊 嗣	H27. 4	H29. 3	2年	志免町
10　代	百 田 修 一	H29. 4	R 3. 3	4年	須恵町
11　代	安 河 内 恒	R 3. 4	R 6. 3	3年	久山町
12　代	城 戸 龍 男	R 6. 4	R 7. 3	1年	粕屋町
13　代	阿 部 義 之	R 7. 4	R 8. 3	1年	久山町
14　代	松 永 康 一	R 8. 4	現消防長		篠栗町

7　消防庁舎の現況

粕屋南部消防組合消防本部・南部消防署
〒811－2204
福岡県糟屋郡志免町大字田富170番地
TEL（代表）092－935－5111



管轄区域	志免町 宇美町 須恵町
敷地面積	7,106.45㎡
庁舎	鉄筋コンクリート造　地上4階建て 建築面積　1，713㎡ 延べ面積　4，562㎡
訓練塔	主　塔　　RC 造 7 階　延476㎡ 副　塔　　RC 造 2 階　延158㎡ 補助塔　　RC 造 3 階　延182㎡
その他	防災センター併設　329㎡ 駐輪場　　52㎡ 平成18年3月竣工



消防庁舎の現況

中部消防署

〒811－2301
福岡県糟屋郡粕屋町大字上大隈55番地の1
TEL092－938－3216



管轄区域	粕屋町 篠栗町 久山町
敷地面積	6,160.71 ㎡（自治会館分除く）
庁舎	鉄筋コンクリート造　地上4階建て 建築面積　1，015㎡ 延べ面積　3，259㎡
訓練塔	主　塔　　RC 造 5 階　延201㎡
その他	糟屋郡自治会館併設 平成3年10月竣工



消防庁舎の現況

中部消防署　西出張所

〒811－2304
福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原 1854 番 1
TEL092－629－6271



管轄区域	粕屋町 篠栗町 久山町
敷地面積	1,682.65㎡
庁舎	鉄筋コンクリート造　地上2階建て 建築面積　324．00㎡ 延べ面積　464．64㎡
その他	平成28年1月竣工



粕屋南部消防組合組織図



- 組合長
  - 副組合長
- 消防長
- 次　長

消防本部

- 総務課長
  - 参事/課長補佐 参事補佐
    - 企画財政係：重要事業計画の策定・進行管理/財産管理/給与 予算編成・決算/各種契約/庁舎施設維持管理
    - 庶務人事係：組織整備/人事異動/人事制度/委託研修 採用/表彰/勤務制度/福利厚生/健康管理
    - 防災センター：広報/広聴
- 警防課長
  - 参事/課長補佐 参事補佐
    - 警防係：震災対策/国民保護対策/消防水利整備/ 消防車両・機器等の設計・整備
    - 救助係：消防部隊運用計画/救助活動体制の立案・管理 技能管理・研修/特殊災害の消防救助活動対策
    - 情報管理係：通信指令設備の保守・点検・整備・維持管理 災害時における情報収集/災害の運用記録/消防の相互応援
- 救急課長
  - 救急係：救急施策の立案/救急医療機関との連携管理 救急資器材管理/救急隊への指導・隊員研修
- 予防課長
  - 参事/課長補佐 参事補佐
    - 指導係：火災予防施策の立案/建築物検査・査察 事業所の防火管理指導/建物防火安全対策
    - 危険物係：火災予防施策の立案/危険物施設の安全対策 危険物施設立入検査・指導/防災協会

消防署

- 南部消防署長
  - 参事/副署長
    - 警備第１課長 → 警備第１課
    - 警備第２課長 → 警備第２課
    - 警備第３課長 → 警備第３課
  - 警備第１課
    - 指揮隊：指揮調査隊
    - 警防隊：警防第１小隊 / 警防第２小隊
    - 救急隊：救急第１小隊 / 救急第２小隊
    - 救助隊：特別救助小隊 / はしご小隊
- 中部消防署長
  - 参事/副署長
    - 警備第１課長 → 警備第１課
    - 警備第２課長 → 警備第２課
    - 警備第３課長 → 警備第３課
  - 警備第１課
    - 指揮隊：指揮調査隊
    - 警防隊：警防第１小隊 / 警防第２小隊
    - 救急隊：救急第１小隊 / 救急第２小隊
    - 救助隊：救助小隊
  - 西出張所長
    - 警備第１課
      - 警防隊：警防第１小隊
    - 警備第２課
    - 警備第３課
      - 救急隊：救急第１小隊

９　消防本部の事務分掌



総務課

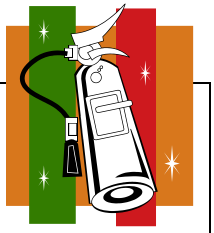
庶務人事係

- 消防本部、課の庶務に関すること
- 組合議会に関すること
- 消防本部の組織、制度及び職務権限に関すること
- 人事に関すること
- 消防長の秘書に関すること
- 儀式及び行事に関すること
- 職員の任免、服務、分限、懲戒その他身分に関すること
- 職員の勤務時間及び勤務条件に関すること
- 職員の勤務成績の評定及び人事記録に関すること
- 職員の教養訓練、研修及び監察に関すること
- 職員の公務災害補償、賞じゅつ及び消防表彰に関すること
- 職員共済組合、退職年金及び退職手当に関すること
- 職員の福利厚生及び安全衛生管理に関すること
- 条例、規則、規程及び告示並びに公告式に関すること
- 例規集の編集に関すること
- 文書の収受、発送及び整理に関すること
- 文書規程その他重要な文書の審査等に関すること
- 公印に関すること
- 公平委員会に関すること
- 消防年報の作成に関すること
- 庁舎の管理に関すること
- 他の課、係の所掌に属さない事項

企画財政係

- 消防事務事業等の総合企画及び調整に関すること
- 消防力整備及び重要施策の総合調整に関すること
- 財政計画及び財務諸調査に関すること
- 予算の編成及び執行管理に関すること
- 予算の収支及び決算に関すること
- 職員の給与、旅費及び諸手当の認定並びに支給に関すること
- 支出負担行為の確認に関すること
- 現金の出納及び保管に関すること
- 組合債及び国、県補助金に関すること
- 財産の取得、管理及び保管に関すること
- 物品の出納、保管及び処分に関すること
- 基金の管理に関すること
- 職員の被服の貸与に関すること
- 契約に関すること
- 寄付採納に関すること
- 監査に関すること
- 財務及び給与システムに関すること
- その他財政に関すること

予防課



危険物係

- 危険物の規制に関すること
- 危険物規制違反の処理に関すること
- 防災協会の育成指導に関すること
- 課の庶務に関すること

指導係

- 予防査察に関すること
- 防火管理及び防災管理に関すること
- 幼年・少年消防クラブ等の育成指導に関すること
- 建築同意に関すること
- 消防用設備等に関すること
- 火災予防広報に関すること
- 違反防火対象物及び公表の処理に関すること
- 火災予防運動に関すること
- 防火基準適合の表示に関すること

警防課

警防係

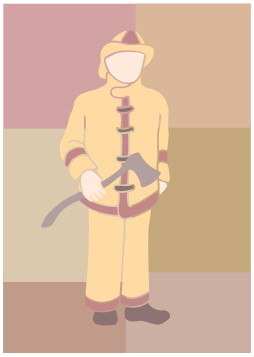
- 消防力の整備に関すること
- 総合的警防計画の策定に関すること
- 火災その他災害の原因及び損害調査に関すること
- 開発行為に対する協議に関すること
- 消防地理、水利の企画、整備に関すること
- 水防計画に関すること
- 消防団に関すること
- その他警防に関すること

救助係

- 消防機械器具の整備及び管理に関すること
- 特殊災害に関すること
- 各種訓練及び演習の企画に関すること
- 火災、その他災害の警戒、防ぎょ等警防諸活動の推進上の企画に関すること
- その他救助に関すること

情報管理係

- 課の庶務に関すること
- 法に基づく通信指令設備の設置、変更、移設等の手続きに関すること
- 通信指令設備の保全計画の策定及び障害の未然防止並びに改善、研究に関すること
- 通信指令設備の保守、点検、整備、維持管理に関すること
- 通信指令設備に係る関係書類の管理に関すること
- 災害の運用記録に関すること
- 災害時における情報収集及び関係機関への連絡･記録に関すること
- 通信指令設備の監視並びに障害の対応に関すること
- 火災、災害等即報に関すること
- 気象、水象に係る情報の収集･連絡･記録に関すること
- 消防通信に係る関係書類の管理に関すること
- 消防隊の配置運用に関すること
- 消防相互応援（緊急消防援助隊を含む）に関すること
- 火災･救助の統計及び消防情報に関すること
- 火災の警報に関すること
- その他課内の他の係の所掌に属さない事項



救急課

救急係

- 課の庶務に関すること
- 救急医療情報に関すること
- 救急装備及び資器材の整備及び管理に関すること
- 救急の統計に関すること
- その他救急に関すること





10　消防署の事務分掌

予防

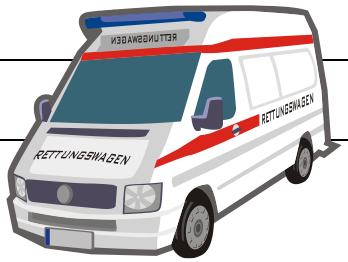
- 職員の人事及び教養に関すること
- 公印の取扱いに関すること
- 文書の収受、発送及び整理保存に関すること
- 職員の公務災害に関すること
- 庁舎の管理に関すること
- 署の庶務に関すること
- 予防査察に関すること
- 防火管理に関すること
- 圧縮アセチレンガス等及び毒物、劇物の届出に関すること
- 危険物の仮貯蔵、仮取扱に関すること
- 粕屋南部消防組合火災予防条例の規制に関すること
- 意見書の交付に関すること
- 行政命令に関すること
- 消防用設備等に関すること
- 違反防火対象物の処理に関すること
- 防火基準適合の表示に関すること
- その他火災予防に関すること

警備

- 消防隊の編成及び小隊業務に関すること
- 火災、その他災害の警戒及び防ぎょに関すること
- 消防警備に関すること
- 消防地理水利に関すること
- 通信機器の管理及び取扱に関すること
- 警防計画の樹立及び実施に関すること
- 火災の原因及び損害の調査に関すること
- 諸災害の被害調査に関すること
- 消防団に関すること
- 火災、その他の災害の検討に関すること
- 各種届出に関すること
- り災証明に関すること
- その他警備に関すること

救急

- 救急装備及び資器材の管理及び取扱いに関すること
- 救急業務に関すること
- その他救急に関すること



救助

- 消防演習その他消防隊の訓練に関すること
- 消防用機械器具の管理及び取扱いに関すること
- 救助業務に関すること
- その他救助に関すること



11　防災センターの紹介

見て　聞いて　触って　そして　体験　する！

防災学習の体験ゾーン！

頭と体で覚えて、自主防災力を高める！

防災センターは、皆さんの防災学習の場、住民同士、住民と消防職員の交流の場となることを目指しています。

また当施設は、住民一人ひとりの防災に対する意識を高め、災害や事故などに対する自主防災力の向上を図るための、住民防災学習の場です。

災害時・緊急時に不可欠となる自主防災力を「見る」「聞く」「触る」「体験する」ことで、より深い理解とより効果的な学習が可能になります。

是非、いざというときの対処法を学んでください。



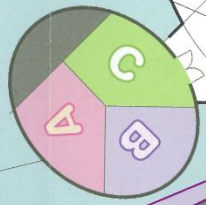
ホール（エントランス）

ホールには、管内6町をイメージしたタペストリーと、防災センターのシンボルである消防官のイラストが皆様をお迎えします。



防災シアター

“センターの役割”や“実際にどのような体験ができるのか”を映像などを使って紹介するシアタールームです。また、クイズ学習や応急手当の講習もここで行います。



地震体験コーナー　じしんたいけん
Earthquake simulator



このコーナーは、スーパーマーケットの売り場で地震が発生した場面を想定し、震度3～6強まで揺れを体験できます。

●ディスプレイの映像は、スーパーマーケットの食品売り場で地震が発生したときの様子が再現されており、リアルに地震体験することができます。

水害体験コーナー　すいがいたいけん
Flood disaster simulator



浸水時の対処法や、水害時の泥水歩行を擬似的に体験するコーナーです。また、身近な環境に起こりうる水害の危険性も学習することができます。

●泥水歩行を体感できるボールのプール。歩きにくさを体験しましょう。

風体験コーナー　かぜたいけん
Wind simulator



風体験コーナーでは、強風体験ができます。風速25mまでの強烈な風を体感し、風の危険性を再確認しましょう。

●室内は、身近な場所で体感できるように商店街を背景にしています。

通報体験コーナー　つうほうたいけん
Emergency report simulator



いざというとき、意外と慌ててしまってうまく通報できないものです。この体験コーナーはパソコン画面の通信員とのやり取りが体験できます。

●火事・救急、携帯電話からの通報など、いろいろな通報体験ができます。

煙体験コーナー　けむりたいけん
Simulator to escape from smoke



実際に火事が起こったときに、恐ろしい煙。暗やみの室内には、階段やスライドドア、扉などがあり、臨場感ある避難通路を体感することができます。

●視界が悪い中を手探りで避難します。慎重に出口を探しましょう。

消火体験コーナー　しょうかたいけん
Fire extinguishing simulator



実際に消火器を使って消火体験ができるコーナーです。消火器の使用方法を体で覚えましょう。

●画面上の炎をめがけて、水の出る消火器で消火体験ができます。

12 防災センターの利用状況

令和7年度防災センター施設利用集計表

総利用者数(開館～)	82036名

令和7年度来館者数		4601名
内訳	幼児	1324名
	小学生	1790名
	中学生	79名
	高校生	65名
	大人	1343名

4601名

月別来館者数		
月別	令和7年4月	156名
	5月	357名
	6月	238名
	7月	359名
	8月	441名
	9月	233名
	10月	674名
	11月	583名
	12月	658名
	令和8年1月	312名
	2月	291名
	3月	299名

4601名

曜日別来館者数		
曜日	月	0名
	火	1030名
	水	773名
	木	882名
	金	1122名
	土	463名
	日	331名

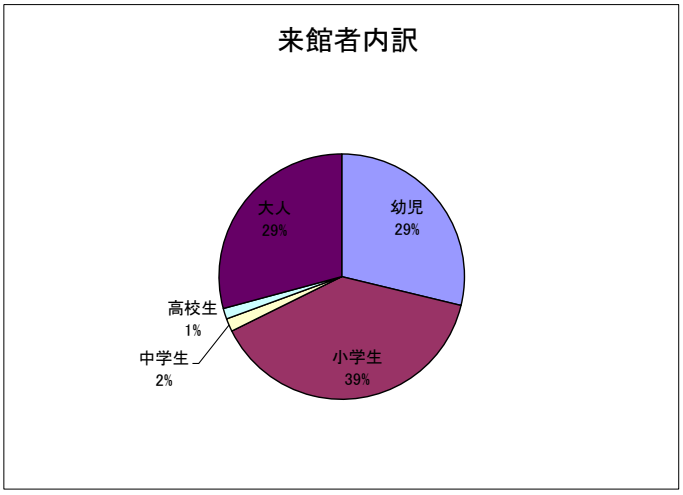
4601名

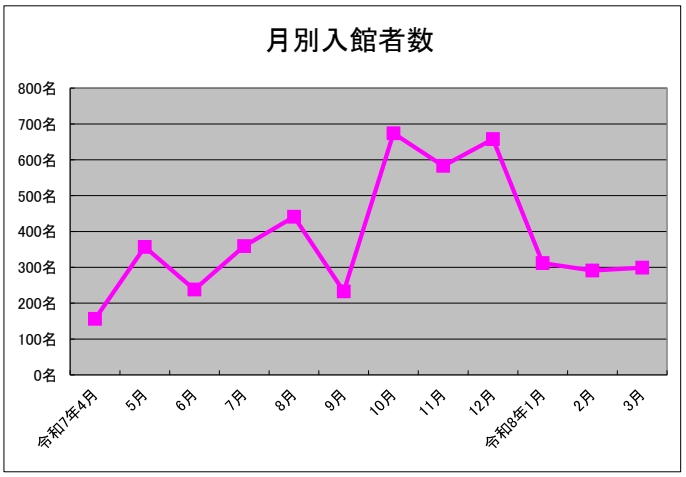
時間別来館者数		
時間	9時	778名
	10時	2253名
	11時	266名
	12時	0名
	13時	542名
	14時	435名
	15時	78名
	16時	249名
	17時	0名

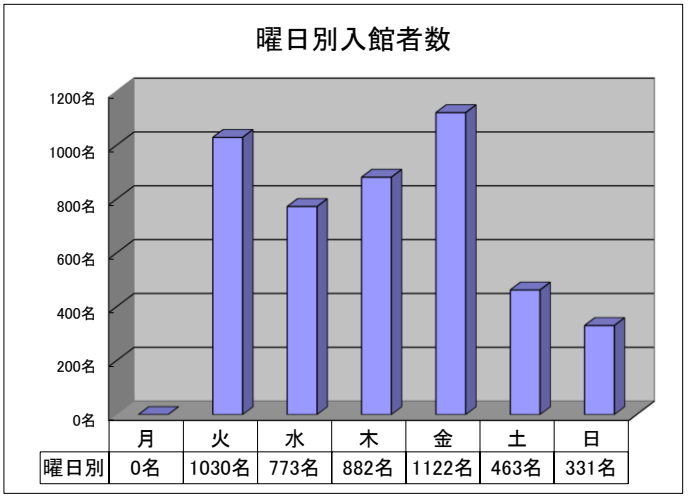
4601名

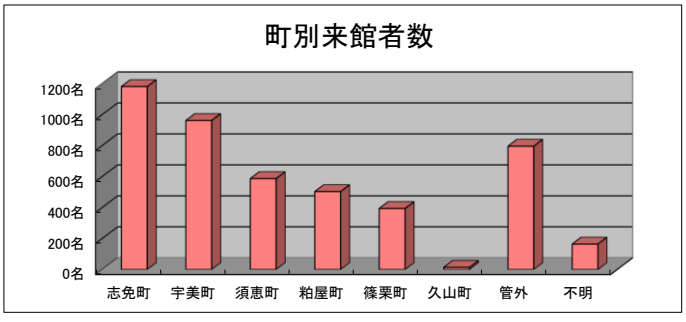
町別来館者数		
町別	志免町	1181名
	宇美町	962名
	須恵町	587名
	粕屋町	503名
	篠栗町	394名
	久山町	14名
	管外	796名
	不明	164名

4601名









13　消防組合消防本部の沿革

○設立の経過

昭和４７年志免町・宇美町・須恵町の３ヶ町は、社会、経済、住宅事情等の変化に伴い、常備消防設置の必要性から、その準備に着手し、消防費の効率的運用と、広域行政の一環として、３ヶ町で共同処理するための消防組合を組織すべく関係者並びに議会関係者が数度の会合を重ね、それぞれの議会で消防組合設立を議決、３ヶ町協議の上、福岡県知事の組合設置許可申請、昭和４８年１月２７日付、４７地行第８５７号を以って許可、さらに昭和４８年４月５日付、自治省告示第７４号により、当時の消防組織法第１０条に規定する政令指定を受け消防本部、署を設置する。その後、昭和６１年４月２日付、政令第６８号で常備消防を設置すべき自治体として指定を受けた粕屋町・篠栗町・久山町の３町が当組合に加入し、構成自治体は６町となり、従来よりも広域の行政責任を負うこととなった。

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
昭和47年 (1972年)	12	・志免町、宇美町、須恵町で構成する消防組合設置について各町議会議決				
昭和48年 (1973年)	1	・県知事へ粕屋南部消防組合設置申請～許可	36	5		5
	4	・消防本部・消防署設置政令指定 ・粕屋南部消防組合消防本部設置 （組合仮事務所：志免町大字志免1178番地志免町役場内に置く） （本部仮事務所：志免町大字志免1500番地旧志免中学校内に置く）				
	5	・福岡県消防学校第64回初任教育入校（8名）		10		15
	6	・司令車（日産ブルーバード）購入				
	7	・救急車（トヨタハイエース）購入				
	8	・福岡県消防学校第65回初任教育入校（12名）		12	1	26
	9	・ポンプ車及びタンク車購入 ・消防庁舎用地取得（3,563㎡） （志免町大字田富170番地）				
	10	・粕屋南部消防署開設・実働開始 ・庁舎新築工事着工		2		28
昭和49年 (1974年)	4	・福岡県消防学校第67回初任教育入校（5名）		7	1	34
	5	・消防本部・消防署庁舎竣工(692.98㎡) ・査察広報車(三菱ジープ)寄贈(㈱ゲラン化学)を受ける				
	9	・訓練場拡張のため用地取得(1940.77㎡)				

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
昭和50年 (1975年)	3 10	・油庫完成(9㎡) ・救急車(トヨタハイエース)寄贈(日本損害保険協会)を受ける ・福岡県消防学校第70回初任教育入校(3名)		 3	1 1	32 35
昭和51年 (1976年)	6 10 12	・訓練塔2基寄贈(㈱辻組)を受ける ・指令装置B型設置 ・ポンプ車（BD-1）寄贈(日本損害保険協会)を受ける	 49	 	 1	 34
昭和52年 (1977年)	1 4 10 12	・消防公用車(日産グロリア)購入 ・福岡県消防学校第73回初任教育入校(7名) ・福岡県消防学校第74回初任教育入校(6名) ・無線サイレン制御装置設置(ゼネラル)		 7 6 	1 1	33 40 46 45
昭和53年 (1978年)	8 11	・救助工作車(日野KL505)購入 ・消防本部庁舎増築(仮眠室37.75㎡) ・マイクロバス(日産シビリアン)寄贈(福岡若杉ライオンズクラブ)を受ける	 55	1 	 	46
昭和54年 (1979年)	4 10	・福岡県消防学校第77回初任教育入校(5名) ・福岡県消防学校第78回初任教育入校(4名)		5 4		51 55
昭和55年 (1980年)	3 4 6 11	・消防本部・署庁舎増築(688.91㎡) ・福岡県救急医療情報FAX設置 ・訓練塔(補助塔)完成 ・司令車(トヨタクラウンバン)購入 ・救急車(日産キャラバン)寄贈(福岡県共済連)を受ける	 61	 	 1 	 54
昭和56年 (1981年)	4 10 11	・福岡県消防学校第81回初任教育入校(4名) ・福岡県消防学校第82回初任教育入校(4名) ・16m級屈折梯子自動車購入(日野)		5 4 	2 	57 61
昭和57年 (1982年)	3 	・消防庁長官表彰「竿頭授」受章 ・訓練場拡張のため用地取得(1,655㎡)		 	1 	60
昭和58年 (1983年)	3 10 12	・査察車(三菱ミニカ)寄贈(粕屋南部農協)を受ける ・化学車Ⅱ型(三菱)購入 ・総合気象観測装置設置(日本エレクトロニック) ・救急車(日産キャラバン)寄贈(山之内製薬)を受ける	 	 	 	

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
昭和59年 (1984年)	11 12	・第1回「防災のつどい」開催 (後に平成2年まで6回実施) ・粕屋町、篠栗町、久山町より当消防組合加入申し入れ				
昭和60年 (1985年)	6 8 9	・指揮車(三菱デリカ)購入 ・消防体制常備化に係る政令希望町村調査 (消防庁) ・タンク車Ⅱ型(三菱)購入				
昭和61年 (1986年)	2 5 6 7 8 9 10 	・消防本部・署設置市町村を定める政令告示 (粕屋町、篠栗町、久山町) ・中部3町消防常備化に関する関係町長会議 ・志免町、宇美町、須恵町各町議会で中部3町加入に伴う組合規約の変更について議決 ・久山町議会で当消防組合加入について議決 ・粕屋町、篠栗町各町議会で当消防組合加入について議決 ・県知事へ組合規約変更について申請 ・県知事より組合規約変更について許可 ・消防署の名称変更 (南部消防署、中部消防署) ・水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型(三菱)購入 ・指揮車(トヨタクラウンバン)購入 ・中部消防署設置・実働開始 (仮事務所：粕屋町大字仲原5番地) ・消防本部及び消防署の設置に関する条例一部改正 (1本部2署体制)	81	11	1	59 70
昭和62年 (1987年)	2 3 4 7	・指令装置PD2100設置 ・消防・救急無線中継基地局設置 ・消防緊急情報システム新設 ・福岡県消防学校第93回初任教育入校(11名) ・査察車(スバルドミンゴ)購入（本部配置）	90	11		81

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
昭和63年 (1988年)	2 4 7 11 12	・消防本部庁舎増築(178.26㎡) ・消防本部、南部消防署機材倉庫完成(99.81㎡) ・福岡県消防学校第94回初任教育入校(10名) ・化学車Ⅱ型(三菱)寄贈(日本損害保険協会)を受ける。中部消防署配置 ・林野工作車(トヨタランドクルーザー)購入 ・救急車2B型(トヨタ)寄贈(日本損害保険協会)を受ける。南部消防署配置		 10	1	80 90
平成元年 (1989年)	1 8	・消防公用車(トヨタクラウン)購入 ・中部消防署訓練場用地取得(6,701㎡)	 94		1 1	89 88
平成2年 (1990年)	4 7 8 9 12	・福岡県消防学校第96回初任教育入校(6名) ・糟屋郡自治会館組合より中部消防署・自治会館庁舎併設について申し入れ ・組合議会定例会において中部消防署・自治会館庁舎併設について承認 ・消防本部・南部消防署機材倉庫増築(28.43㎡) ・中部消防署・自治会館合同庁舎用地拡張のため用地取得(1,769㎡) ・中部消防署・自治会館合同庁舎建設工事着工		6		94
平成3年 (1991年)	4 7 9 10 11	・福岡県消防学校第97回初任教育入校(1名) ・連絡車(トヨタマークⅡ)本部配置 ・中部消防署新庁舎へ移転・開署 ・中部消防署・自治会館合同庁舎竣工 ・救急車2B型(日産キャラバン)寄贈(福岡県共済連)を受ける　中部消防署配置 ・第1回屋内消火栓・消火器操法大会実施 (後に毎年実施)	 100	1	2 1	93 92
平成4年 (1992年)	4 10 12	・福岡県消防学校第98回初任教育入校(5名) ・司令車(トヨタマークⅡ)購入　本部配置 ・救助工作車Ⅱ型(三菱)購入　中部消防署配置 ・マイクロバス(三菱ローザ)購入　本部配置	104	5		97

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成5年 (1993年)	3 4 6 9 10	・消防本部・南部消防署庁舎増築(275.66㎡) ・福岡県消防学校第99回初任教育入校(4名) ・査察車(トヨタマークⅡ)購入　中部消防署配置 ・幼年消防クラブ結成 ・福岡県消防学校第100回初任教育入校(3名)	108	7	1	104 103
平成6年 (1994年)	4	・救急車2B型(日産キャラバン)購入 南部消防署配置 ・福岡県消防学校第101回初任教育入校(4名)		4		107
平成7年 (1995年)	2 4 5 10 12	・救急車2B型(日産キャラバン)購入 中部消防署配置 ・阪神・淡路大震災に出動 ・査察車(トヨタカローラ)購入　中部消防署配置 ・福岡県消防学校第102回初任教育入校(4名) ・防災指導車(トヨタマークⅡ)寄贈(粕屋南部地域防災協会)を受ける　本部配置 ・緊急消防援助隊(救助小隊)消防庁登録 ・中部消防署・自治会館用地拡張のため用地取得(3,019㎡)	116	4		111
平成8年 (1996年)	3 4 5 6 10	・中部消防署用地拡張工事完了(3,019㎡) ・査察車(トヨタスプリンター)購入　本部配置 ・福岡県消防学校第103回初任教育入校(5名) ・救急救命士国家試験合格(第1号) ・ガルーダ・インドネシア航空機炎上事故に応援出動し、運輸大臣、消防庁長官より感謝状授与 ・消防職員委員会施行		5	1	110 115
平成9年 (1997年)	1 4	・高規格救急車(日産パラメディック)購入 南部消防署配置 ・3部制交替勤務体制施行 ・福岡県消防学校第104回初任教育入校(1名)	120	1		116

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成10年 (1998年)	1 3 4 5 9	・救助工作車Ⅲ型(日野)購入　南部消防署配置 ・第19回消防職員意見発表会 （アザレアホール須恵） ・福岡県消防学校第105回初任教育入校(4名) ・粕屋南部消防組合消防本部創立25周年、自治体消防発足50周年記念式典 ・化学車(三菱)寄贈(日本損害保険協会)を受ける 南部消防署配置		 4 	 1 	 115 119
平成11年 (1999年)	2 3 4 7	・高規格救急車(トヨタ)寄贈(篠栗町南蔵院)を受ける ・第20回消防職員意見発表会（クリエイト篠栗） ・福岡県消防学校第106回初任教育入校(1名) ・組合規約一部変更 （H12年度、休日診療所開設に伴う変更）	 124 	 1 	 	 120
平成12年 (2000年)	2 3 4 12	・指揮調査車(トヨタ)購入　南部消防署配置 ・第21回消防職員意見発表会（志免町民センター） ・救急車2B型(日産)寄贈(日本消防協会)を受ける ・福岡県消防学校第107回初任教育入校(4名) ・指揮調査車(三菱)購入　中部消防署配置		 4 	 2 	 118 122
平成13年 (2001年)	1 3 4	・タンク車(三菱)購入　南部消防署配置 ・第22回消防職員意見発表会（粕屋町中央公民館） ・福岡県消防学校第108回初任教育入校(2名)	128 	 2	 	 124
平成14年 (2002年)	2 3 4 8 10 11	・消防本部、南部消防署庁舎増築(93㎡) ・第23回消防職員意見発表会（宇美町中央公民館） ・40m伸縮水路付梯子車購入　南部消防署配置 ・福岡県消防学校第109回初任教育入校(4名) ・ミニバイク5台(ホンダ)の寄贈（かすや南ライオンズクラブ）を受ける ・消防公用車(トヨタクラウン)購入　本部配置 ・タンク車Ⅱ型(三菱)購入　中部消防署配置		 4 	 1 	 123 127

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成15年 (2003年)	1 3 9	・高規格救急車(トヨタハイメディック４WD)購入 南部消防署配置 ・第24回消防職員意見発表会（レスポアール久山） ・心肺蘇生法訓練人形の寄贈(若杉ライオンズクラブ)を受ける ・支援車(トヨタコースター)購入　本部配置	138			
平成16年 (2004年)	1 3 4 7	・化学車(三菱)購入　中部消防署配置 ・第25回消防職員意見発表会（志免町民センター） ・福岡県消防学校第111回初任教育入校(6名) ・本部・南部消防署新庁舎建設起工式		 6 	 1 	 125 131
平成17年 (2005年)	3 4 6 10	・第26回消防職員意見発表会（クリエイト篠栗） ・福岡県西方沖地震（M7）3月20日10時53分発生 ・福岡県消防学校第112回初任教育入校(4名) ・本部・南部消防署新庁舎、訓練塔(主塔)完成 ・指令装置(Ⅱ型)運用開始 ・本部・南部消防署新庁舎実働開始		 4 	 2 	 135 133
平成18年 (2006年)	3 4	・第27回消防職員意見発表会 （アザレアホール須恵） ・本部・南部消防署新庁舎竣工式 ・組合規約一部変更(収入役制度廃止) ・福岡県消防学校第113回初任教育入校(5名) ・緊急消防援助隊(救急小隊)消防庁登録	147	 5	 	 138
平成19年 (2007年)	1 3 4	・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 中部消防署配置 ・第28回消防職員意見発表会（サンレイクかすや） ・福岡県消防学校第114回初任教育入校(5名)		 5	 2 	 136 141
平成20年 (2008年)	1 3 4 6 12	・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 南部消防署配置 ・第29回消防職員意見発表会（宇美中央公民館） ・福岡県消防学校第116回初任教育入校(4名) ・消防公用車(トヨタクラウン)競売売却 ・高規格救急車(トヨタハイメディック)購入 中部消防署配置　空港環境整備協会助成		 4 	 1 	 140 144

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成21年 (2009年)	3 4 10	・第30回消防職員意見発表会（レスポアール久山） ・福岡県消防学校第118回初任教育入校(3名) ・福岡県消防学校第119回初任教育入校(3名)		 6 	3 	141 147
平成22年 (2010年)	1 3 4	・高規格救急車（日産パラメディック）購入 南部消防署配置　空港環境整備協会助成 ・第31回消防職員意見発表会（志免町民センター） ・本部連絡車更新（日産セレナ） ・福岡県消防学校第120回初任教育入校(3名)		 3	 3 	 144 147
平成23年 (2011年)	2 3 4 8 10	・救助工作車Ⅱ型（日野自動車）更新 中部消防署配置 ・第32回消防職員意見発表会（クリエイト篠栗） ・東日本大震災発生　緊急消防援助隊派遣 ・福岡県消防学校第122回初任教育入校(2名) ・中部査察車(トヨタノア)更新 ・マスコットキャラクター「かすにゃん」誕生		 2 	 2 	 145 147
平成24年 (2012年)	1 3 4 10	・南部査察車(トヨタノア)更新 ・第33回消防職員意見発表会（宇美町中央公民館） ・防災指導車（トヨタアイシス）寄贈（粕屋南部地域防災協会）を受ける ・福岡県消防学校第124回初任教育入校（5名） ・緊急消防援助隊(後方支援小隊)消防庁登録 ・福岡県消防学校第125回初任教育入校（3名）	150	 8 	 2 	 145 153
平成25年 (2013年)	2 3 4 10 	・予防査察車（ホンダＮボックス）更新 ・第34回消防職員意見発表会（サンレイクかすや） ・福岡県消防学校第126回初任教育入校（10名） ・福岡県消防学校第127回初任教育入校（5名） ・化学車（日野自動車）購入　南部消防署配置	159	 15 	 5 	 148 163
平成26年 (2014年)	2 3 4 5 10 	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置 ・第35回消防職員意見発表会（クリエイト篠栗） ・福岡県消防学校第128回初任教育入校（7名） ・中部消防署　西出張所用地購入 ・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 南部消防署配置　空港振興・環境整備支援機構助成 ・福岡県消防学校第129回初任教育入校（3名）	162	 10 	 5 	 158 168

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成27年 (2015年)	3 4 11	・第36回消防職員意見発表会（レスポアール久山） ・福岡県消防学校第130回初任教育入校（5名） ・中部消防署　西出張所完成		 5	8	160 165
平成28年 (2016年)	1 2 3 4	・中部消防署　西出張所実働開始　救急隊配備 ・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署　西出張所配置 ・第37回消防職員意見発表会（志免町民センター） ・救助工作車Ⅲ型（日野自動車）更新 南部消防署配置 ・消防救急デジタル無線運用開始 ・福岡県消防学校第132回初任教育入校（5名） ・平成28年熊本地震発生　緊急消防援助隊派遣		 5	 6	 159 164
平成29年 (2017年)	1 3 4 7 11	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置 ・タンク車（日野自動車）購入　南部消防署配置 ・指揮調査車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署配置 ・第38回消防職員意見発表会 （須恵アザレアホール） ・福岡県消防学校第133回初任教育入校（8名） ・九州北部豪雨県応援協定に基づき応援出動 ・福岡都市圏消防共同指令センター運用を開始	169	 8	 3	 161 169
平成30年 (2018年)	1 2 3 4 7	・高規格救急車タイラーⅡ号（トヨタハイメディック）寄贈（志免町在住者）を受ける 南部消防署配置 ・タンク車（日野自動車）購入 中部消防署　西出張所配置 ・第39回消防職員意見発表会（宇美町中央公民館） ・福岡県消防学校第134回初任教育入校（７名） ・平成30年７月豪雨（広島県）に緊急消防援助隊派遣	175	 7	 1	 168 175

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
平成31年 (2019年)	3 4	・第40回消防職員意見発表会（サンレイクかすや） ・福岡県消防学校第135回初任教育入校（4名）	176	 4	3	172 176
令和2年 (2020年)	3 4 7	・第41回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部） ・福岡県消防学校第136回初任教育入校（8名） ・令和２年７月豪雨災害（熊本県）に緊急消防援助隊派遣	181	 8	4	172 180
令和3年 (2021年)	3 4 11	・第42回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部） ・福岡県消防学校第 137 回初任教育入校（5 名） ・支援車（日野自動車）購入　南部消防署配置	187	 5	6	174 179
令和4年 (2022年)	1 3 4 11	・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 南部消防署配置 ・第43回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部） ・福岡県消防学校第 138回初任教育入校（8 名） ・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 中部消防署　西出張所配置		 8	 1	 187 186
令和5年 (2023年)	3 4 5 6 10	・第44回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部） ・福岡県消防学校第 139 回初任教育入校（7 名） ・緊急連絡車（トヨタハイラックス）購入 ・化学車（日野自動車）購入 中部消防署配置 ・粕屋南部消防組合創立50周年	202	 7	5	181 188
令和6年 (2024年)	3 4 11	・第45回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部） ・福岡県消防学校第 140 回初任教育入校（11 名） ・35ｍ級先端屈折式梯子車（日野自動車）　購入 南部消防署配置		 11	2	186 197

年	月	消防組合の動き	人事状況			
			条例定数	採用	退職	実員
令和7年 （2025年）	3	・第46回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）			3	194
		・高規格救急車（トヨタハイメディック）購入 南部消防署配置				
	4	・福岡県消防学校第141回初任教育入校（8名）		8		202
		・高規格救急車タイラーⅢ号（トヨタハイメディック）寄贈（志免町在住者）を受ける 南部消防署配置				
令和８年 （2026年）	3	・第47回消防職員意見発表会 （粕屋南部消防組合消防本部）			8	194
	4	・福岡県消防学校第142回初任教育入校（9名）		9		203
	8	・南部防災指導車（ニッサンセレナ）寄贈 南部消防署配置				
	9	・高規格救急車（トヨタハイメディック）寄贈 （大高建設株式会社）を受ける　中部消防署配置				

総務編

1　令和７年度消防組合（一般会計）決算額・・・・・・・・・34
2　消防組合の財政・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
3　令和８年度消防組合（一般会計）当初予算　・・・・・・・ 35
4　令和８年度構成町分担金　・・・・・・・・・・・・・・・ 36
5　当初予算の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
6　消防相互応援協定等の状況・・・・・・・・・・・・・・・37
7　消防力の基準と現有の比較・・・・・・・・・・・・・・・39
8　職員の特殊技能免許・有資格・・・・・・・・・・・・・・40
9　職員の配置状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
10　職員の階級別年齢・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
11　職員の階級別勤務年数・・・・・・・・・・・・・・・・・43
12　職員の研修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
13　職員互助会及びクラブ活動・・・・・・・・・・・・・・・47

1 令和7年度 消防組合(一般会計)決算額

歳　入　　(単位:円)

款	項	予算現額	決算額	決算額割合(%)
1 分担金及び負担金		2,338,948,000	2,338,948,000	94.9
	1 分担金	2,338,948,000	2,338,948,000	
2 使用料及び手数料		1,900,000	1,896,950	0.1
	1 手数料	1,900,000	1,896,950	
3 国庫支出金		1,000	0	0.0
	1 国庫補助金	1,000	0	
4 県支出金		1,000	0	0.0
	1 県補助金	1,000	0	
5 財産収入		1,755,000	1,755,119	0.1
	2 財産売払収入	1,755,000	1,755,119	
6 繰越金		23,910,000	23,910,720	1.0
	1 繰越金	23,910,000	23,910,720	
7 諸収入		25,554,000	25,762,140	1.0
	1 組合預金利子	500,000	552,486	
	2 雑　　入	25,054,000	25,209,654	
8 組合債		185,700,000	72,700,000	2.9
	1 組合債	185,700,000	72,700,000	
歳 入 合 計		2,577,769,000	2,464,972,929	100

歳　出　　(単位:円)

款		予算現額	決算額	決算額割合(%)
1 議会費		2,812,000	2,439,905	0.1
	1 議会費	2,812,000	2,439,905	
2 総務費		116,125,000	111,050,360	4.6
	1 総務管理費	115,861,000	110,787,760	
	2 監査委員費	264,000	262,600	
3 消防費		2,229,256,000	2,084,183,943	85.9
	1 消防費	2,229,256,000	2,084,183,943	
4 公債費		227,517,000	227,507,040	9.4
	1 公債費	227,517,000	227,507,040	
5 予備費		2,059,000	0	0.0
	1 予備費	2,059,000	0	
歳 出 合 計		2,577,769,000	2,425,181,248	100

2 消防組合の財政

消防組合の令和8年度一般会計の総額は2,730,588千円で前年度との比較123,959千円の増となっています。
一般会計の歳入の構成を見ると、構成6町（志免町・宇美町・須恵町・粕屋町・篠栗町・久山町）からの分担金が2,502,670千円で全体の91.65％を占めています。
また、歳出では、消防費2,358,753千円（86.38％）、公債費249,269千円（9.13％）、総務費115,364千円（4.22％）、予備費4,000千円（0.15％）、議会費3,202千円（0.12％）となっています。
消防組合は、構成6町で消防事務を共同処理することにより、一般家庭や事業所における火災、その他災害を未然に防止、あるいは発生した火災を最小限度にくいとめるための消防施設や人員を効率的に配置し、健全な財政運営を行っています。

○粕屋南部消防組合規約抜粋

（経費負担の方法）

第15条　組合の経費は、各町の分賦金及びその他の収入をもってあてる。
2　前項の分賦金の総額の25パーセントを均等割とし、75パーセントを人口割とする。
3　前項に定める人口割の人口は、最近の国勢調査による各町の人口とする。

3 令和8年度　粕屋南部消防組合（一般会計）当初予算

歳　入

（単位：千円）

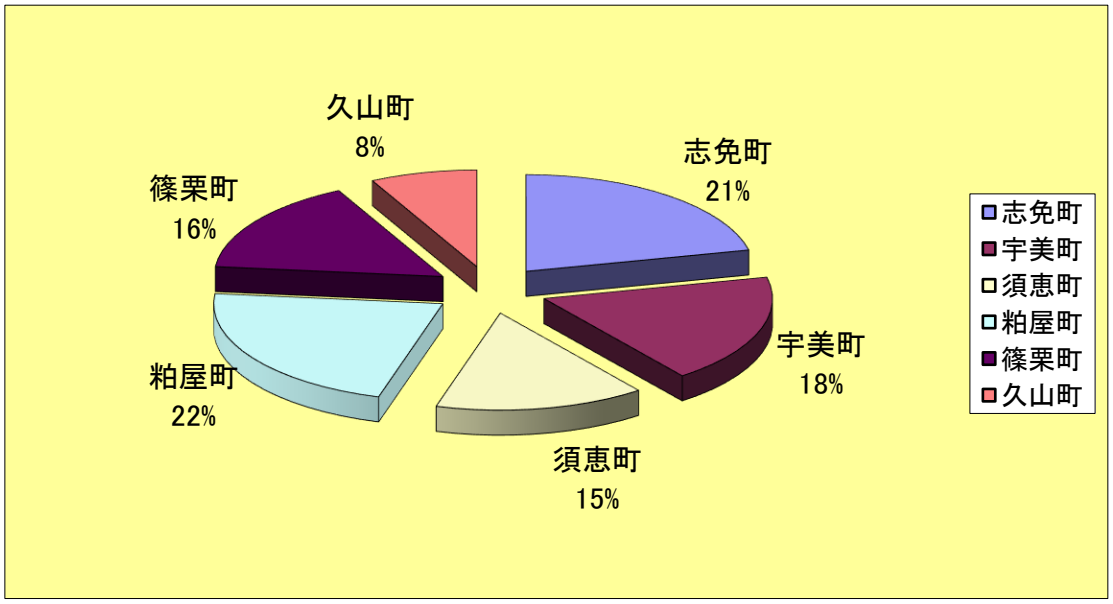
款	本年度予算額	前年度予算額	比　較
1．分担金及び負担金	2,502,670	2,349,893	152,777
2．使用料及び手数料	1,700	1,700	0
3．国庫支出金	1	1	0
4．県支出金	1	1	0
5．財産収入	1	300	△ 299
6．繰越金	10,000	5,000	5,000
7．諸収入	8,215	24,834	△ 16,619
8．組合債	208,000	224,900	△ 16,900
歳入合計	2,730,588	2,606,629	123,959

歳　出

（単位：千円）

款	本年度予算額	前年度予算額	比　較
1．議会費	3,202	3,002	200
2．総務費	115,364	126,304	△ 10,940
3．消防費	2,358,753	2,238,046	120,707
4．公債費	249,269	235,277	13,992
5．予備費	4,000	4,000	0
歳出合計	2,730,588	2,606,629	123,959

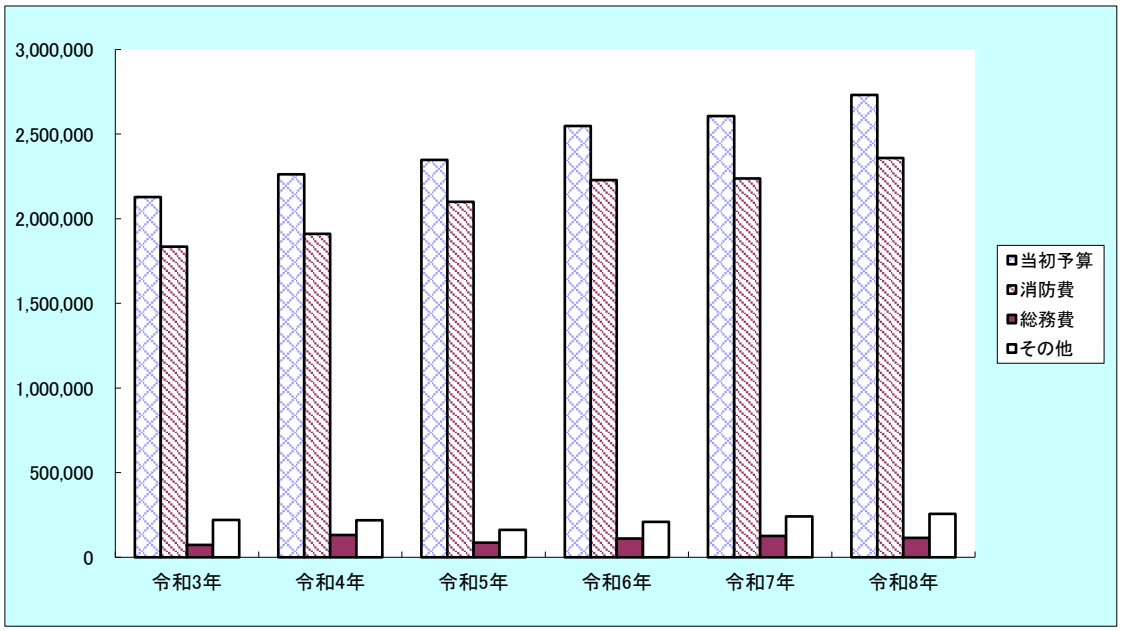
4　令和8年度　構成町分担金



志　免　町	537,053,330	(21%)
宇　美　町	455,811,707	(18%)
須　恵　町	371,425,307	(15%)
粕　屋　町	553,971,670	(22%)
篠　栗　町	395,510,378	(16%)
久　山　町	188,897,608	(8%)
分担金合計	2,502,670,000	(100%)

5　当初予算の推移

（単位：円）



6 消防相互応援協定等の状況

（1） 福岡県消防相互応援協定

福岡県内において大規模な災害が発生した場合の広域応援体制を確立する為、福岡県内の全市町村60団体と全消防本部24本部が相互に応援を行う為の、福岡県消防相互応援協定が締結され、平成元年4月1日から施行された。

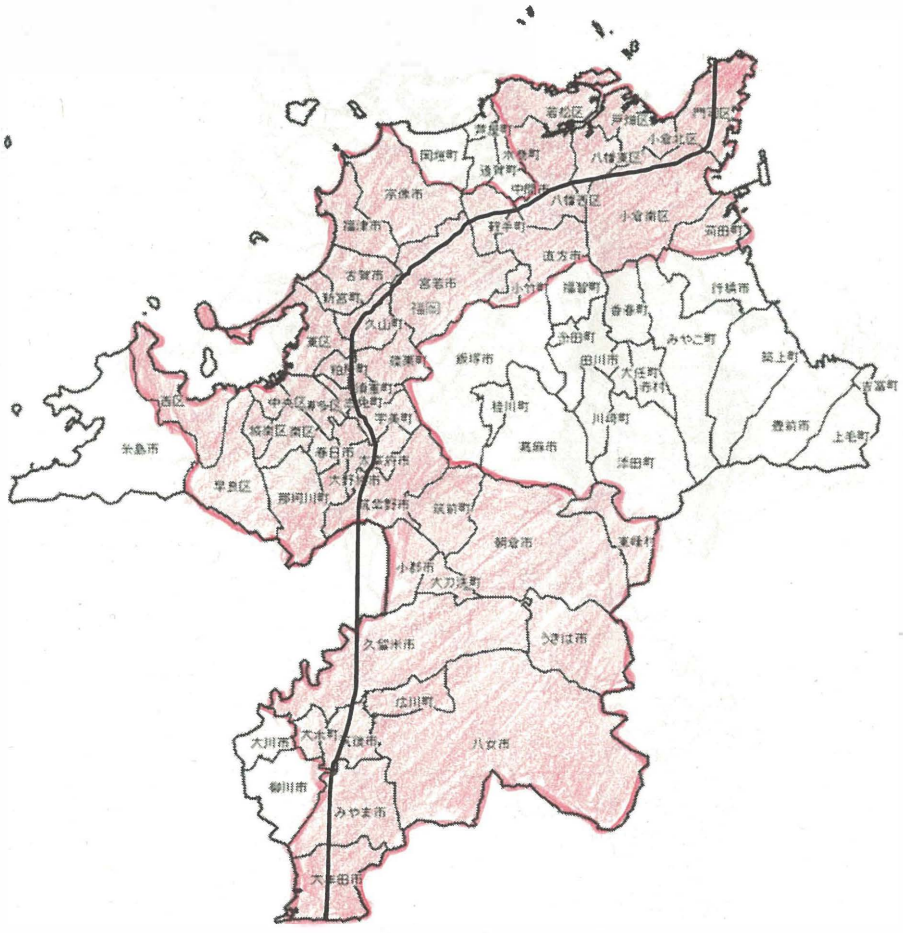
尚、この協定は、航空機による応援体制も福岡県広域航空消防応援実施要綱として盛り込まれている。

（2） 高速自動車道における消防相互応援協定

九州縦貫高速自動車道において火災、事故等消防業務を必要とする災害が発生した場合に協定市、及び組合相互間の消防力を活用して、災害による被害の軽減を図ることを目的とし、福岡県内の6市と10消防本部との間に高速自動車道における消防相互応援協定が締結され昭和61年10月15日から施行された。

・福岡県消防相互応援協定　　福岡県全域

・高速自動車道　　[redacted]



福岡県

（3）　福岡都市圏市町消防相互応援協定

火災、救急救助事案その他の災害が発生したとき、協定市町（現在9市10町・6消防組合）相互間の消防力を活用して、災害等による被害を最小限に防止し、安寧秩序を保持することを目的とし、福岡都市圏市町消防相互応援協定が締結され、昭和55年3月1日から施行された。

（4）　常備消防間消防相互応援協定

火災又は地震等の災害発生の際、関係組合の消防力を活用して災害による被害を最小限度に防止することを目的とする。

（ア）飯塚地区消防組合、粕屋南部消防組合

消防相互応援協定　（昭和63年10月17日）

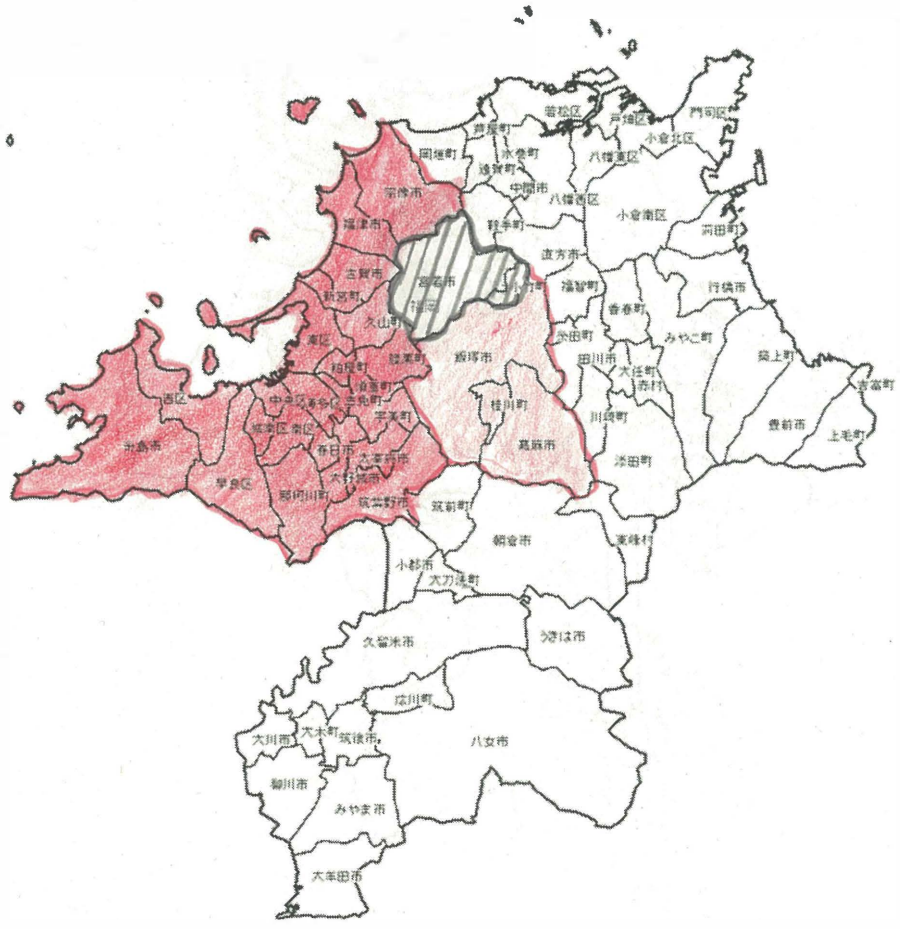
（イ）直方・鞍手広域市町村圏事務組合、粕屋南部消防組合

消防相互応援協定　（平成元年5月1日）

・福岡都市圏市町消防相互応援協定

・直方・鞍手広域市町村圏事務組合、粕屋南部消防組合消防相互応援協定

・飯塚地区消防組合、粕屋南部消防組合消防相互応援協定



福岡県

7 消防力の整備指針と現有の比較

（1） 署所数　　（基準日：令和8年4月1日）

署所数	基準	現有
	3	3



（2） 車両・人員

区分			基準台数（台）	基準台数に対する人員の基準（人）	現有台数（非常用を除く）（台）	現有台数に対する人員の基準（人）	現有人員（人）	備考
指揮隊員	指揮調査車		2	239	2	180	146	南部消防署1台 中部消防署1台
消防隊員	消防ポンプ自動車		5		3			南部消防署1台 中部消防署1台 西出張所1台
	はしご自動車		2		1			消防本部配備 乗換運用
	化学消防車		2		2			普通火災の場合は、ポンプ車として運用
	特殊車両	支援車	2		2			各種災害乗換運用
救急隊員	救急自動車		7		5			全車両高規格救急車
救助隊員	救助工作車（省令第4条）		1		1			南部消防署配備
	救助工作車（省令第2条）		1		1			中部消防署配備
通信員				3		3	3	現有人員を基準人員とする
人員の小計				242		183	149	交替勤務者数（通信員含む）
庶務の処置等の人員				27		27	45	管理職及び総務課（総務課付新任者含）・警防課・救急課・出張所日勤者・研修等
予防要員				23		23	9	実態に相応した人員
合計			22	292	17	233	203	

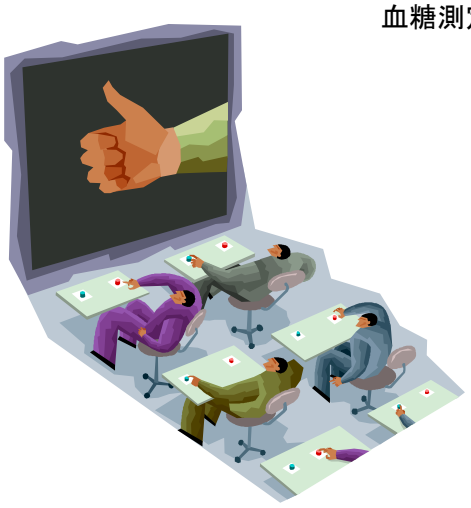
８　職員の特殊技能免許・有資格

令和8年9月1日現在

区分	自動車免許				二輪		無人航空機操縦技能（ドローン）	小型船舶	小型移動式クレーン運転	玉掛	特殊無線技士	酸素欠乏作業主任者	ガス溶接士	ボイラー技師	電気工事士	救助課程	潜水士	鉱山保安センター修了者
	牽引	大型特殊一種	大型一種	普通一種	大型	中型												
人	1	3	116	202	37	86	17	25	84	82	151	2	2	3	9	53	160	34

区分	救急関連資格									危険物取扱者			予防技術資格（防火査察）	予防技術資格（消防用設備）	予防技術資格（危険物）	消防設備士	衛生管理者
	救急Ⅰ課程	救急Ⅱ課程	救急標準課程・救急科	救命士	指導救命士（県認定）	気管挿管認定者	薬剤投与認定者	※処置拡大２項目認定	応急手当指導員	甲種	乙種	丙種					
人	10	6	156	45	9	31	41	42	173	2	98	3	102	16	13	24	3

※心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液
血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与





9 職員の配置状況

令和8年4月1日現在

配置別＼階級別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
合　計		1	3	8	28	34	67	3	59	203
消防本部	消防長	1								1
	次　長		1							1
	本部係長				2					2
	総務課 課長			1						1
	総務課 課長補佐									0
	総務課 企画財政係				1	3	1			6
	総務課 庶務人事係				1					
	総務課 派遣・入校・研修等				4	1	1		9	15
	予防課 課長			1						1
	予防課 課長補佐・参事補佐			1						1
	予防課 指導係				1	2	1			4
	予防課 危険物係				1	1	1			3
	警防課 課長			1						1
	警防課 参事兼課長補佐			1						1
	警防課 警防係				1	1	1(5)	(1)		4(6)
	警防課 救助係									
	警防課 情報管理係				1					
	救急課 課長			1						1
	救急課 救急係				1	1	2		1	5
	小　計	1	1	6	13	9	7(5)	(1)	10	47(6)

※(　)は、交替勤務者(署兼務)を表す

消防署	南部消防署 署長		1							1
	南部消防署 参事兼副署長			1						1
	南部消防署 署予防係長				1					1
	南部消防署 警備第1課				2	4	7	1	8	22
	南部消防署 警備第2課				2	3	8	1	8	22
	南部消防署 警備第3課				2	4	9		7	22
	小　計	0	1	1	7	11	24	2	23	69
	中部消防署 署長		1							1
	中部消防署 参事兼副署長			1						1
	中部消防署 署予防係長				1					1
	中部消防署 警備第1課				2	3	10		5	20
	中部消防署 警備第2課				2	4	8		6	20
	中部消防署 警備第3課				2	4	5	1	8	20
	西出張所 所長				1					1
	西出張所 警備第1課					1	4		3	8
	西出張所 警備第2課					1	4		3	8
	西出張所 警備第3課					1	5		1	7
	小　計	0	1	1	8	14	36	1	26	87

10 職員の階級別年齢

令和8年4月1日現在

階級別 / 配置別	合計	うち女性消防吏員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合　　計	198	8	1	3	8	24	34	67	2	59
平 均 年 齢	36.6	28.9	58	57.3	55	50.5	41.6	35.9	54	24.2
18	4	1								4
19	2									2
20	2									2
21	2									2
22	4	1								4
23	11	1								11
24	8									8
25	8	1								8
26	5									5
27	8							3		5
28	6							4		2
29	6	1						3		3
30	8							7		1
31	6							5		1
32	7	1						6		1
33	7							7		
34	4							4		
35	8						6	2		
36	6						2	4		
37	4						1	3		
38	3	1					3			
39	4						1	3		
40	3						1	2		
41	3						2	1		
42	5						4	1		
43	4					2	2			
44	6	1					4	2		
45										
46	3					1	2			
47	5					2	1	2		
48	4					3	1			
49	5					3	1	1		
50	2					1		1		
51	7				1	1	2	3		
52	7				1	5			1	
53	4				1	2	1			
54	3				1	1		1		
55	2					1		1		
56	2							1	1	
57	4			2	2					
58	4		1	1	2					
59										
60	2					2				
61以上	5					4			1	

11 職員の階級別勤務年数

令和8年4月1日現在

階級 / 配置別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合　計	203	1	3	8	28	34	67	3	59
平均勤続年数		39	38.3	35.6	31.1	19.3	15.2	37	3.4
1年未満	9								9
1	8								8
2	10								10
3	7								7
4	7								7
5	4								4
6	8						2		6
7	4						2		2
8	7						5		2
9	8						6		2
10	6						5		1
11	5						5		
12	9					1	7		1
13	14					5	9		
14	7					3	4		
15	2						2		
16	3					1	2		
17	6					6			
18	3					1	2		
19	5					2	3		
20	4				1	2	1		
21	3				1	2			
22	6				1	4	1		
23									
24	4				1	1	2		
25	2				1	1			
26	4				1	2	1		
27	1				1				
28	4				2	1	1		
29	1				1				
30	4				3	1			
31	4			1	2		1		
32	3			1	1		1		
33	7			1	3	1	2		
34	3				2			1	
35	1						1		
36	4			2	1		1		
37									
38	5		2		1		1	1	
39	9	1	1	3	3			1	
40	2				2				
41									
42									
43									
44以上									

12　職員の研修

高度・多様化する行政需要の中で、消防行政を迅速に、的確に執行していくため、職員には効果的な勤務効率の発揮と消防職員としての使命感が強く求められています。
この認識にたって消防職員としての基本的意識を徹底させるとともに職務遂行に必要な知識・技術を習得させ、意欲的に考え、行動する能力を向上させるために研修を実施しており、昭和63年以降新たな研修機関として、福岡県市町村職員研修所更に、平成7年から救急救命士養成のため救急救命研修所を加え、時代に即応した研修の充実強化に努めています。

令和7年度

機関	種別	目的	委託人員	日数
福岡県消防学校	第141回 初任教育	新たに採用された消防職員のすべてに対して基礎的教育訓練を行い、卒業後、直ちに警防隊員として活動できる職員を養成する。	8名	115日
	第32回 中級幹部科	原則として消防司令に対し、中級幹部として、消防行政の動向を理解するとともに、迅速かつ的確な意思決定により、上司の補佐及び部下の指揮監督を行い、組織を管理運営できる職員を養成する。	1名	7日
	第2回 水難救助実務研修	水難救助に必要な安全知識、潜水技術等を取得し、安全確実迅速に活動できる隊員を養成する。	2名	5日
	第39回 救助科	救助活動に係る最新の専門的知識及び専門的で高度な技能、技術を修得し、救助隊員として活動できる隊員を養成する。	4名	20日
	第18回 初級幹部科(A)	消防士長に対し、分隊長(小隊長)として必要な業務管理や現場指揮要領を修得し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1名	5日
	第54回 初級幹部科(B)	消防司令補に対し、初級幹部として、旺盛な職務遂行の意欲にあふれ、消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1名	10日
	第19回 警防実務研修	消防士及び消防副士長に対し、火災防ぎょを中心とした実科訓練を実施することにより、隊員としての防ぎょ活動及び機関運用能力を備えた職員を養成する。	2名	5日
	第21回 火災調査科	火災原因調査に係る専門的知識及び技能を修得し、これらの知識を適切に活用して火災調査業務を的確に遂行できる職員を養成する。	2名	10日
	第12回 特殊災害科	各級指揮者として、多数の傷病者を発生させるおそれが高く、消防活動に困難を伴う災害現場において、特に隊員の安全管理に配慮しつつ、適切、効果的な消防戦術を指揮できる職員を養成する。	2名	9日
	第42回 救急科	救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な観察・判断能力、応急処置に必要な専門的技能を修得し、救急隊員として活動できる職員を養成する。	6名	34日

消防大学校	第82期 幹部科	大規模災害発生時における緊急消防援助隊の活動や受援体制の向上を図る目的とする。	1名	47日
	第90期 救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させるとともに、教育指導者等としての資質を向上させる。	1名	52日
九州研修所	第44期 救急救命士 養成	全国の救急隊員を対象として、救急救命士資格を習得する為、高度かつ専門的知識及び技術を習得させることを目的とする。	1名	126日
東京研修所	第67期 救急救命士 養成	全国の救急隊員を対象として、救急救命士資格を習得する為、高度かつ専門的知識及び技術を習得させることを目的とする。	1名	126日
福岡県市町村職員研修所	セカンドキャリア 研修	定年延長者あるいは再任用職員として、組織の中での地震の新たな立場と役割を再認識する。	2名	1日
	契約事務研修	契約事務の遂行に必要な基本的知識・制度を学び、これからの実務で生かせる力を養う。	1名	2日
	新任係長研修	チームを率いていくリーダーとしての役割を理解し、心理的に安全な職場づくりに必要なコミュニケーション能力の向上に繋げる。	4名	2日
	傾聴力向上研修	現場での対人関係能力の向上にとって重要となる「聴き手」としての態度・心構えなどについて、ワークを通して体験的に学ぶ。	1名	2日

福岡県市町村職員研修所	法制執務基礎研修	法制執務に関する知識を学び、条例・規則等の作成に活かす。	1名	2日
	情報公開・個人情報保護研修	情報管理法制（情報公開・個人情報保護制度）について、その法的仕組みと運用に関する基礎力の養成を図る。	1名	2日
	クレーム対応基礎研修	クレームに対する基本的な心構えや対応方法を習得する。また、クレームを業務に活かすスキルを習得し、住民サービス向上を図る。	1名	1日
	コーチング研修	コーチングとは何か、その変遷を知り、現在の手法を学ぶ。また、ロールプレイイングとワークショップを通して知識を深め、職場ですぐに実践できるコミュニケーションスキルの習得を目指す。	1名	2日
	ハードクレーム対応研修	不当要求等のクレームを組織的に対応するための基礎知識や技能を習得する。また、各職場における対応マニュアル・体系図の作成に活用する。	1名	1日
	地方公務員法研修	職員の採用から退職まで、職員の転任、昇給などルールを定めるのが地方公務員法であり、条文を知識として知るだけではなく、実際の解釈や運用を学ぶ。	1名	2日
	管理監督者のためのメンタルヘルス研修	部下職員への声かけや不調への気づき、復職支援などのラインケアによる対策を学ぶ。また、管理監督者として、精神的なストレスに対する知識を深め、自己のセルフケア対策を学ぶ。	1名	1日
	自分も相手も大切にするコミュニケーション能力向上研修	コミュニケーションの基本と自分の対人スタンスを理解し、相手に配慮しながら自分の意見を伝えるアサーティブコミュニケーション手法を、ワークを通して体験的に習得する。	1名	2日
	ハラスメント防止研修	ハラスメントについての実態や課題、また防止策を理解することで心理的安全性の高い職場づくりを目指す。	1名	1日
	問題解決能力向上研修	常識や固定観念にとらわれない思考能力と、物事を体系的に捉え、筋道の通った思考能力とをあわせて強化することで、日常業務の課題発見能力や政策立案能力の向上を図る。	1名	2日

13　職員互助会及びクラブ活動

　職員の相互共済及び福利増進を目的として、福利厚生等に関するさまざまな事業を実施しています。
また体育クラブを主として、クラブ活動も積極的に行い、地域住民とのコミュニケーションを図り、より一層の消防に対する信頼性・人間形成の充実を図っています。

職員互助会の主な事業

○ 研修旅行･教養図書購入等の福利厚生事業を行っています。

クラブ活動

・　職員のクラブ活動を応援しています。

走ろう会





剣道部







野球部







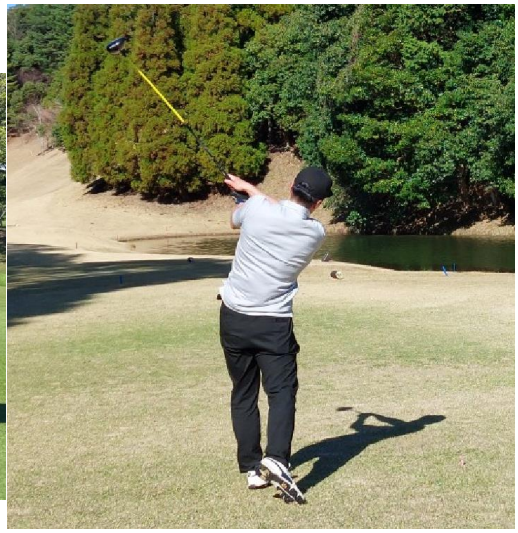
つり倶楽部





ゴルフ部





予防編

1　防火対象物現況表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
2　防火対象物の予防査察状況・・・・・・・・・・・・・・51
3　建築確認同意事務処理状況・・・・・・・・・・・・・・52
4　中高層建築物（４階以上）の現況・・・・・・・・・・・53
5　防火管理者選任状況・・・・・・・・・・・・・・・・・54
6　消防用設備等着工届出事務処理状況・・・・・・・・・・54
7　危険物施設状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
8　製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況・・・55
9　液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況・・・・56
10　危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況・・・・56
11　手数料収入状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
12　町別危険物設置許可施設・事業所数状況・・・・・・・57
13　製造所等状況グラフ・・・・・・・・・・・・・・・・・57
14　粕屋南部地域防災協会・・・・・・・・・・・・・・・・58
15　幼年・少年消防クラブ・・・・・・・・・・・・・・・・59

1 防火対象物現況表

令和8年3月31日現在

防火対象物 項別 ＼ 町別			志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	0	2	0	1	1	2	6
	ロ	公会堂、集会場	41	28	21	28	23	12	153
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	3	1	0	2	0	3	9
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0	0	0	0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗	2	0	0	1	0	0	3
3	イ	待合、料理店の類	0	0	0	1	1	0	2
	ロ	飲食店	37	7	5	15	10	13	87
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場	60	34	24	48	30	19	215
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	0	1	1	13	1	19
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	610	263	258	788	329	59	2307
6	イ	病院、診療所、助産所	38	21	20	21	23	3	126
	ロ	社会福祉施設等（主自力避難困難者入所）	9	10	10	11	9	7	56
	ハ	6項ロ以外の社会福祉施設等	27	41	23	32	25	10	158
	ニ	幼稚園、特別支援学校	5	4	0	3	2	1	15
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類	15	25	17	19	14	7	97
8		図書館、博物館、美術館の類	0	1	2	1	0	0	4
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0	0	0	0	0	0	0
	ロ	イ以外の公衆浴場	0	0	1	0	0	1	2
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場	0	0	0	1	2	0	3
11		神社、寺院、教会の類	20	7	9	14	35	11	96
12	イ	工場、作業場	150	214	226	177	70	68	905
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0	0	0	0	0	0	0
13	イ	自動車車庫、駐車場	15	19	22	20	16	8	100
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	0	0	0
14		倉庫	192	232	192	326	77	87	1106
15		全各号に該当しない事業所	166	117	89	194	87	62	715
16	イ	特定複合用途防火対象物	87	29	25	63	37	18	259
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	55	37	24	77	31	9	233
16の2		地下街	0	0	0	0	0	0	0
16の3		準地下街	0	0	0	0	0	0	0
17		文化財	1	0	0	0	0	0	1
18		アーケード	0	0	0	0	0	0	0
19		市町村長の指定する山林	0	0	0	0	0	0	0
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0	0	0	0
合計			1,536	1,092	969	1,844	835	401	6,677

2 防火対象物の予防査察状況

令和8年3月31日現在

防火対象物 項別 ＼ 町別			対象物数	査察数						合計
				志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	6		1		1	1	1	4
	ロ	公会堂、集会場	152	6	4	3	5	4		22
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類	0							0
	ロ	遊技場、ダンスホール	10	3			1		3	7
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類	0							0
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗	3				1			1
3	イ	待合、料理店の類	2				1			1
	ロ	飲食店	86	10	1		2	1	2	16
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場	216	23	13	8	22	10	13	89
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	20	1		1	1	2	1	6
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	2301		1		1	1	1	4
6	イ	病院、診療所、助産所	123	16	6	3	9	6		40
	ロ	社会福祉施設等（主自力避難困難者入所）	54	5	6	6	5	6	5	33
	ハ	6項ロ以外の社会福祉施設等	153	10	19	5	13	10	5	62
	ニ	幼稚園、特別支援学校	15	1	2		2	1	1	7
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類	97	3	10		19		2	34
8		図書館、博物館、美術館の類	4		1	1	1			3
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類	0							0
	ロ	イ以外の公衆浴場	2						1	1
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場	3							0
11		神社、寺院、教会の類	97					6	4	10
12	イ	工場、作業場	898	13	43	34	36	10	15	151
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0							0
13	イ	自動車車庫、駐車場	98	2	6	12	5	3	4	32
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫	0							0
14		倉庫	1113	27	51	49	70	14	21	232
15		全各号に該当しない事業所	714	14	36	16	30	9	10	115
16	イ	特定複合用途防火対象物	254	30	10	12	33	14	14	113
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	231	6	7	2	15	3	3	36
16の2		地下街	0							0
16の3		準地下街	0							0
17		文化財	1							0
18		アーケード	0							0
19		市町村長の指定する山林	0							0
20		総務省令で定める舟車	0							0
合計			6,653	170	217	152	273	101	106	1,019

3 建築確認同意事務処理状況

令和8年3月31日現在

防火対象物 項別 ＼ 町別			志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場							0
	ロ	公会堂、集会場		1	2				3
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類							0
	ロ	遊技場、ダンスホール							0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類							0
	ニ	カラオケボックス、個室型店舗							0
3	イ	待合、料理店の類							0
	ロ	飲食店				1		1	2
4		百貨店、マーケット、店舗、展示場					1		1
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所					1		1
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	4	3		12	1		20
6	イ	病院、診療所、助産所				1			1
	ロ	社会福祉施設等（主自力避難困難者入所）		1	2	1			4
	ハ	6項ロ以外の社会福祉施設等		2	1	1	2	1	7
	ニ	幼稚園、特別支援学校							0
7		小学校、中学校、高等学校、大学の類			2		1		3
8		図書館、博物館、美術館の類							0
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場の類							0
	ロ	イ以外の公衆浴場						1	1
10		車両の停車場、船舶または航空機の発着場							0
11		神社、寺院、教会の類						2	2
12	イ	工場、作業場		3	6	2	2		13
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							0
13	イ	自動車車庫、駐車場			2	2	1		5
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫							0
14		倉庫	4	5	3	13	4	4	33
15		全各号に該当しない事業所	3	6	4	4	3	2	22
16	イ	特定複合用途防火対象物	2	1		1			4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物			1	1			2
17		文化財							0
専用住宅			2	16	11	17	6	3	55
併用住宅									0
長屋式住宅			8	7	11	17			43
その他（農業用倉庫）			1					1	2
合計			24	45	45	73	22	15	224

4　中高層建築物（4階以上）の現況

令和8年3月31日現在

		志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町
15 F	6		1	1	1	3	
14 F	8	2			4	2	
13 F	3				1	2	
12 F	6	3		1	1	1	
11 F	16	4			7	5	
10 F	23	3	1		14	5	
9 F	23	2	1	1	14	5	
8 F	40	6	1	3	19	11	
7 F	64	35	1	1	17	9	1
6 F	111	38	2		43	28	
5 F	197	69	26	18	60	22	2
4 F	339	120	33	22	102	55	7
合　計	**836**	**282**	**66**	**47**	**283**	**148**	**10**



・R7.5.28　第1回甲種防火管理新規講習 修了者47名
・R7.10.31　第2回甲種防火管理新規講習 修了者46名

・R7.2.25　甲種防火管理再講習　修了者9名
・R7.9.5　乙種防火管理新規講習 修了者6名

5 防火管理者選任状況

令和8年3月31日現在

町　名	種　別	選任義務対象物数	選任済対象物	選任率
志免町	甲　種	345	234	68　%
	乙　種	70	46	66　%
宇美町	甲　種	146	120	82　%
	乙　種	28	16	57　%
須恵町	甲　種	123	99	80　%
	乙　種	18	10	56　%
粕屋町	甲　種	361	292	81　%
	乙　種	40	35	88　%
篠栗町	甲　種	207	157	76　%
	乙　種	25	16	64　%
久山町	甲　種	91	81	89　%
	乙　種	15	10	67　%
合計	甲　種	1273	983	77　%
	乙　種	196	133	68　%

6 消防用設備等着工届事務処理状況

令和7年度中

区分＼町別	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	計
屋内消火栓設備	3	2	2	4	2	1	14
スプリンクラー設備	5			10			15
特定施設水道連結型スプリンクラー設備			2				2
泡消火設備等	3		1		2		6
ハロゲン化物消火設備							0
屋外消火栓設備			2		1		3
自動火災報知設備	12	19	12	34	15	7	99
消防機関へ通報する火災報知設備	3	2	5	2	1		13
非常警報設備	3	1	1	2	2		9
避難器具	1			6			7
誘導灯		1	2	1	2	1	7
連結送水管			1		1		2
共同住宅用自動火災報知設備	4	1	1	3			9
パッケージ型消火設備			1				1
合　計	34	26	30	62	26	9	187

7 危険物施設状況

令和8年3月31日現在

区分＼製造所等の別			計	製造所	貯蔵所								取扱所			
					小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
施設数		前年度末	467	11	280	92	29	11	59	0	66	23	176	136	1	39
		今年度末	465	11	281	92	29	11	58	0	68	23	173	134	1	38
施設別	5倍以下		124	3	105	33	9	9	25		25	4	16	4		12
	5倍を超え10倍以下		95	1	59	26	6	2	10		13	2	35	16		19
	10 〃 50 〃		149	6	76	25	9		20		5	17	67	60	1	6
	50 〃 100 〃		38	1	23	3	3		3		14		14	13		1
	100 〃 150 〃		16		13	1	1				11		3	3		
	150 〃 200 〃		3		0								3	3		
	200 〃 1000 〃		40		5	4	1						35	35		
	1000 〃 5000 〃		0		0								0			
類別	単独	第 1 類	1		1	1							0			
		第 2 類	2		2	2							0			
		第 3 類	1		1	1							0			
		第 4 類	457	10	274	85	29	11	58		68	23	173	134	1	38
		第 5 類	0		0								0			
		第 6 類	0		0								0			
	混在		5	1	4	4							0			

8 製造所等別の許可・完成検査及び廃止届の状況

区分＼製造所等の別			計	製造所	貯蔵所								取扱所			
					小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所
許可	設置		8		6	1			1		4		2			2
	変更		16	1	2						2		13	12		1
	常置場所変更	他許可行政庁に転出	1		1						1		0			
		他許可行政庁から転入	1		1						1		0			
完成検査	設置		7		6	1			1		4		1			1
	変更		15	1	2						2		12	11		1
	他許可行政庁から転入		1		1						1		0			
廃止			7		4				1		3		3	2		1
検査前設置許可の取り消し			0		0								0			

9 液体危険物タンクの完成検査前検査実施状況

令和7年度

合　計	水　張　検　査				
	小　計	10kl以下	10kl.を超え 1，000kl.以下	1，000kl.を超え 2，000kl.以下	2，000kl.を 超えるもの
152	150	145	5		

水　圧　検　査				
小　計	600ℓ以下	600ℓ.を超え 10kl.以下	10kl.を超え 20kl.以下	20kl.を 超えるもの
2	2			

10 危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱状況

仮　使　用															
計	製造所	貯　蔵　所								取　扱　所				仮貯蔵	仮取扱
		小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所		
10		0								10	10				3

11 手数料収入状況

（単位：千円）

合　計	許　可　手　数　料			完　成　検　査　手　数　料		
	小　計	設　置	変　更	小　計	設　置	変　更
1896.95	624.5	228	396.5	273.25	94.5	178.75

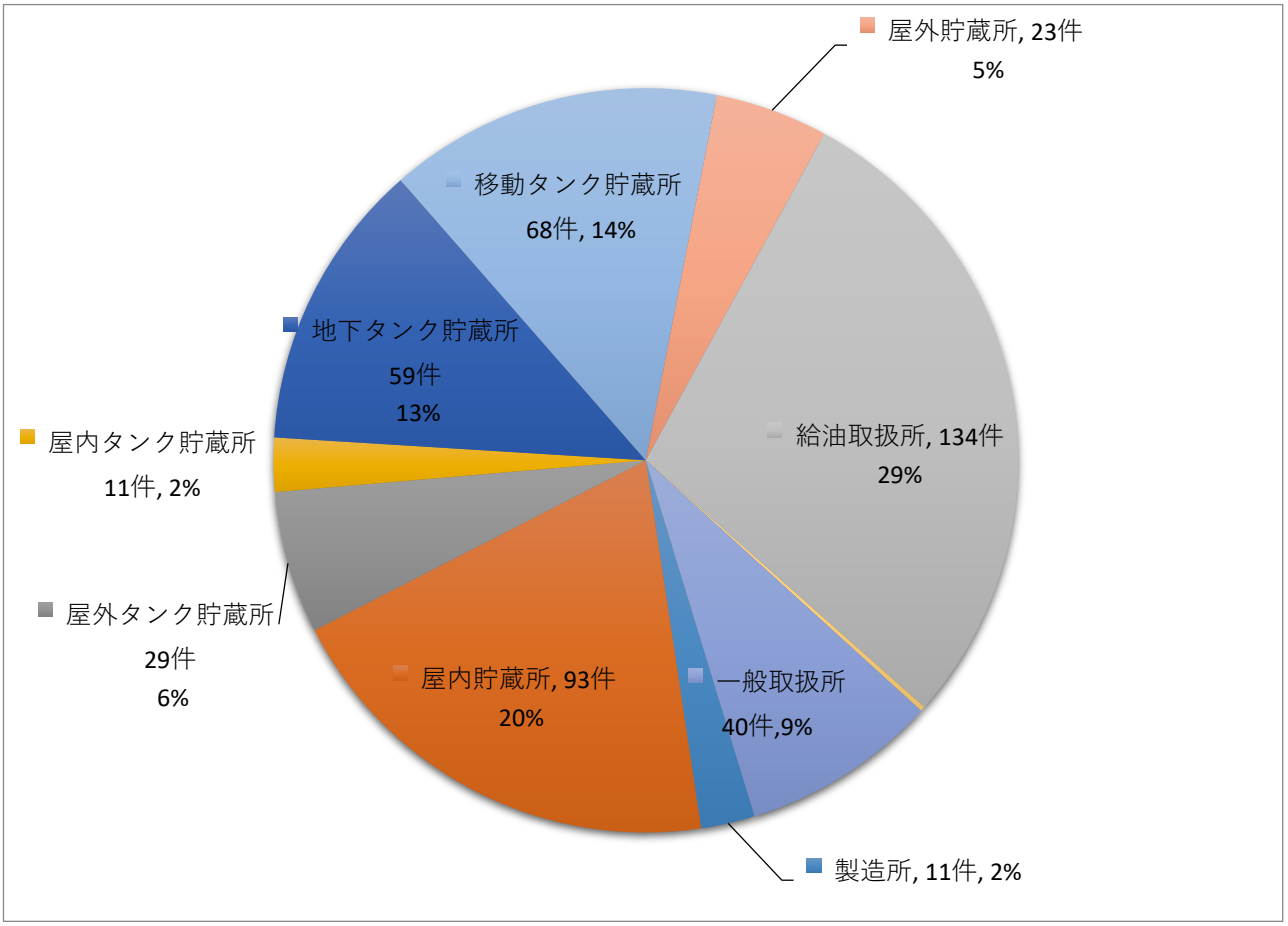
完成検査前検査手数料			仮貯蔵、仮取扱及び仮使用手数料			
小　計	水張検査	水圧検査	小　計	仮貯蔵 手数料	仮取扱 手数料	仮使用 手数料
929	907	22	70.2		16.2	54

12　町別危険物設置許可施設･事業所数状況

令和8年3月31日現在

町名＼製造所等の別	計	製造所	貯蔵所								取扱所				事業所数
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
志免町	75	2	48	25	3	2	12		5	1	25	17	1	7	45
宇美町	87		51	19	11	2	12		6	1	36	26		10	55
須恵町	74	1	50	11	4		6		29		23	17		6	35
粕屋町	121	7	74	19	7	1	10		17	20	40	35		5	61
篠栗町	51	1	31	6	3	3	10		9		19	10		9	32
久山町	61		29	13	1	3	9		2	1	32	29		3	43
合　計	469	11	283	93	29	11	59		68	23	175	134	1	40	271

13　製造所等状況グラフ



14 粕屋南部地域防災協会

昭和 51年 6 月、粕屋南部（志免、宇美、須恵）の石油販売を業とする事業所を主体として、危険物災害の発生防止と安全推進の為、設立されました。

昭和 62 年 4 月には、中部地区（粕屋、篠栗、久山）の加入に伴い組織・機構の強化が図られ、危険物はもとより防火管理業務に起因する災害の防止に努め、自主防災確立を目的として、安全・安心な職場作りと明るい町づくりを推進しています。

令和 7 年度の主な事業

令和 7 年 4 月 23 日
●定例総会・創立50周年記念祝賀会

令和 7 年 5 月 27 日～28 日（2 日間）
●第 1 回 甲種防火管理新規講習 （消防本部研修室）

令和 7 年 6 月 7 日
●第 1 回 危険物取扱者試験準備講習会（消防本部研修室）

令和 7 年 6 月 8 日～14 日（危険物安全週間）
●危険物施設安全週間啓発ポスター配布

令和 7 年 6 月 10 日
●危険物施設消防演習（天候不良のため中止）

令和 7 年 6 月 24 日
●福岡県危険物安全協会安全大会・通常総会

令和 7 年 7 月 10 日、7 月 17 日
●防災協会主催 普通救命講習 （南部消防署・中部消防署）

令和 7 年 9 月 5 日
●第 39 回 親善ボウリング大会 （粕屋町 仲原Jボウル）

令和 7 年 9 月 24 日
●福岡県危険物安全協会福岡地区会議

令和 7 年 10 月 4 日
●第 2 回 危険物取扱者試験準備講習会（消防本部研修室）

令和 7 年 10 月 24 日
●第 35 回 屋内消火栓・消火器操法大会 （中部消防署）

令和 7 年 10 月 30 日～31 日（2 日間）
●第 2 回 甲種防火管理新規講習 （消防本部研修室）

令和 7 年 12 月 6 日
●防災防犯フェア

令和 8 年 1 月 19 日
●会報誌 「防災かすやなんぶ 78 号」 発行

令和 8 年 1 月 31 日
●第 3 回 危険物取扱者試験準備講習会（消防本部研修室）

令和 8 年 2 月 13 日
●役員視察研修（玄海エネルギーパーク）

令和 8 年 2 月 25 日
●甲種防火管理再講習（消防本部研修室）

＜会員事業所内訳（206 事業所）＞ 令和 8 年 4 月 1 日現在

石 油 部 会 35 医療福祉部会 37 一 般 部 会 16	LPガス部会 18 大店舗部会 8	少量危険物部会 1 運輸倉庫部会 41	工 場 部 会 49 旅館料飲部会 1

令和 8 年度役員

会 長	副会長	理 事	監 事
百濟 敏美	三宅 史員 樋口 寿次 飯田 泰弘 久芳 貴浩	牛房 良幸・藤 康則・今任 輝彦・下稲葉 主一 西川 琢也・牛島 博文・松尾 憲典・井上 将司 諸岡 孝・南里 直・井浦 輝也・齋藤 滋治 藤田 浩文・有隅 哲哉	井上 裕紀 梶 陽嘉

15 幼年・少年消防クラブ

幼年組織現況

30クラブ　　927 人　　令和7年4月1日時点

町　名	クラブ名称（クラブ員数）	合　計
志　免	志免中央幼稚園（ 77 ）かめやま保育園（ 40 ）志免東保育園（ 18 ） 志免あおぞら保育園（ 23 ）志免南保育園（ 21 ）別府つくし保育園（ 34 ） 志免幼稚園（ 38 ）タンポポ保育園（ 18 ）洞清寺あかつき幼稚園（ 47 ）	316 人
宇　美	宇美八幡宮保育園（ 20 ）宇美幼稚園（ 57 ）貴船保育園（ 19 ） 早見保育園（ 23 ）原田保育園（ 26 ）柳原ぷらす保育園（ 20 ）	165 人
須　恵	れいんぼー幼児園（ 66 ）アザレア幼児園（ 52 ）わかすぎの杜保育園（ 23 ） 須恵南幼稚園（ 23 ）	164 人
粕　屋	大川保育園（ 41 ）中央保育園（ 22 ）西保育所（ 27 ）	90 人
篠　栗	栗の子保育園（ 35 ）篠栗どろんこ保育園（ 29 ）勢門幼児園（ 26 ） 勢門幼稚園（ 36 ）和田幼稚園（ 40 ）	166 人
久　山	ひさやま保育園 杜の郷（ 26 ）	26 人

少年組織現況

1クラブ　　10 人

篠　栗	篠栗小学校萩尾分校（ 10 ）	10 人





警防編

警防

1　車両保有状況・・・・・・・・・・・・62
2　消防車両紹介・・・・・・・・・・・・63
3　火災の総括・・・・・・・・・・・・・67
4　火災の総括表・・・・・・・・・・・・68
　①　前年比較総括表
　②　月別総括表
　③　町別総括表・南部管内３ヶ町
　④　町別総括表・中部管内３ヶ町
5　火災件数・・・・・・・・・・・・・・71
　①　月別火災件数
　②　曜日別火災件数
　③　時間別火災件数
　④　覚知別火災件数
　⑤　気象別火災件数
6　建物火災における罹災状況・・・・・74
7　出火原因の状況・・・・・・・・・・75
8　過去５年間の推移・・・・・・・・・76
　①　火災発生件数及び損害額状況
　②　出火率及び管内総人口状況
　③　火災種別
　④　主な出火原因
　⑤　地域別火災件数
9　月別・各町建物火災総括表・・・・・80
10　消防水利状況・・・・・・・・・・・81

救急

1　救急の総括・・・・・・・・・・・・・82
2　救急概要・・・・・・・・・・・・・・84

救急

3　出動状況・・・・・・・・・・・・・・84
　①　事故種別出動件数前年比較
　②　過去５年間の出動件数の推移
　③　過去５年間の救急１件あたりの人口推移・世帯推移
　④　町別出動件数
　⑤　月別・事故種別出動件数
　⑥　事故種別・時刻別出動件数
4　搬送状況・・・・・・・・・・・・・・88
　①　事故種別程度別搬送状況
　②　程度別搬送人員の推移
　③　年齢別・事故種別搬送状況
　④　高齢者搬送状況（過去５年間）
　⑤　管内・管外搬送状況
　⑥　事故種別・医療機関別搬送状況
5　所要時間・・・・・・・・・・・・・・92
6　救急隊員の行った応急処置件数・・・・93
7　不搬送状況・・・・・・・・・・・・・94
8　応急手当の普及啓発活動状況・・・・・94

救助

1　救助の総括・・・・・・・・・・・・・95
2　救助の概要・・・・・・・・・・・・・97
3　救助機械器具等の保有状況・・・・・・99

通信

1　通信指令系統図・・・・・・・・・・・100
2　月別１１９着信数内訳・・・・・・・・101
3　類別１１９着信割合・・・・・・・・・101

１ 車 両 保 有 状 況

所属	整理番号	車種別	車名	購入先	登録年月日	運転資格
		登録番号	型式	艤装・保守		総重量
本部車両	緊1	**緊急連絡車**	トヨタハイラックス	福岡トーハツ	2023年5月12日	普通
		福岡830 す 23-05	3DF－GUN125	福岡トヨペット		2,985
	総1	**総務連絡車**	ニッサン セレナ	吉村自動車	2010年2月23日	普通
		福岡 502 ほ 17-18	DBA-C25			2,060
	予1	**予防査察車**	ホンダ Nボックス	福岡篠栗モーター	2013年2月7日	普通
		福岡 581 い 55－59	DBA-JF1			1,150
	予2	**防災指導車**	トヨタ シエンタ	福岡篠栗モーター	2025年11月7日	普通
		福岡504 の 75－12	5BA-MXPC10G			1,675
	救連1	**救急連絡車**	スズキエブリィ	今任自動車	2016年5月20日	普通
		福岡 480 ち 62-09	HBD-DA17V			1,320
南部消防署車両	支1	**支援車**	日野レンジャー	モリタ	2021年11月25日	中型
		福岡 830さ21-11	2KG-GX2ABA	坪井特殊車体		10,350
	指揮1	**指揮調査車**	トヨタハイエース	消防防災	2018年3月13日	普通
		福岡 830せ 18-01	CBF-TRH226S			3,210
	1	**タンク車**	日野レンジャー	消防防災	2017年1月25日	中型
		福岡 830 す 17-01	SDG-GX7JGAA改	日本機械		10,700
	化学1	**化学車**	日野レンジャー	消防防災	2014年1月22日	大型
		福岡 831 す 119	SDG-GX7JGAA改	日本機械		11,130
	救助1	**救助工作車**	日野レンジャー	キンパイ	2016年3月16日	大型
		福岡830 さ 16-01	SDG-GX7JGAA改	テイセンテクノ		11,790
	はしご1	**はしご車**	日野ﾌﾟﾛﾌｨｱ	モリタ	2024年11月19日	大型
		福岡 830 す 24-11	2DG-PR1APJF	モリタテクノス		20,320
	5	**非常用消防車**	三菱FUSO ファイター	福岡トーハツ	2004年1月26日	大型
		福岡 830 の 119	KK-FK61HGY	吉谷ポンプ		11,620
	救1	**救急車1**	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	2025年4月11日	普通
		福岡 830 す 25-04	3BF-TRH226S	トヨタカスタマイジング		3,235
	救2	**救急車 2**	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	2022年1月6日	普通
		福岡 830 せ 22-01	3BF-TRH226S	トヨタカスタマイジング		3,245
	救8	**救急車8**	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	2025年3月10日	普通
		福岡 830 す 25-03	3BF-TRH226S	トヨタカスタマイジング		3,195
	救7	**救急車7**	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	2018年1月9日	普通
		福岡 801 の 11-11	CBF-TRH226S	トヨタカスタマイジング		3,155
	南1	**南部防災指導車**	ニッサン セレナ	日産自動車販売空港店	2026年7月27日	普通
		福岡518 そ 11-11	6AA－GC28			2,020
	南2	**ミニバイク 1**	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	2002年9月1日	原付
		志免町 公・418	BA-AA01			
	南3	**ミニバイク 2**	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	2002年9月1日	原付
		志免町 公・420	BA-AA01			
中部消防署車両	支2	**支援車**	トヨタ コースター	福岡トーハツ	2003年9月24日	中型
		福岡 800 す 15-24	KK-HZB46V	福岡トヨタ自動車		3,955
	指揮2	**指揮調査車**	トヨタハイエース	消防防災	2017年1月26日	普通
		福岡 830 さ 17-02	CBF-TRH226S			3,210
	2	**タンク車**	日野レンジャー	福岡トーハツ	2021年2月3日	大型
		福岡 830 さ 21-02	2KG-GX2ABA	吉谷ポンプ		11,720
	化学2	**化学車**	日野レンジャー	福岡トーハツ	2023年6月29日	大型
		福岡 830 す 23-06	2KG－GX2ABA	吉谷ポンプ		11,850
	救助2	**救助工作車**	日野 レンジャー	キンパイ	2011年2月24日	大型
		福岡 830 り 119	BDC-GX7JGWA改	テイセンテクノ		11,050
	4	**非常用消防車**	三菱FUSO ファイター	福岡トーハツ	2002年11月8日	中型
		福岡 830 て 119	KK-FK61HGX	吉谷ポンプ		9,180
	救3	**救急車 3**	トヨタハイエース	福岡トヨタ自動車	2023年12月15日	普通
		福岡 830 さ 23－12	3BF－TRH226S	トヨタカスタマイジング		3,225
	救4	**救急車 4**	トヨタハイエース	福岡トヨタ自動車	2020年11月17日	普通
		福岡 830 せ 20-11	3BF－TRH226S	トヨタカスタマイジング		3,235
	救6	**救急車 6**	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	2017年1月10日	普通
		福岡 830 さ 17-06	CBF-TRH226S	トヨタカスタマイジング		3,175
	中1	**中部連絡車**	トヨタ ノア	福岡篠栗モーター	2012年1月24日	普通
		福岡 502 ゆ 91-93	DBA－ZRR70G			1,585
	中2	**査察車**	トヨタ ノア	伊藤自動車	2011年8月19日	普通
		福岡 502 も 49-39	DBA-ZRR70G			2,020
	中3	**ミニバイク 4**	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	2002年9月1日	原付
		志免町 公・422	BA-AA01			
	中4	**ミニバイク 5**	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	2002年9月1日	原付
		志免町 公・423	BA-AA01			
西出張所車両	3	**タンク車**	日野レンジャー	福岡トーハツ	2018年2月21日	中型
		福岡 830 さ 18-03	2KG-GX2ABA	吉谷ポンプ		10,960
	救5	**救急車 5**	トヨタ ハイエース	福岡トヨタ自動車	2022年11月18日	普通
		福岡 830さ 22-11	3BF-TRH226S	トヨタカスタマイジング		3,195
	西1	**査察車2**	トヨタ プリウス	福岡篠栗モーター	2011年3月2日	普通
		福岡 301 め 21-22	DAA-ZVW30			1,845
	西2	**ミニバイク 3**	ホンダ カブ	モトショップ フジキ	2002年9月1日	原付
		志免町 公・421	BA-AA01			

2　消防車両紹介

消防本部警防課

緊急連絡車



・災害現場支援
・機動力を活かし各種訓練に活躍

南部消防署

指揮調査車



・災害現場で現場消防本部を設置、指揮活動
・各種調査機材を積載し、原因調査活動を行う

タンク車



・水槽付消防ポンプ自動車　・4WD
・水槽　2.0t

化学車



・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型　・4WD
・水槽 1.3t　泡原液槽　0.5t

救助工作車



・救助工作車Ⅲ型　・4WD　・高度救助資機材積載
・緊急消防援助隊　救助小隊登録車両

はしご車



・水路管付 35m 級先端屈折はしご自動車

支援車



・資機材搬送や人員搬送に活躍
・緊急消防援助隊　後方支援小隊登録車両

非常用消防車



・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型
・高圧ポンプ積載、水槽 1.5t 泡原液槽 0.5t

救急車(救急1)



・高規格救急車 ・4WD
・タイラーⅢ号

救急車(救急2)



・高規格救急車 ・4WD
・災害対応特殊救急自動車
・緊急消防援助隊 救急小隊登録車両

救急車(救急 8)



・高規格救急車 ・4WD

非常用救急車(救急7)



・高規格救急車 ・4WD
・タイラーⅡ号

中部消防署

指揮調査車



・災害現場で現場消防本部を設置、指揮活動
・各種調査機材を積載し、原因調査活動を行う

タンク車



・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車
・水槽　2.0t　・4WD
・緊急消防援助隊　消火小隊登録車両

化学車



・化学消防ポンプ自動車Ⅱ型
・水槽　1.3t　泡原液槽　0.5t

救助工作車



・救助工作車Ⅱ型　・4WD

非常用消防車



・水槽付消防ポンプ自動車　・水槽 2.0t
・高圧ポンプ積載

支援車



・資機材搬送や人員搬送に活躍

救急車(救急3)



・高規格救急車　・4WD

救急車(救急4)



・高規格救急車　・4WD
・災害対応特殊救急自動車
・緊急消防援助隊　救急小隊登録車両

非常用救急車（救急車6）

・高規格救急車　・4WD



西出張所

タンク車

・水槽付き消防ポンプ自動車　・4WD ・水槽　2.0t

救急車(救急5)

・高規格救急車　・4WD

3　火災の総括

①　発生状況及び出火率

令和7年中（令和7年1月1日～令和7年12月31日）における火災件数は41件で、前年から10件減少している。前年比の内訳は、建物火災が11件減少、林野火災は1件減少、車両火災が2件減少、その他火災が4件増加した。

出火件数を火災種別で見ると、建物火災が24件（58．5%）と最も多く、次いで車両火災が4件（9．8%）、林野火災が0件(0%)、その他火災（建物、車両、林野火災に該当しないもの）が13件(31．7%)、となっている。

出火件数を月別に見ると、5月が最も多く9件、次いで7月が7件、12月が5件、6月が4件、2月・3月・4月が3件、8月・9月が2件、1月・10月・11月は1件となっている。

建物火災の用途別では、専用住宅が5件（20．8%）、共同住宅が2件（8．3%）、併用住宅が1件（4．2%）、店舗が3件（12．5%）、工場・作業場が2件（8．3%）、倉庫が3件（12．5%）その他が8件（33．3%）となっている。

出火率（人口1万人当たりの出火件数）は2．0件で、前年から0．5件減少している。この数値は、前年（令和6年中）の全国平均出火率3．1件より1．1件少ない数値である。

②　死傷者

火災による死者は1人（前年3人）で、負傷者は4人（前年4人）である。

③　焼損状況及び損害額

焼損棟数は26棟で、前年の51棟より25棟減少し、火元建物の焼損床面積は364.5㎡で、前年の2,629㎡より2,264.5㎡減少している。

火災による損害額は86，954千円で、前年の173，852千円より、86，898千円減少している。

④　出火原因

出火原因で最も多かったのが、たばこ及び電気機器が7件である。次いで、火遊び及び放火が3件となっている。

◆令和7年火災総括表

総火災件数		41	件
火災種別	建物	24	件
	林野	0	件
	車両	4	件
	その他	13	件
焼損棟数		26	棟
り災世帯		10	世帯
り災人員		23	人
建物焼損床面積（火元）		364.5	㎡
〃	（類焼）	13.0	㎡
建物焼損表面積（火元）		11.0	㎡
〃	（類焼）	0.0	㎡
林野焼損面積		0.0	アール
死者		1	人
負傷者		4	人
総損害額		86,954	千円
内訳	建物	85,384	千円
	林野	0	千円
	車両	1,294	千円
	その他	276	千円

◆各種別平均

件数		
1か月当り	3.4	件
1日当り	0.11	件
損害額		
1件当り	2,120.8	千円
1か月当り	7,246.2	千円
1日当り	238.2	千円
1時間当り	9.9	千円
1分当り	0.2	千円
焼損床面積（建物火災・火元）		
1件当り	15.2	㎡
1か月当り	30.4	㎡
1日当り	1.0	㎡

出火率　（人口1万人当り）

2.0	件

◆出火原因順位

順位	出火原因	件数
1位	たばこ	7
	電気機器	
2位	火遊び	3
	放火	

※出火原因順位にその他及び不明は含まれない。

４ 火災の総括表

① 前年比較総括表

区分			単位	令和7年	令和6年	前年比
火災件数	計		件	41	51	△ 10
	建物		〃	24	35	△ 11
	林野		〃	0	1	△ 1
	車両		〃	4	6	△ 2
	その他		〃	13	9	4
焼損面積	建物	床面積(火元)	㎡	365	2,629	△ 2,265
		〃 (類焼)	〃	13	103	△ 90
		表面積(火元)	〃	11	24	△ 13
		〃 (類焼)	〃	0	33	△ 33
	林野		a	0	0	0
焼損棟数	計		棟	26	51	△ 25
	全焼		〃	5	8	△ 3
	半焼		〃	1	3	△ 2
	部分焼		〃	3	11	△ 8
	ぼや		〃	17	29	△ 12
損害額	計		千円	86,954	173,852	△ 86,898
	建物		〃	85,384	167,086	△ 81,702
	林野		〃	0	0	0
	車両		〃	1,294	6,691	△ 5,397
	その他		〃	276	75	201
死者			人	1	3	△ 2
負傷者			〃	4	4	0
り災世帯	計		世帯	10	20	△ 10
	全損		〃	1	3	△ 2
	半損		〃	0	1	△ 1
	小損		〃	9	16	△ 7
り災人員			人	23	41	△ 18
管内人口			〃	201,794	201,924	△ 130
管内世帯数			世帯	92,309	91,020	1,289
１人当りの損害額			円	431	861	△ 430
１世帯当りの損害額			千円	1	2	△ 1
出火率			件	2.0	2.5	△ 0.5

② 月別総括表

区分 / 月別	火災件数	火災種別						焼損面積			内訳				
		建物	内訳		林野	車両	その他	床面積 ㎡	表面積 ㎡	林野 a	焼損棟数	全焼	半焼	部分焼	ぼや
			住家	非住家											
1	1						1								
2	3	2	2			1		1			2				2
3	3	1	1				2				1				1
4	3	1	1				2		1		1				1
5	9	5	2	3		1	3	135			5	1	1		3
6	4	2		2		2		8			2			1	1
7	7	4	1	3			3	61	9		5	1		2	2
8	2	2		2				13			3	2			1
9	2	1	1				1	1			1				1
10	1	1		1							1				1
11	1						1								
12	5	5	1	4				146	1		5	1			4
計	41	24	9	15		4	13	365	11		26	5	1	3	17

区分 / 月別	り災世帯数	内訳			り災人員数	死者	負傷者	損害額 （千円）	内訳			
		全損	半損	小損					建物	林野	車両	その他
1												
2	3			3	8			165	162		3	
3	1			1	1			21	21			
4	1			1	3			116	2			114
5	2			2	3		1	4,332	4,192		140	
6							1	4,656	3,505		1,151	
7	1			1	1			27,209	27,058			151
8								1,816	1,816			
9	1			1	5			324	324			
10							2	1	1			
11								1				1
12	1	1			2	1		48,313	48,303			10
計	10	1		9	23	1	4	86,954	85,384		1,294	276

③ 町別総括表・南部消防署管内3か町

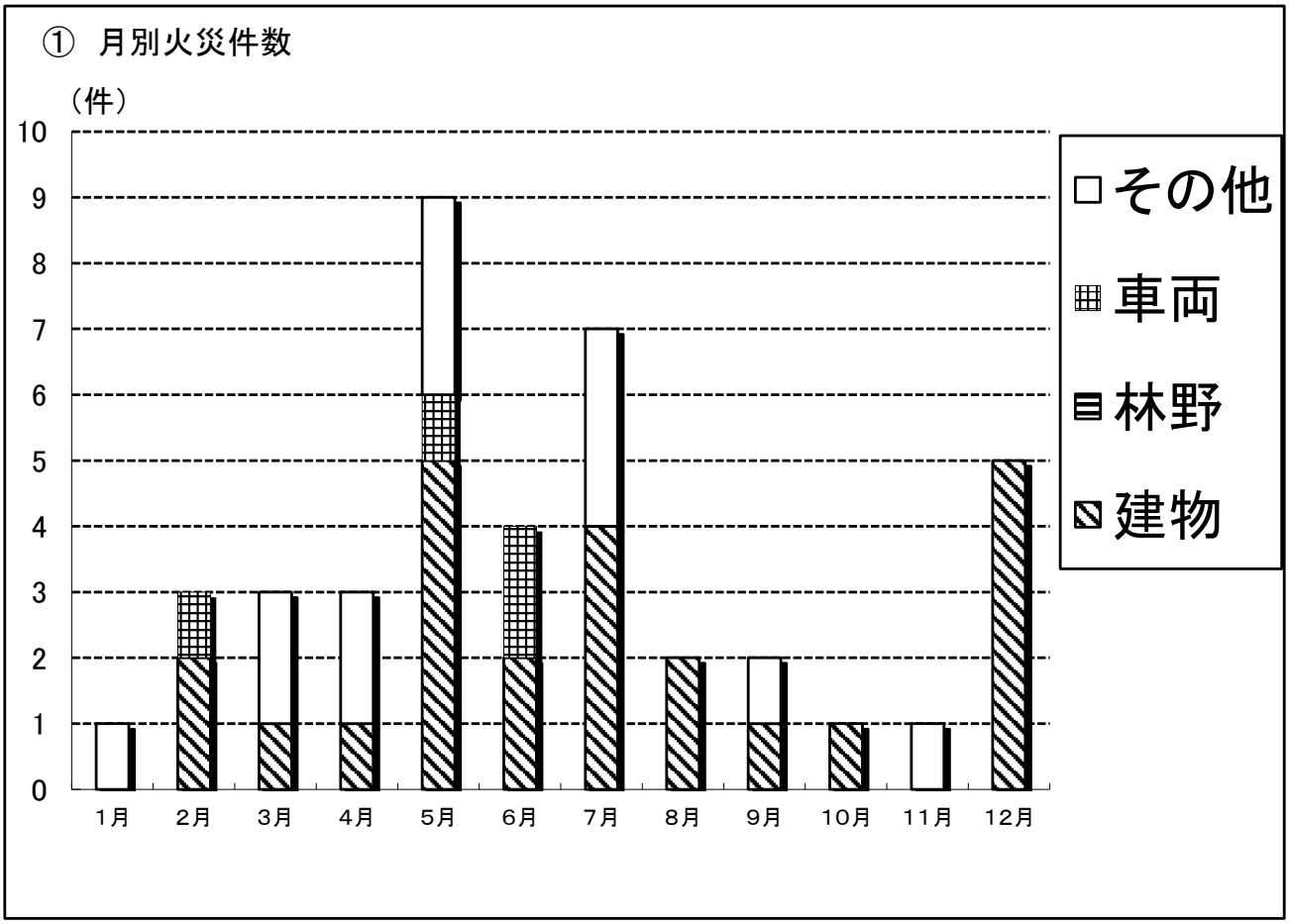
区分				志免町			宇美町			須恵町			南部消防署合計		
				令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比
火災件数	計	件		11	16	△ 5	5	4	1	6	9	△ 3	22	29	△ 7
	建物	〃		6	10	△ 4	4	3	1	3	5	△ 2	13	18	△ 5
	林野	〃													
	車両	〃			2	△ 2	1		1		2	△ 2	1	4	△ 3
	その他	〃		5	4	1		1	△ 1	3	2	1	8	7	1
焼損面積	建物	床面積㎡	火元	47.5	2013.0	△ 1965.5	61.0	33.0	28.0	1.0	169.0	△ 168.0	109.5	2,215.0	△ 2,105.5
			類焼							36.0			36.0		36.0
		表面積㎡	火元	5.0	6.0	△ 1.0		1.0	△ 1.0	4.0	5.0	△ 1.0	9.0	12.0	△ 3.0
			類焼										30.0		30.0
	林野	a													
焼損棟数	計	棟		6	16	△ 10	4	4		3	9	△ 6	13	29	△ 16
	全焼	〃			2	△ 2	1	1			2	△ 2	1	5	△ 4
	半焼	〃		1	2	△ 1							1	2	△ 1
	部分焼	〃		1	3	△ 2				1	3	△ 2	2	6	△ 4
	ぼや	〃		4	9	△ 5	3	3		2	4	△ 2	9	16	△ 7
損害額	計	千円		2,941	78,082	△ 75,141	25,670	795	24,875	1,038	32,262	△ 31,224	29,649	111,139	△ 81,490
	建物	〃		2,827	77,460	△ 74,633	25,530	795	24,735	896	28,261	△ 27,365	29,253	106,516	△ 77,263
	林野	〃													
	車両	〃			595	△ 595	140		140		3,998	△ 3,998	140	4,593	△ 4,453
	その他	〃		114	27	87				142	3	139	256	30	226
死者		人									1	△ 1		1	△ 1
負傷者		〃			2	△ 2					1	△ 1		3	△ 3
り災世帯	計	世帯		1	6	△ 5	2	3	△ 1	1	3	△ 2	4	12	△ 8
	全損	〃						1	△ 1		1	△ 1		2	△ 2
	半損	〃			1	△ 1								1	△ 1
	小損	〃		1	5	△ 4	2	2		1	2	△ 1	4	9	△ 5
り災人員		人		2	13	△ 11	3	5	△ 2	5	7	△ 2	10	25	△ 15
人口		〃		46,284	46,342	△ 58	36,722	36,884	△ 162	29,748	29,261	487	112,754	112,487	267
世帯数		世帯		21,366	21,112	254	17,001	16,826	175	13,353	12,946	407	51,720	50,884	836
出火率				2.4	3.5	△ 1.1	1.4	1.1	0.3	2.0	3.1	△ 1.1	2.0	2.6	△ 0.6

④ 町別総括表・中部消防署管内3か町

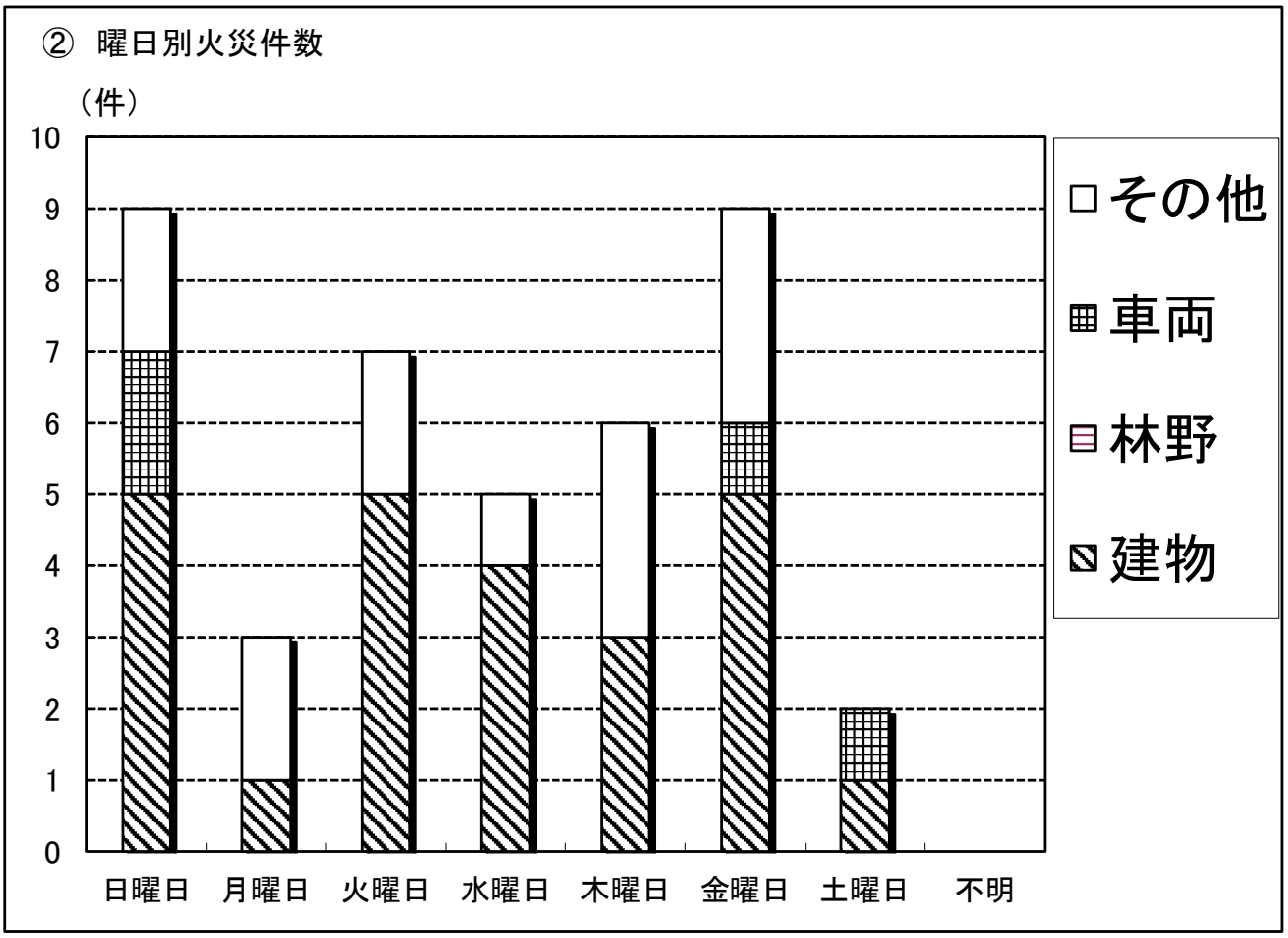
区分				粕屋町			篠栗町			久山町			中部消防署合計		
				令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比	令和7年	令和6年	前年比
火災件数	計	件		11	8	3	4	8	△ 4	4	6	△ 2	19	22	△ 3
	建物	〃		7	8	△ 1	3	6	△ 3	1	3	△ 2	11	17	△ 6
	林野	〃									1	△ 1		1	△ 1
	車両	〃		2		2		1	△ 1	1	1		3	2	1
	その他	〃		2		2	1	1		2	1	1	5	2	3
焼損面積	建物	床面積㎡	火元	234.0	179.0	55.0	8.0	203.0	△ 195.0	13.0	32.0	△ 19.0	255.0	414.0	△ 159.0
			類焼							13.0			32.0		32.0
		表面積㎡	火元	1.0	2.0	△ 1.0	1.0	7.0	△ 6.0		3.0	△ 3.0	2.0	12.0	△ 10.0
			類焼				2.0						2.0		2.0
	林野	a													
焼損棟数	計	棟		7	8	△ 1	3	8	△ 5	3	6	△ 3	13	22	△ 9
	全焼	〃		2		2		1	△ 1	2	2		4	3	1
	半焼	〃			1	△ 1								1	△ 1
	部分焼	〃			1	△ 1	1	3	△ 2		1	△ 1	1	5	△ 4
	ぼや	〃		5	6	△ 1	2	4	△ 2	1	3	△ 2	8	13	△ 5
損害額	計	千円		51,999	5,929	46,070	3,497	6,719	△ 3,222	1,809	50,065	△ 48,256	57,305	62,713	△ 5,408
	建物	〃		50,837	5,929	44,908	3,497	6,591	△ 3,094	1,797	48,050	△ 46,253	56,131	60,570	△ 4,439
	林野	〃													
	車両	〃		1,151		1,151		98	△ 98	3	2,000	△ 1,997	1,154	2,098	△ 944
	その他	〃		11		11		30	△ 30	9	15	△ 6	20	45	△ 25
死者		人		1		1		2	△ 2				1	2	△ 1
負傷者		〃		4	1	3							4	1	3
り災世帯	計	世帯		4	1	3	2	4	△ 2		3	△ 3	6	8	△ 2
	全損	〃		1		1		1	△ 1				1	1	
	半損	〃													
	小損	〃		3	1	2	2	3	△ 1		3	△ 3	5	7	△ 2
り災人員		人		11	2	9	2	11	△ 9		3	△ 3	13	16	△ 3
人口		〃		48,404	48,848	△ 444	31,282	31,219	63	9,354	9,370	△ 16	89,040	89,437	△ 397
世帯数		世帯		22,263	22,120	143	14,412	14,135	277	3,914	3,881	33	40,589	40,136	453
出火率				2.3	1.6	0.7	1.3	2.6	△ 1.3	4.3	6.4	△ 2.1	2.1	2.5	△ 0.4

５ 火災件数

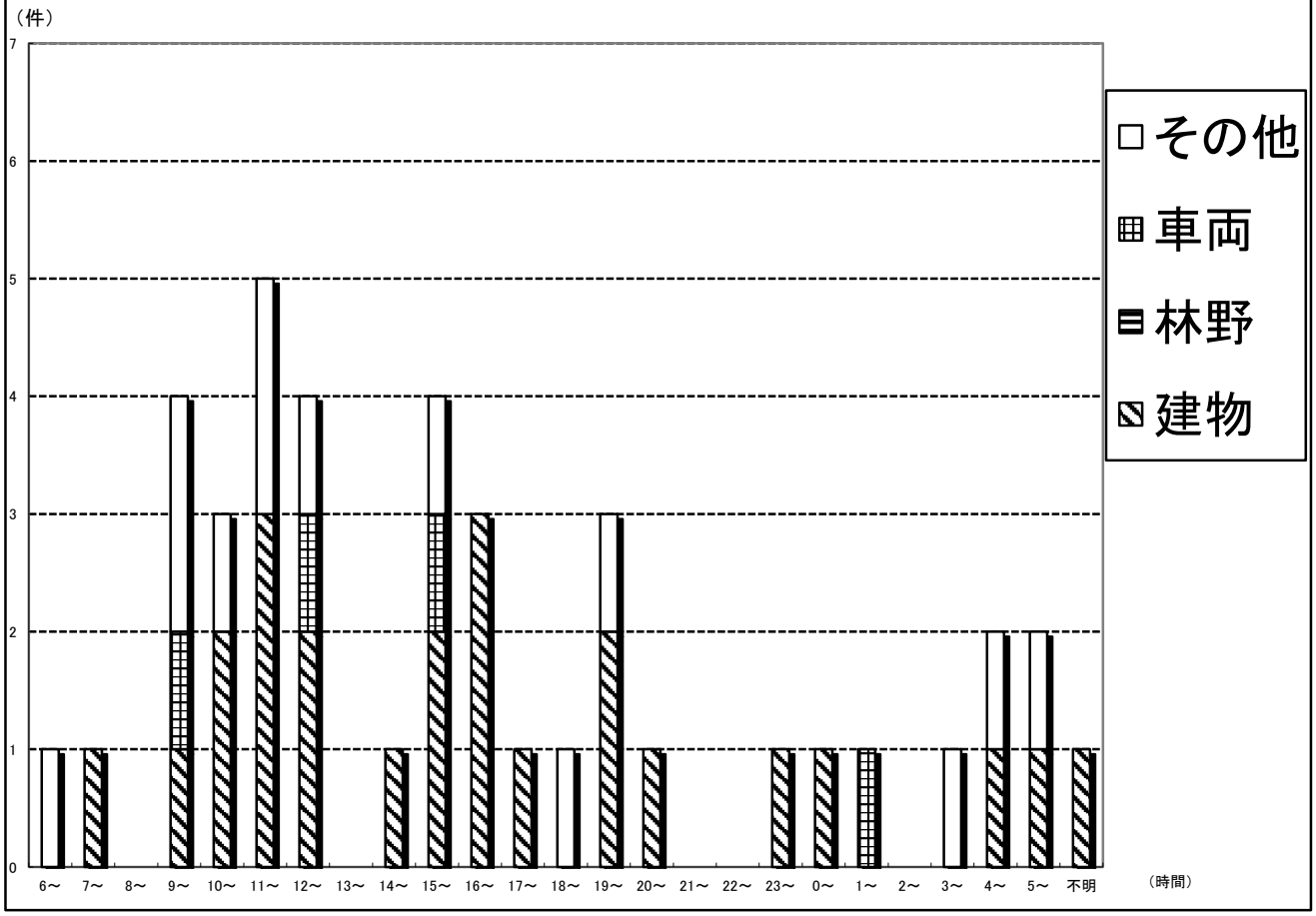
① 月別火災件数



② 曜日別火災件数

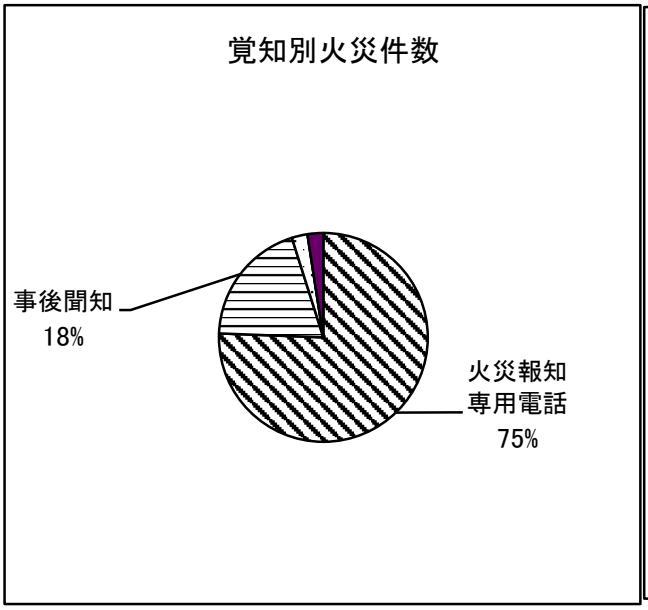


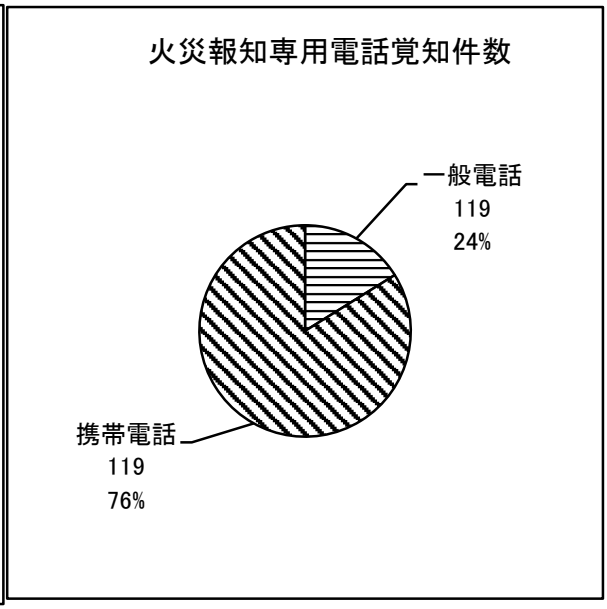
③ 時間別火災件数



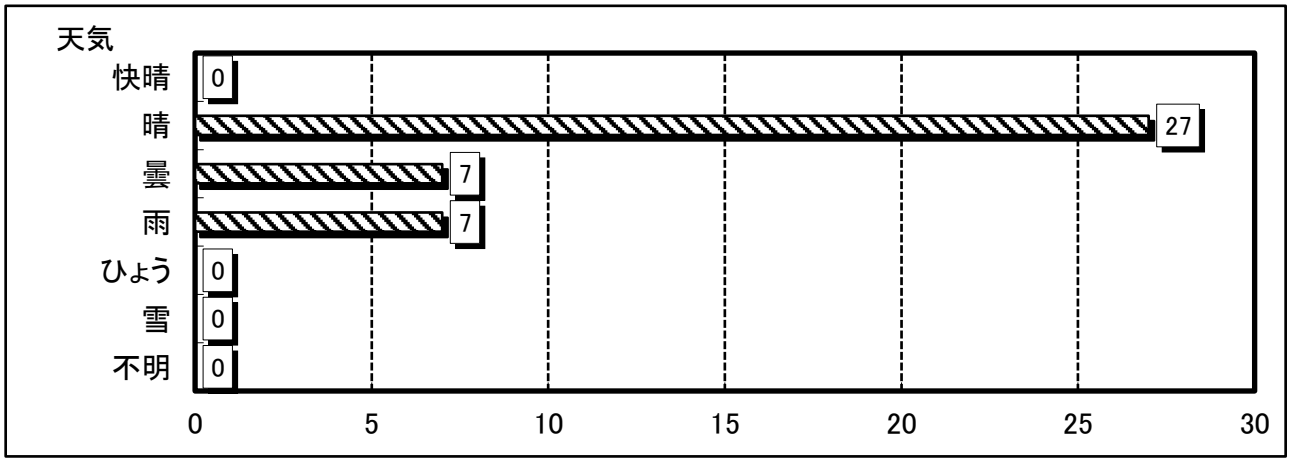
④ 覚知別火災件数 （＊点線より右側の数値は、携帯電話からの通報数再掲）

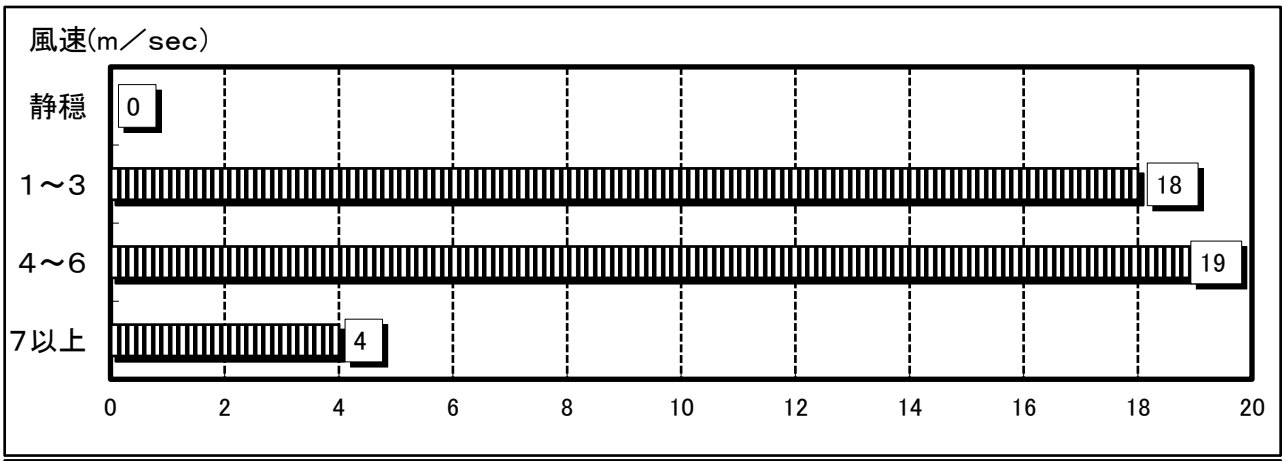
区　　分	建物		林野		車両		その他		計	
合　　計	24	14			4	1	13	12	41	27
火災報知専用電話	18	14			2	1	11	11	31	26
事後聞知	5				2		1		8	
一般加入電話							1	1	1	1
駆け付け										
その他	1								1	

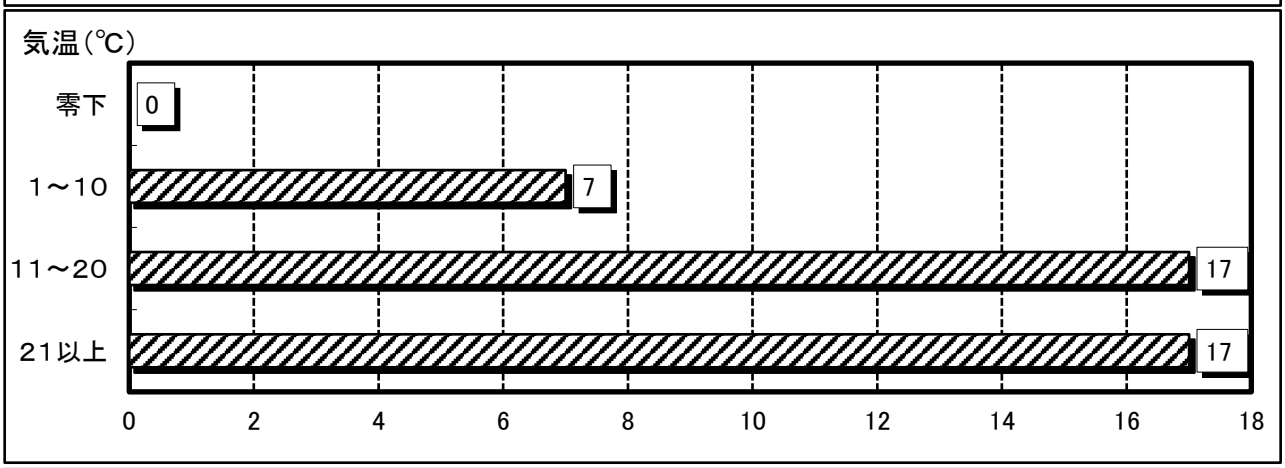


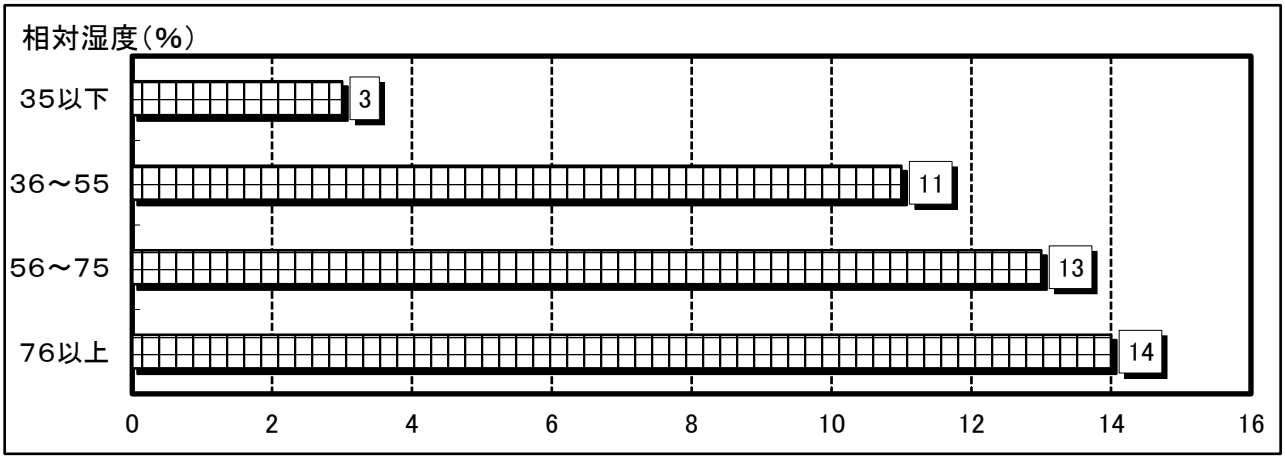


⑤　気象別火災件数

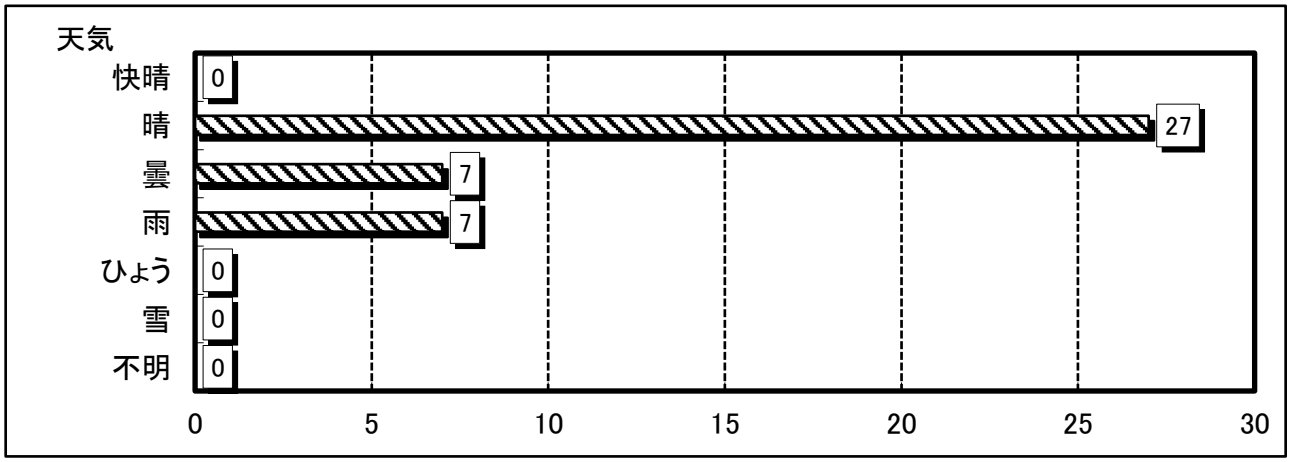

天気
快晴
晴
曇
雨
ひょう
雪
不明
0
27
7
7
0
0
0
0
5
10
15
20
25
30

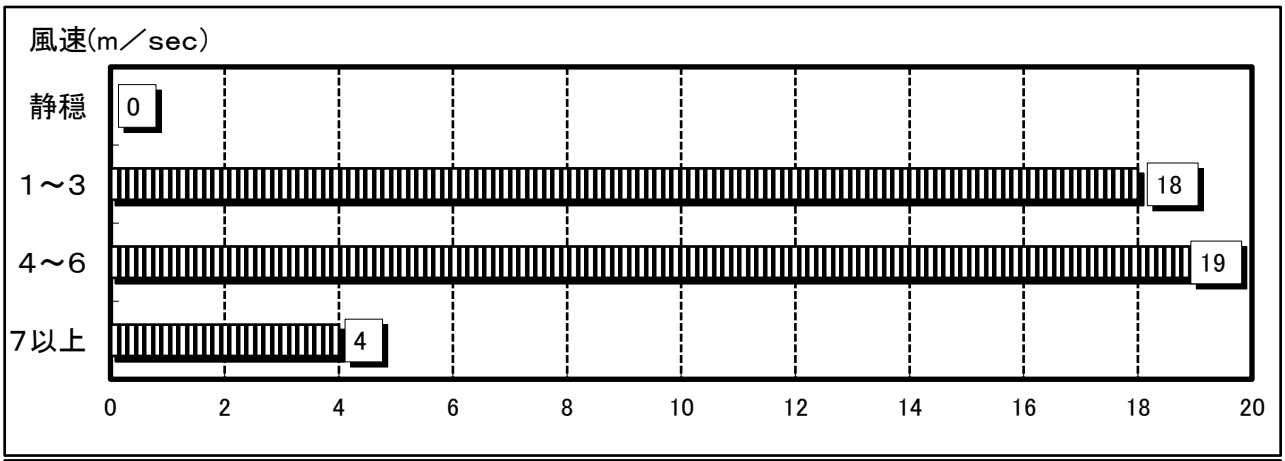

風速(m／sec)
静穏
1～3
4～6
7以上
0
18
19
4
0
2
4
6
8
10
12
14
16
18
20

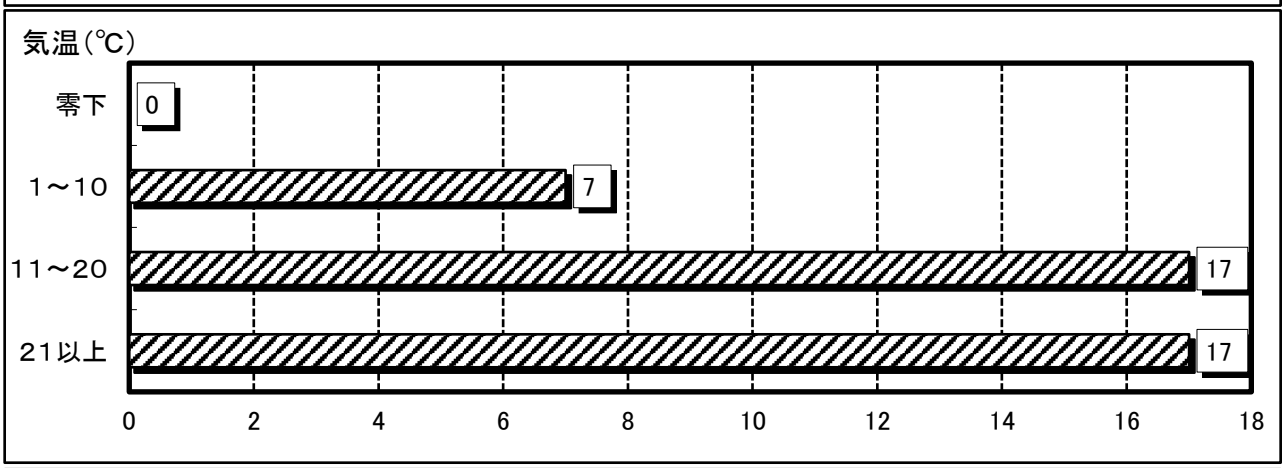

気温(℃)
零下
1～10
11～20
21以上
0
7
17
17
0
2
4
6
8
10
12
14
16
18

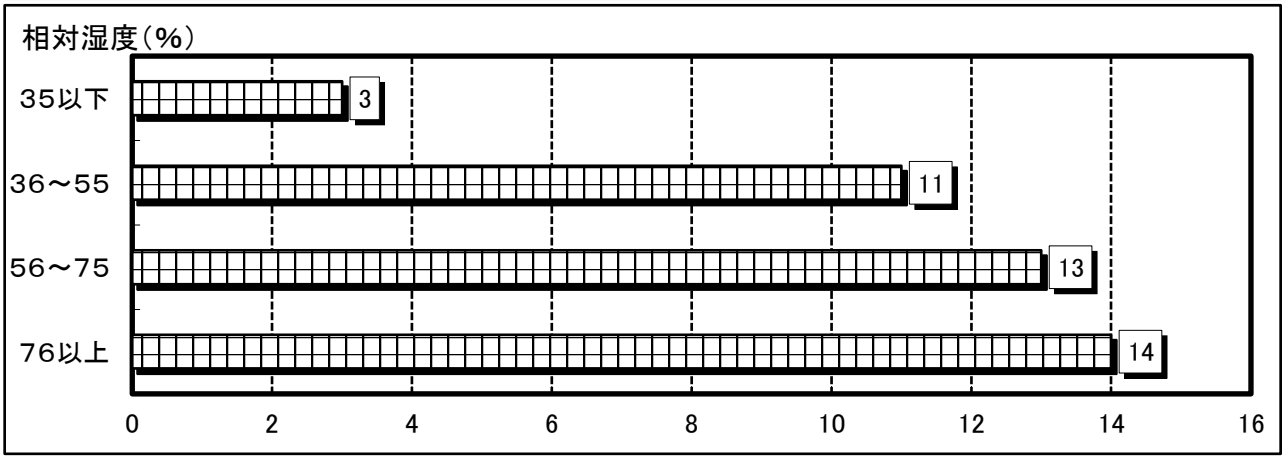

相対湿度(%)
35以下
36～55
56～75
76以上
3
11
13
14
0
2
4
6
8
10
12
14
16

⑤　気象別火災件数


天気
快晴
晴
曇
雨
ひょう
雪
不明
0
27
7
7
0
0
0
0
5
10
15
20
25
30


風速(m／sec)
静穏
1～3
4～6
7以上
0
18
19
4
0
2
4
6
8
10
12
14
16
18
20


気温(℃)
零下
1～10
11～20
21以上
0
7
17
17
0
2
4
6
8
10
12
14
16
18


相対湿度(%)
35以下
36～55
56～75
76以上
3
11
13
14
0
2
4
6
8
10
12
14
16

６ 建物火災におけるり災状況

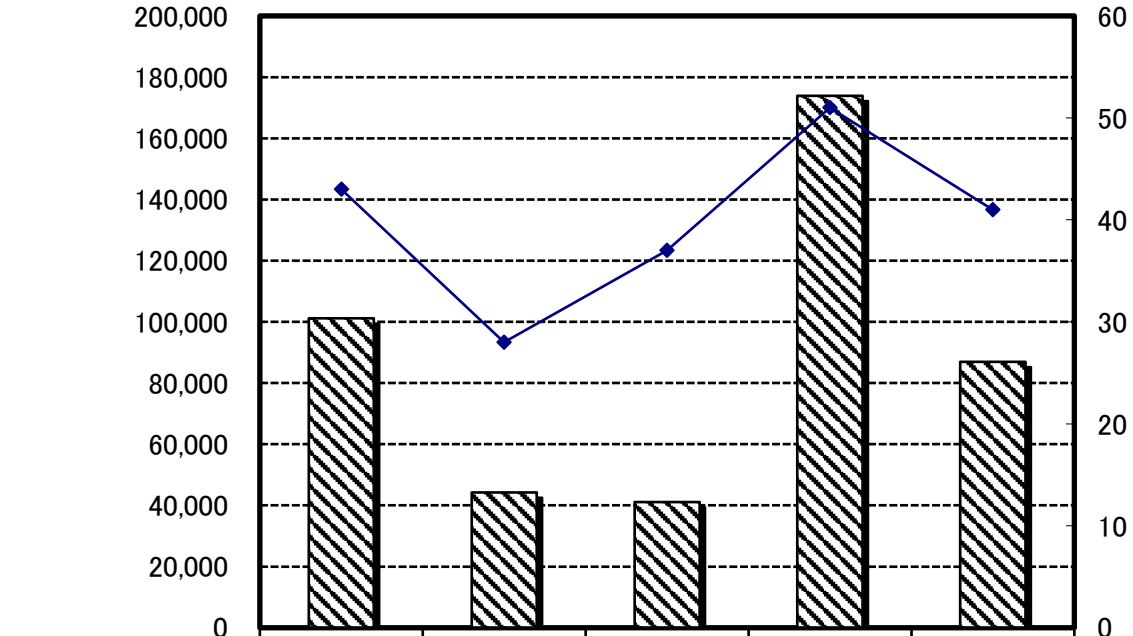
区分		火元建物			類焼建物		
		棟数	焼損床面積	焼損表面積	棟数	焼損床面積	焼損表面積
構造	木造	8	135.5	1.0			
	防火造						
	準耐（木）						
	準耐（非木）	6	154.0	1.0			
	耐火造	5	1.0	1.0			
	その他	5	74.0	8.0	1	13.0	
階層	平家建	13	129.5	5.0	1	13.0	
	2階建	6	234.0	5.0			
	3階以上	5	1.0	1.0			
用途	専用住宅	5	147.0	1.0			
	共同住宅	2		1.0			
	併用住宅	1	1.0				
	店舗	3	8.0				
	工場・作業場	2		4.0			
	倉庫	3			1	13.0	
	事務所						
	病院						
	その他	8	208.5	5.0			
焼損程度	全焼	4	307.0		1	13.0	
	半焼	1	47.5				
	部分焼	3	8.0	8.0			
	ぼや	16	2.0	3.0	1		
合計		24	364.5	11.0	2	13.0	

7 出火原因の状況

区分	令和7年					令和6年					前年比				
	建物	林野	車両	その他	計	建物	林野	車両	その他	計	建物	林野	車両	その他	計
たばこ	6			1	7	4				4	2			1	3
こんろ	1				1	5				5	△ 4				△ 4
かまど															
風呂かまど															
炉															
焼却炉															
ストーブ						1				1	△ 1				△ 1
こたつ															
ボイラー															
煙突・煙道															
排気管			1		1			2		2			△ 1		△ 1
電気機器	5		1	1	7	5		1		6				1	1
電気装置						1				1	△ 1				△ 1
電灯・電話等の配線				1	1	2			1	3	△ 2				△ 2
内燃機関						1				1	△ 1				△ 1
配線器具						3				3	△ 3				△ 3
火あそび				3	3	1				1	△ 1			3	2
ﾏｯﾁ･ﾗｲﾀｰ															
たき火				1	1									1	1
溶接機・溶断機	1			1	2	2				2	△ 1			1	
灯火	1				1	1				1					
衝突の火花															
取灰															
火入れ				1	1		1		1	2		△ 1			△ 1
放火	2			1	3	1		1	3	5	1		△ 1	△ 2	△ 2
放火の疑い				1	1									1	1
その他	8		2	2	12	3			1	4	5		2	1	8
不明						5		2	3	10	△ 5		△ 2	△ 3	△ 10
種別合計	24		4	13	41	35	1	6	9	51	△ 11	△ 1	△ 2	4	△ 10

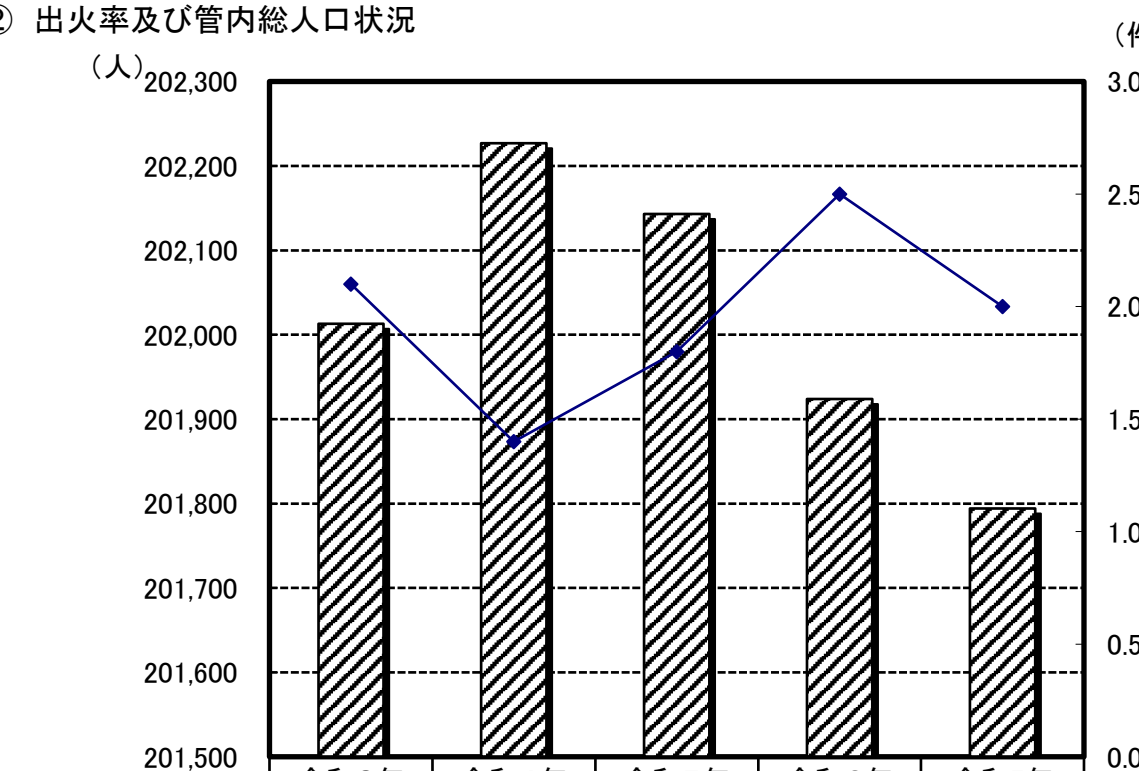
8　過去5年間の推移

①　火災発生件数及び損害額状況



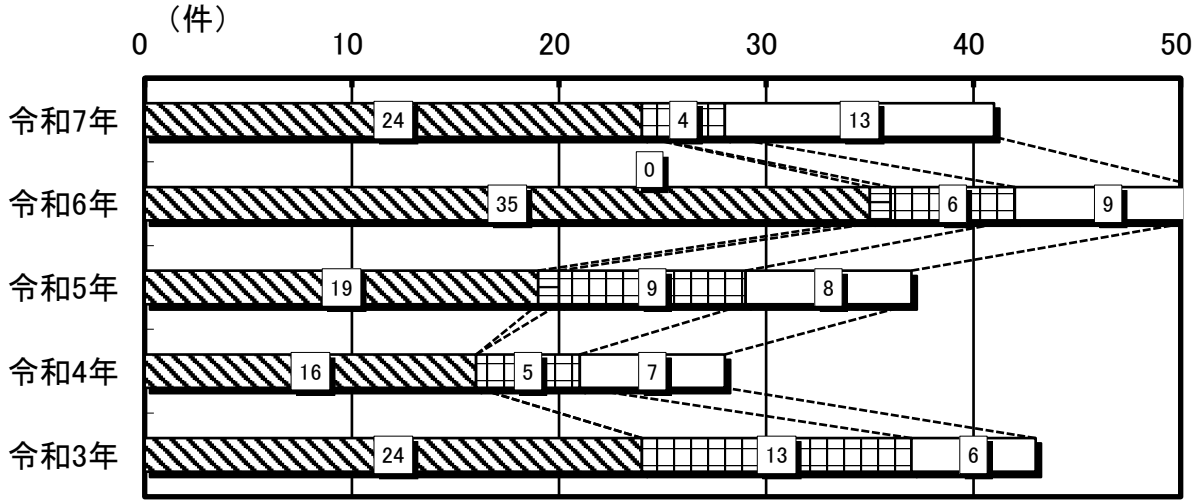
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
損害額（千円）	101,105	44,205	41,102	173,852	86,954
発生件数(件)	43	28	37	51	41

②　出火率及び管内総人口状況



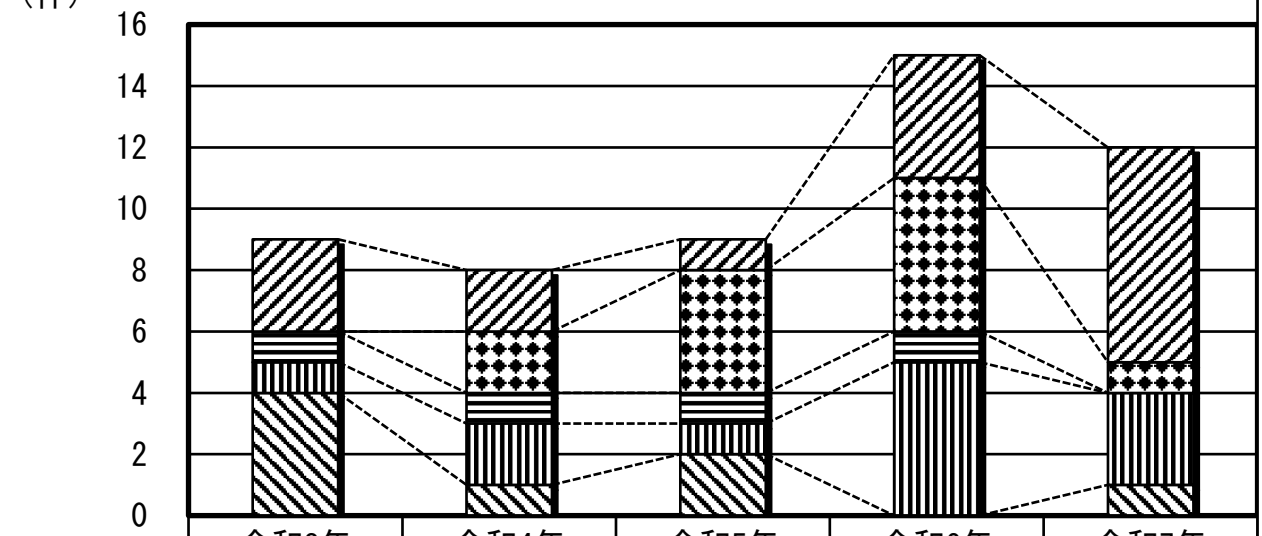
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
管内総人口(人)	202,013	202,227	202,143	201,924	201,794
出　火　率（件）	2.1	1.4	1.8	2.5	2.0

③ 火災種別



	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
建物	24	16	19	35	24
林野	0	0	1	1	0
車両	13	5	9	6	4
その他	6	7	8	9	13

④ 主な出火原因



	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
たばこ	3	2	1	4	7
こんろ	0	2	4	5	1
ストーブ	1	1	1	1	0
放火	1	2	1	5	3
放火の疑い	4	1	2	0	1

⑤　地域別火災件数

区分		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	計
志免町	石橋台					1	1
	王子			1			1
	片峰			1	1	2	4
	片峰中央		1		1		2
	坂瀬						
	桜丘				2		2
	志免					1	1
	志免中央		1	1		2	4
	志免東						
	田富	1	1		1	2	5
	東公園台				2		2
	別府		1		3		4
	別府北			1	1	1	3
	別府西						
	別府東					1	1
	松ケ丘						
	御手洗						
	南里	1	1	1	4	1	8
	向ヶ丘						
	吉原	1	1		1		3
	計	3	6	5	16	11	41
宇美町	井野	1			1	1	3
	宇美	1	1	1			3
	宇美中央		1				1
	宇美東	1	1	1			3
	貴船	1		1			2
	光正寺						
	桜原	1			1		2
	四王寺						
	四王寺坂	1					1
	障子岳						
	障子岳南	1	1		1	1	4
	神武原						
	炭焼						
	とびたけ					1	1
	原田	1					1
	ひばりが丘			1	1		2
	平和						
	明神坂						
	ゆりが丘	2					2
	若草	1				2	3
	計	11	4	4	4	5	28
須恵町	植木		2	1	4	4	11
	上須恵	1	1		3	1	6
	佐谷	3		2			5
	新原						
	須恵		1	2		1	4
	旅石	3			2		5
	計	7	4	5	9	6	31
南部消防署計		21	14	14	29	22	100

区分		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	計
粕屋町	阿恵	1					1
	内橋						
	内橋東	1				2	3
	内橋西						
	江辻					1	1
	大隈	1	2	1	1	1	6
	上大隈	1	2				3
	駕与丁	1	1				2
	甲仲原					1	1
	酒殿			3	3	1	7
	長者原				1		1
	長者原西	1		1		1	3
	長者原東			1			1
	戸原						
	戸原東					1	1
	戸原西						
	戸原北						
	仲原	3			1	3	7
	花ヶ浦						
	原町		1				1
	柚須	2		1	1		4
	若宮				1		1
	計	11	6	7	8	11	43
篠栗町	乙犬		1	1			2
	尾仲	1			2	2	5
	金出		1	1	1		3
	篠栗		1	3	1	1	6
	高田						
	田中					1	1
	中央		2	2	1		5
	津波黒		1				1
	内住			1	1		2
	萩尾			1			1
	若杉	1		2	1		4
	和田				1		1
	彩り台		1				1
	計	2	7	11	8	4	32
久山町	猪野	1				2	3
	久原	3		3	4		10
	山田	5	1	2	2	2	12
	計	9	1	5	6	4	25
中部消防署計		22	14	23	22	19	100
両署合計		43	28	37	51	41	200

９ 月別･各町建物火災総括表

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
志免町	件数					2		1					3	6
	焼損面積					47.5								47.5
	焼損表面積							4.0					1.0	5.0
	焼損棟数					2		1					3	6
	り災世帯					1								1
	り災人員					2								2
	死者													
	負傷者													
	損害額					1,492		1,125					210	2,827

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
宇美町	件数		1	1			1	1						4
	焼損面積							61.0						61.0
	焼損表面積													
	焼損棟数		1	1			1	1						4
	り災世帯		1	1										2
	り災人員		2	1										3
	死者													
	負傷者													
	損害額		121	21			35	25,353						25,530

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
須恵町	件数							1	1	1				3
	焼損面積									1.0				1.0
	焼損表面積							4.0						4.0
	焼損棟数							1	1	1				3
	り災世帯									1				1
	り災人員									5				5
	死者													
	負傷者													
	損害額							552	20	324				896

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
粕屋町	件数		1		1	2					1		2	7
	焼損面積		1.0			87.0							146.0	234.0
	焼損表面積				1.0									1.0
	焼損棟数		1		1	2					1		2	7
	り災世帯		2		1								1	4
	り災人員		6		3								2	11
	死者												1	1
	負傷者					1					2			3
	損害額		41		2	2,700					1		48,093	50,837

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
篠栗町	件数					1	1	1						3
	焼損面積						8.0							8.0
	焼損表面積							1.0						1.0
	焼損棟数					1	1	1						3
	り災世帯										2			2
	り災人員					1		1						2
	死者													
	負傷者													
	損害額						3,470	27						3,497

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
久山町	件数								1					1
	焼損面積								13.0					13.0
	焼損表面積													
	焼損棟数							1	2					3
	り災世帯													
	り災人員													
	死者													
	負傷者													
	損害額							1	1,796					1,797

10 消防水利状況

令和8年4月末現在

種別 / 町別	消火栓		防火水槽			
			40㎥以上		40㎥未満	
	公設	私設	公設	私設	公設	私設
志免町	456	0	32	29	4	9
宇美町	439	0	110	28	14	12
須恵町	430	0	95	17	11	7
粕屋町	435	0	85	64	2	16
篠栗町	364	1	18	24	6	7
久山町	240	5	3	31	2	11
計	2364	6	343	193	39	62

1 救急の総括

① 活動概要

令和7年中における救急活動の概要は、出動件数10,581件、搬送件数9,726件、搬送人員9,755人であった。 前年と比較すると、出動件数は293件（2.8%）、搬送件数は352件（3.8%）、搬送人員は332人（3.5%）といずれも増加している。過去5年間の推移をみると増加傾向にあり、令和7年は前年、前々年に続き1万件を超え、過去最多を更新した。

② 出動状況

事故種別ごとの出動件数を前年と比較すると、急病（179件増）、一般負傷（79件増）、転院搬送（61件増）、交通（19件増）などで増加がみられた一方、火災や自損などは減少した。 時刻別のピークを事故種別でみると、急病・一般負傷・転院搬送は「10時～12時」、交通は「16時～18時」の時間帯に集中している。

③ 搬送状況

搬送人員を傷病程度別でみると、軽症3,701人（186人増）、中等症5,629人（116人増）、重症425人（30人増）であった。年齢区分別では、新生児（転院搬送が最多）を除くすべての層において「急病」が最多となっている。収容医療機関については、管内が5,787人、管外が3,968人であり、全体の40.6%が管外の医療機関へ搬送されている。

④ 所要時間

平均所要時間は、入電から現場到着までが10.0分（前年比0.4分延伸）、病院収容までが40.0分（同0.4分延伸）となった。一方で、総所要時間は76.2分（同0.5分短縮）となっている。

⑤ 隊員の行った応急処置

搬送人員9,755人のうち、9,754人に対して応急処置を実施した（実施率99.9%）。処置内容別の実施回数では、観察活動における「血中酸素飽和度の測定」が最も多く、次いで「血圧測定」、「冷却・その他処置」の順となっている。

⑥ 不搬送件数

不搬送件数は合計855件であった。その理由は「辞退（到着後）」が473件と最も多く、次いで「拒否」が122件、「明らかな死亡」が119件と続いている。

⑦ 応急手当の普及啓発活動

令和7年中の講習実施状況は、上級救命講習1回、普通救命講習24回、その他の講習3回、救命入門コース123回で、計4,671人が受講した。

（事故種別の凡例）

1.	火　　災	火災現場において直接火災に起因して生じた事故。
2.	自然災害	暴風・豪雨・高潮・地震等の自然現象に起因する事故。
3.	水難事故	水泳中の溺者又は水中転落等による事故。
4.	交通事故	全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故。
5.	労働災害	各種工場・事業所・作業場等で就業中発生した事故。
6.	運動競技	運動競技の実施中に発生した事故。
7.	一般負傷	他に分類されない不慮の事故。
8.	加　　害	故意に他人によって傷害等を加えられた事故。
9.	自損行為	故意に自分自身に傷害を加えた事故。
10.	急　　病	疾病によるもの。
11.	転院搬送	医療機関から医療機関への搬送。
12.	そ の 他	医師・医療資器材等の搬送及び、その他上記に分類不能のもの。

2、救急の概要

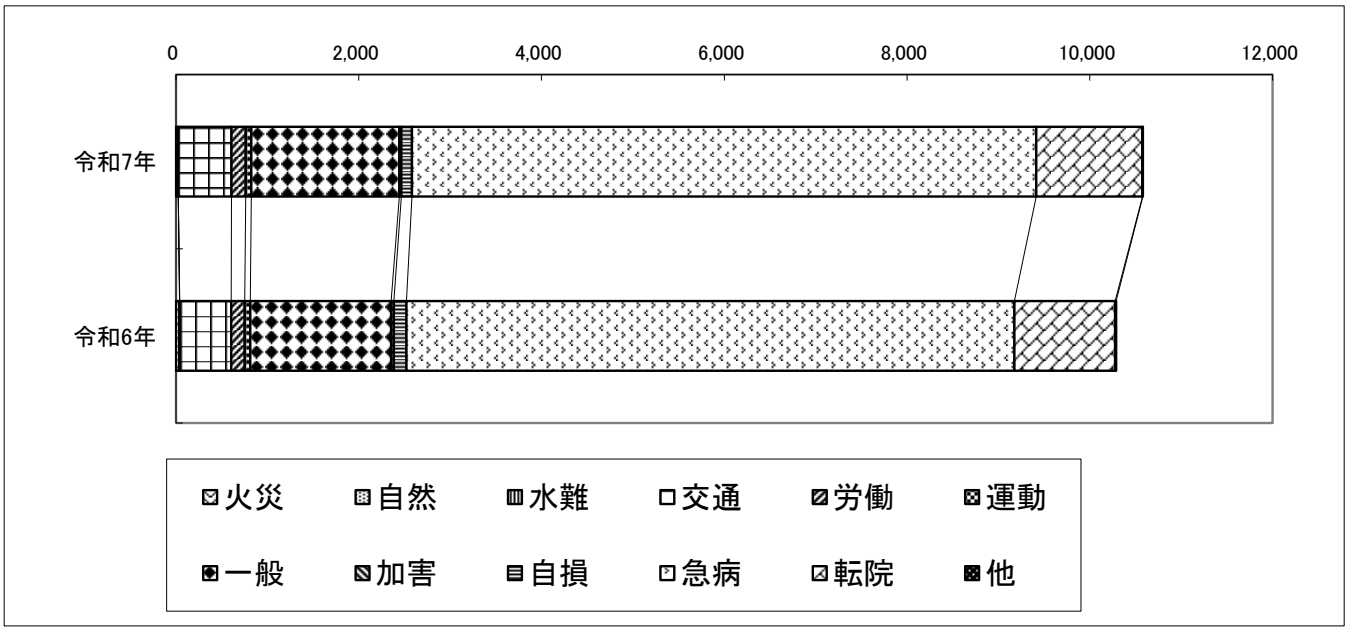
① 救急出動件数等前年比較

		年間				月平均				1日平均			
		本部	南部署	中部署	管外	本部	南部署	中部署	管外	本部	南部署	中部署	管外
出動件数	令和7年	10,581	6,211	4,369	1	882	518	364	0	29	17	12	0
	令和6年	10,288	6,034	4,250	4	857	503	354	0	28	17	12	0
	前年比	293	177	119	△3	25	15	10	0	1	0	0	0
搬送件数	令和7年	9,726	5,735	3,990	1	811	478	333	0	27	16	11	0
	令和6年	9,374	5,517	3,854	3	781	460	321	0	26	15	11	0
	前年比	352	218	136	△2	30	18	12	0	1	1	0	0
搬送人員	令和7年	9,755	5,750	4,004	1	813	479	334	0	27	16	11	0
	令和6年	9,423	5,531	3,889	3	785	461	324	0	26	15	11	0
	前年比	332	219	115	△2	28	18	10	0	1	1	0	0

3、出動状況

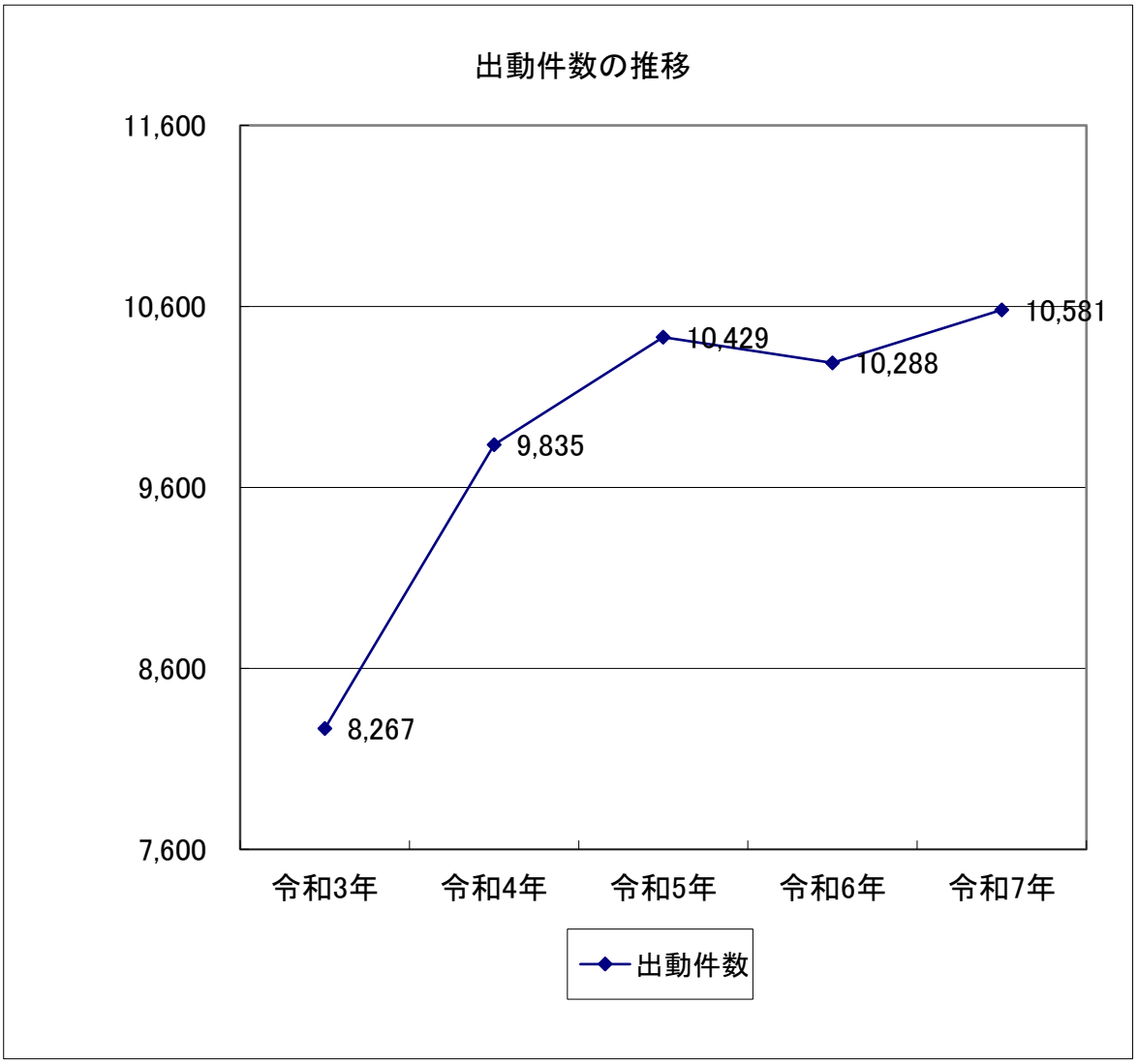
① 事故種別出動件数前年比較

	火災	自然	水難	交通	労働	運動	一般	加害	自損	急病	転院	他	合計
令和7年	25	0	0	582	156	61	1,620	22	116	6,832	1,163	4	10,581
令和6年	39	0	2	563	148	61	1,541	30	138	6,653	1,102	11	10,288
増減数	△ 14	0	△ 2	19	8	0	79	△ 8	△ 22	179	61	△ 7	293



②過去5年間の出動件数の推移

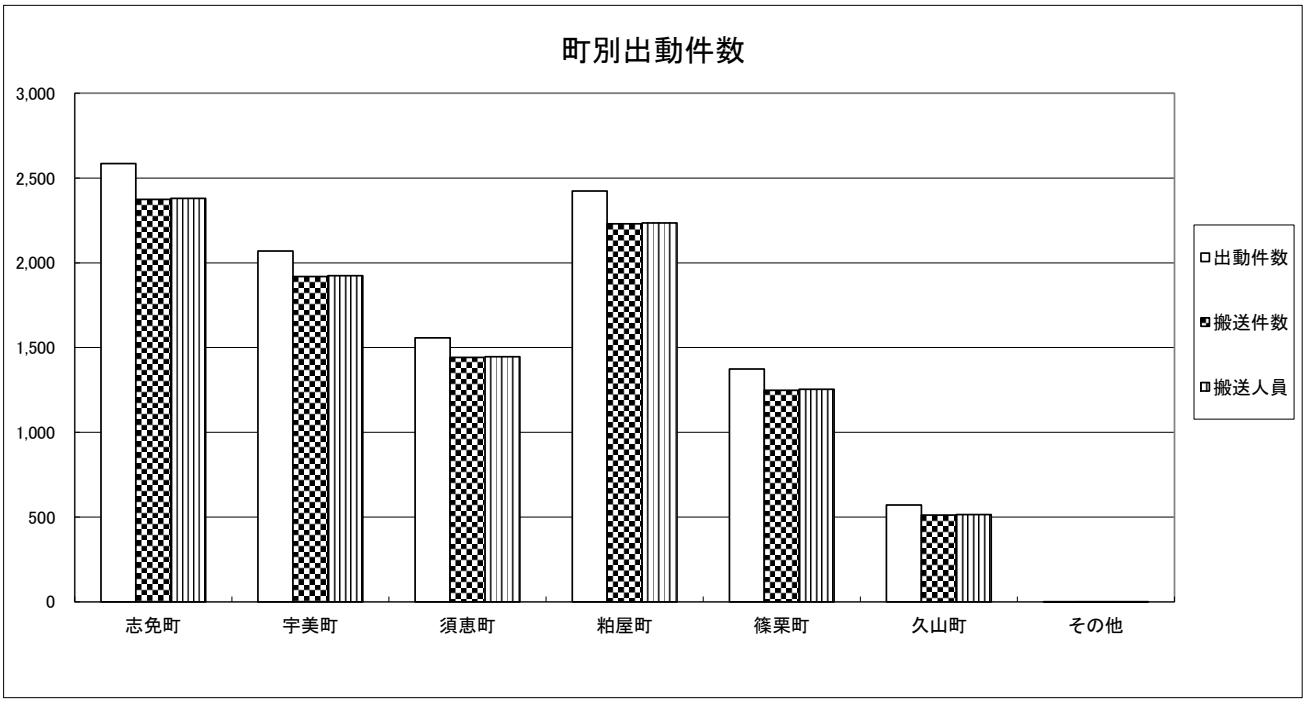
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出動件数	8,267	9,835	10,429	10,288	10,581



③過去5年間救急1件あたりの人口推移･世帯推移

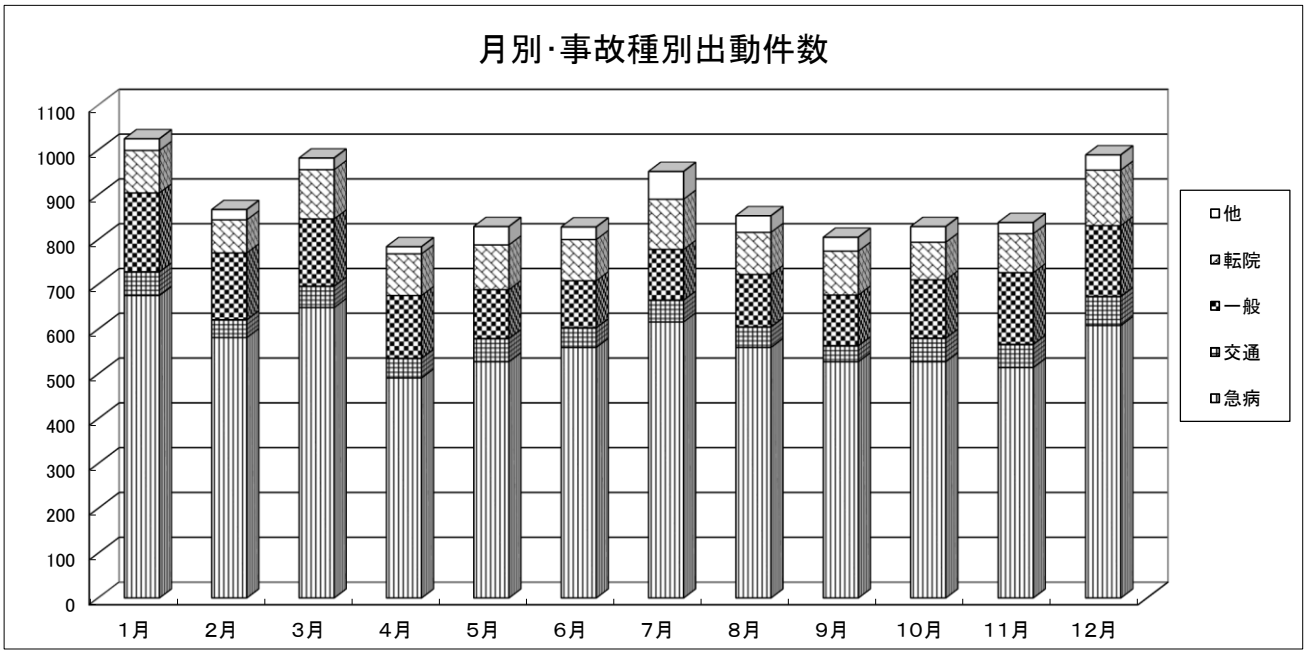
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
人口(A)	202,013	202,227	202,127	201,970	201,794
世帯数(B)	87,678	88,886	90,006	91,253	92,309
出動件数(C)	8,267	9,835	10,429	10,288	10,581
A/C	24.4	20.6	19.4	19.6	19.1
B/C	10.6	9.0	8.6	8.9	8.7

④町別出動件数



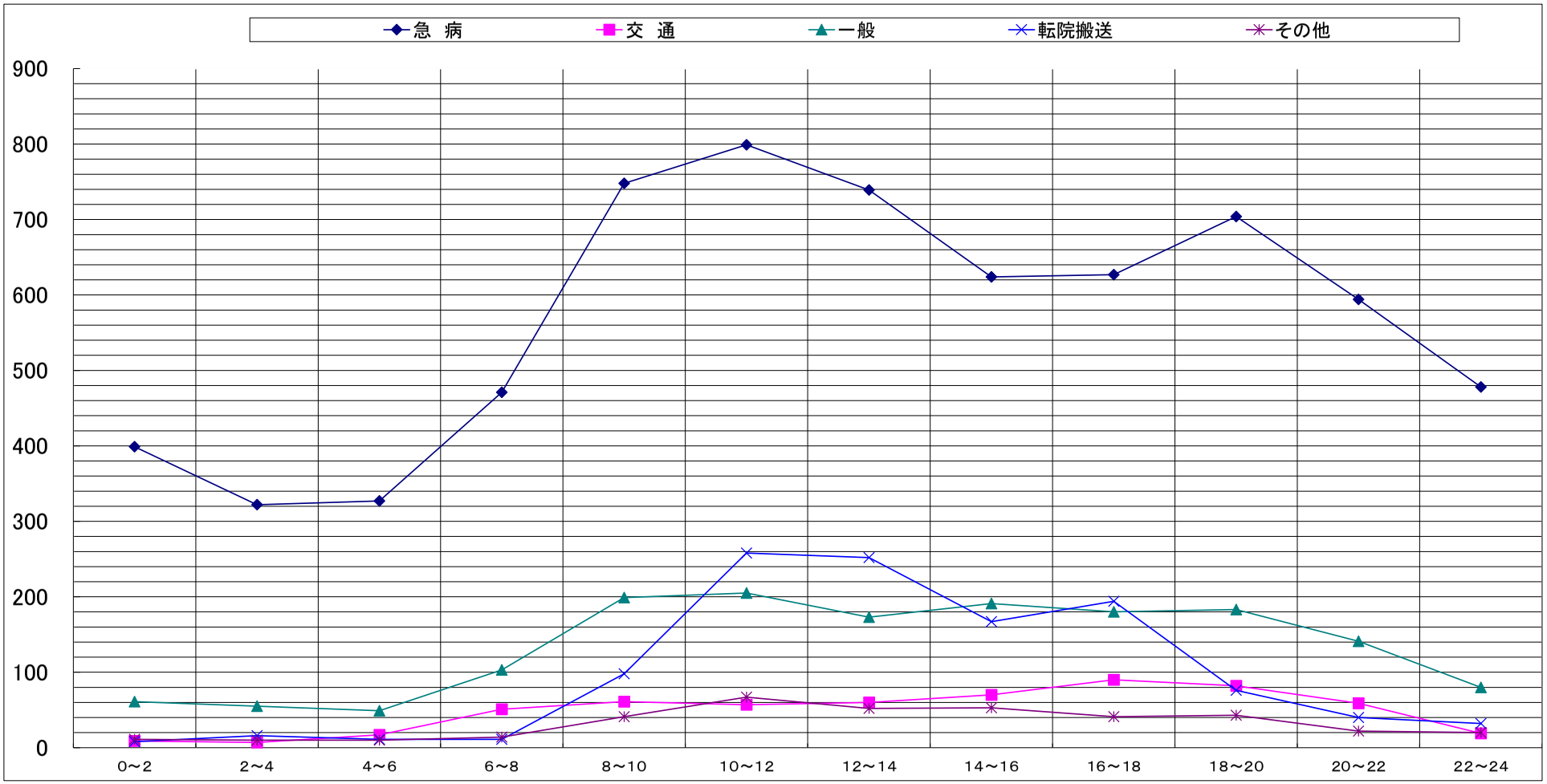
	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	その他	合計
出動件数	2,585	2,069	1,557	2,423	1,374	572	1	10,581
搬送件数	2,374	1,919	1,442	2,230	1,248	512	1	9,726
搬送人員	2,380	1,924	1,446	2,235	1,254	515	1	9,755

⑤月別･事故種別出動件数



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出動件数	急病	675	581	648	491	527	559	616	559	527	527	514	608	6,832
	交通	53	40	48	44	52	44	49	46	36	53	52	65	582
	一般	176	149	150	140	109	105	113	117	113	130	160	158	1,620
	転院	95	74	110	93	100	92	112	94	98	84	87	124	1,163
	他	26	23	26	16	41	28	62	37	31	35	25	34	384
	合計	1,025	867	982	784	829	828	952	853	805	829	838	989	10,581

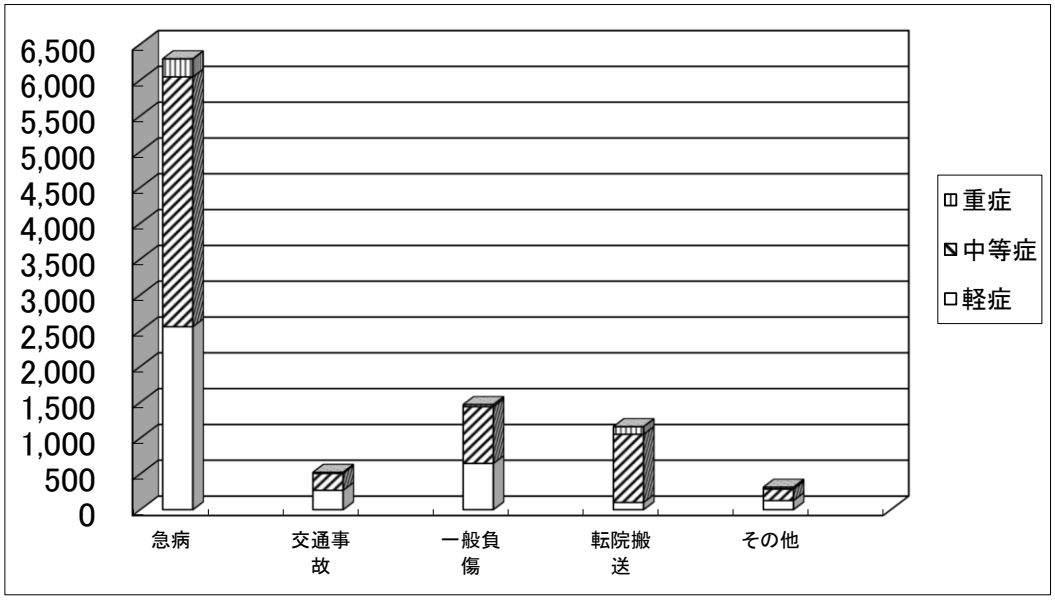
⑥事故種別・時刻別出動件数



	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合　計
急　病	399	322	327	471	748	799	739	624	627	704	594	478	6,832
交　通	9	7	17	51	61	57	60	70	90	82	59	19	582
一般	61	55	49	103	199	205	173	191	180	183	141	80	1,620
転院搬送	8	16	11	11	98	258	252	167	194	76	40	32	1,163
その他	11	10	10	14	41	67	52	53	41	43	22	20	384
合　計	488	410	414	650	1,147	1,386	1,276	1,105	1,132	1,088	856	629	10,581

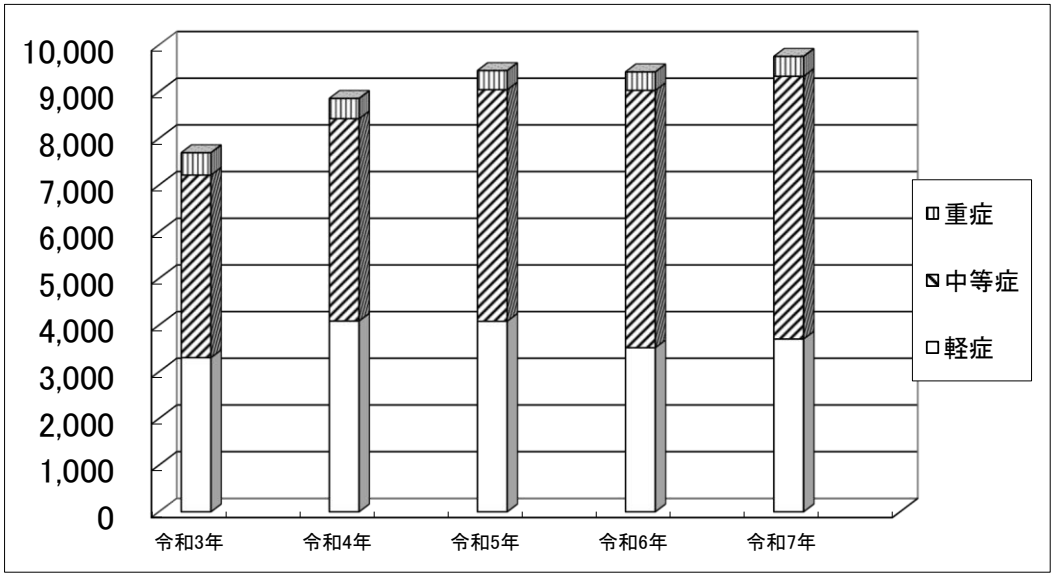
4、搬送状況

①事故種別程度別搬送状況



	急病	交通事故	一般負傷	転院搬送	その他
軽症	2,555	270	646	102	128
中等症	3,489	237	792	951	160
重症	251	14	29	106	25
死亡	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	6,295	521	1,467	1,159	313

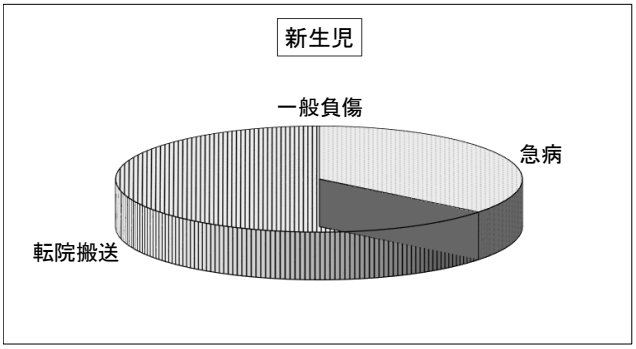
②程度別搬送人員の推移

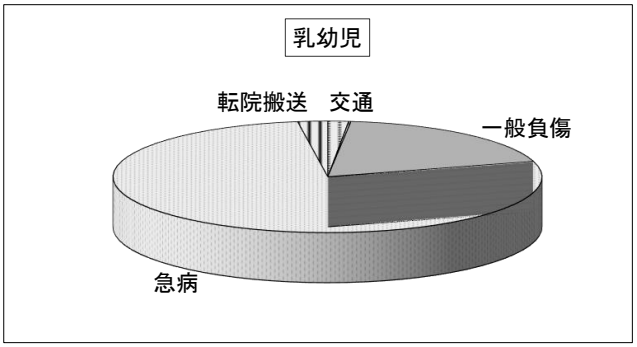


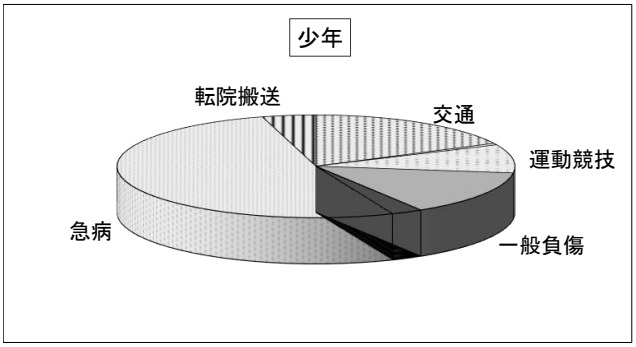
	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
軽症	3,301	4,086	4,082	3,515	3,701
中等症	3,913	4,336	4,960	5,513	5,629
重症	477	432	409	395	425
死亡	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
計	7,691	8,854	9,451	9,423	9,755

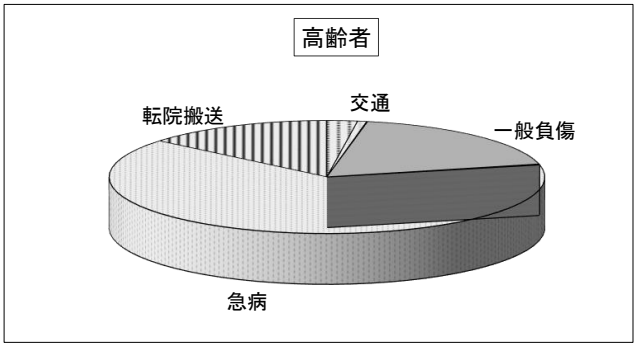
③年齢別･事故種別搬送状況

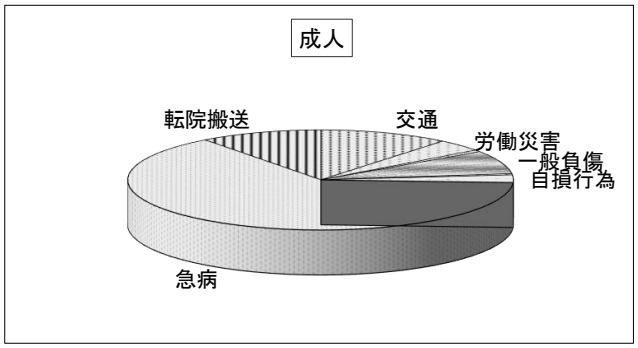
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
火災	0	0	0	0	0	0
自然災害	0	0	0	0	0	0
水難	0	0	0	0	0	0
交通	0	9	69	309	134	521
労働災害	0	0	2	112	40	154
運動競技	0	1	35	17	4	57
一般負傷	0	109	55	214	1,089	1,467
加害	0	0	0	12	1	13
自損行為	0	0	10	68	11	89
急病	5	447	203	1,810	3,830	6,295
転院搬送	9	13	17	290	830	1,159
その他	0	0	0	0	0	0
合計	14	579	391	2,832	5,939	9,755









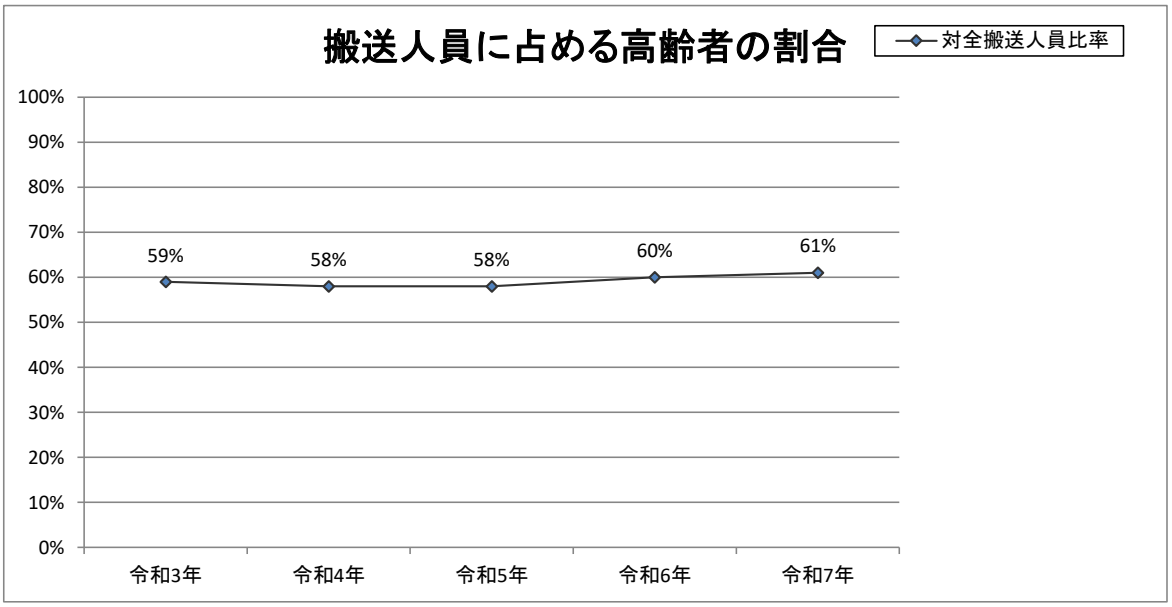


（参考）

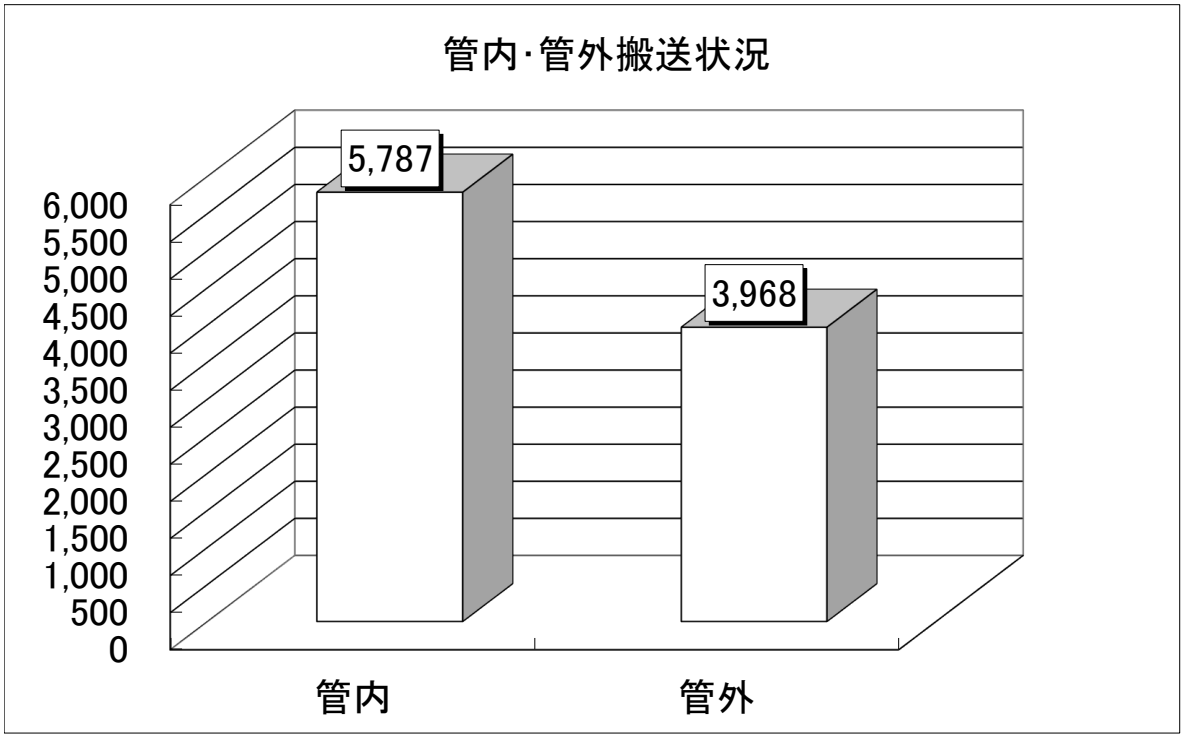
新生児　生後28日以内の者
乳幼児　生後29日以上7歳未満の者
少　年　7歳以上18歳未満の者
成　人　18歳以上65歳未満の者
高齢者　65歳以上の者

④高齢者搬送状況（過去5年間）

年	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年	
種　別	高齢者	全体	高齢者	全体	高齢者	全体	高齢者	全体	高齢者	全体
火　　災	1	7	1	3	0	0	1	5	0	0
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水　　難	1	2	2	2	0	1	0	0	0	0
交　　通	107	529	111	505	126	564	111	533	134	521
労働災害	22	115	22	117	18	117	22	142	40	154
運動競技	2	43	3	59	3	44	5	60	4	57
一般負傷	821	1,157	956	1,335	1,025	1,362	1,062	1,416	1,089	1,467
加　　害	5	23	5	28	3	21	4	22	1	13
自損行為	17	72	12	58	4	63	15	111	11	89
急　　病	2,933	4,887	3,383	5,796	3,577	6,212	3,664	6,036	3,830	6,295
転院搬送	591	855	666	951	722	1,067	767	1,098	830	1,159
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4,500	7,691	5,161	8,854	5,478	9,451	5,651	9,423	5,939	9,755
対全搬送人員比率	59%		58%		58%		60%		61%	



⑤管内･管外搬送状況



⑥事故種別･医療機関別搬送状況

			急病		交通事故		一般負傷		転院搬送		その他		計	
				うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
救急医療機関	国立		206	206	23	23	37	37	95	95	10	10	371	371
	公立		669	669	21	21	77	77	198	198	12	12	977	977
	公的		265	265	18	18	37	37	224	224	21	21	565	565
	私的	病院	4,867	1,120	455	110	1,291	295	626	256	266	77	7,505	1,858
		診療所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		6,007	2,260	517	172	1,442	446	1,143	773	309	120	9,418	3,771
その他医療機関	国立		19	19	0	0	2	2	3	3	0	0	24	24
	公立		115	115	0	0	1	1	0	0	1	1	117	117
	公的		8	8	1	1	0	0	0	0	0	0	9	9
	私的	病院	95	26	1	0	12	3	13	5	0	0	121	34
		診療所	51	11	2	0	10	0	0	0	3	2	66	13
	計		288	179	4	1	25	6	16	8	4	3	337	197
計	国立		225	225	23	23	39	39	98	98	10	10	395	395
	公立		784	784	21	21	78	78	198	198	13	13	1,094	1,094
	公的		273	273	19	19	37	37	224	224	21	21	574	574
	私的	病院	4,962	1,146	456	110	1,303	298	639	261	266	77	7,626	1,892
		診療所	51	11	2	0	10	0	0	0	3	2	66	13
	計		6,295	2,439	521	173	1,467	452	1,159	781	313	123	9,755	3,968
その他の場所	接骨院等		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			6,295	2,439	521	173	1,467	452	1,159	781	313	123	9,755	3,968

5、所要時間

①現場到着所要時間前年比較

年＼所要時間	3分未満	3分以上5分未満	5分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	計	現場到着平均所要時間
令和7年	45	138	5,136	5,047	215	10,581	10.0
令和6年	59	199	5,564	4,308	158	10,288	9.6
前年比	△ 14	△ 61	△ 428	739	57	293	0.4

②病院収容所要時間前年比較

年＼所要時間	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	計	病院収容平均所要時間
令和7年	0	43	1,411	7,762	535	4	9,755	40.0
令和6年	0	52	1,514	7,346	502	9	9,423	39.6
前年比	0	△ 9	△ 103	416	33	△ 5	332	0.4

③総所要時間前年比較

年＼所要時間	30分未満	30分以上40分未満	40分以上50分未満	50分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	計	平均所要時間
令和7年	229	299	715	1,395	7,500	443	10,581	76.2
令和6年	325	253	635	1,329	7,313	433	10,288	76.7
前年比	△ 96	46	80	66	186	11	293	△ 0.5

6、救急隊員の行った応急処置件数

事故種別 / 応急処置	急　病	交　通	一般負傷	その他	合　計
応急処置対象人員	6,295	521	1,467	1,471	9,754
止　血	25	8	50	13	96
固　定	44	170	170	71	455
人工呼吸	7	0	2	3	12
胸骨圧迫	0	0	0	1	1
心肺蘇生	127	1	22	17	167
酸素吸入	1,045	26	87	372	1,530
気道確保	153	1	24	26	204
保　温	89	17	19	18	143
被　覆	20	73	182	46	321
在宅療法継続	2	0	0	1	3
ショックパンツによる血圧の保持	0	0	0	0	0
電気ショック	15	0	1	3	19
静脈路確保（ブドウ糖投与）	5	0	0	0	5
静脈路確保(CPA前)	5	4	0	0	9
静脈路確保(CPA後)	49	1	11	9	70
薬剤投与	44	0	11	10	65
冷却・その他処置	5,612	457	1,303	1,333	8,705
血圧測定	5,955	510	1,394	1,434	9,293
聴診器による心音・呼吸音の聴取	2,607	166	386	397	3,556
血中酸素飽和度の測定	6,193	519	1,448	1,451	9,611
心電図	4,390	323	936	1,066	6,715
血糖測定	14	0	1	2	17
ブドウ糖投与	5	0	0	0	5

7、不搬送状況

理由 / 事故種別		辞退（到着前）	辞退（到着後）	拒否	明らかな死亡	他車（隊）搬送	傷病者なし	誤報・いたずら	その他	計
火　　災		0	2	0	1	0	22	0	0	25
自然災害		0	0	0	0	0	0	0	0	0
水　　難		0	0	0	0	0	0	0	0	0
交　　通		2	56	15	0	2	4	0	1	80
労働災害		0	2	0	0	0	0	0	0	2
運動競技		1	2	1	0	0	0	0	0	4
一般負傷		5	104	25	12	3	4	1	3	157
加　　害		1	4	4	0	0	0	0	0	9
自損行為		0	10	3	10	2	1	0	1	27
急　　病		30	293	74	96	3	14	24	9	543
その他	転院搬送	0	0	0	0	4	0	0	0	4
	医師搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資器材等搬送	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	1	3	0	4
計		39	473	122	119	14	46	28	14	855

8、応急手当の普及啓発活動状況

区分 / 年 / 講習種別	講習回数			受講人員		
	令和6年	令和7年	比較	令和6年	令和7年	比較
応急手当普及員講習	2	0	△ 2	14	0	△ 14
上級救命講習	1	1	0	37	38	1
普通救命講習	30	24	△ 6	553	592	39
うち普通救命講習Ⅰ	25	18	△ 7	461	450	△ 11
うち普通救命講習Ⅱ	0		0	0		0
うち普通救命講習Ⅲ	5	6	1	92	142	50
その他の講習	5	3	△ 2	10	5	△ 5
救命入門コース	119	123	4	4,200	4,036	△ 164
合　　計	157	151	△ 6	4,814	4,671	△ 143

1．救助の総括

① 活動概要

令和7年中（令和7年１月１日～令和7年１２月３１日）における救助活動概要は、出動件数130件、活動件数99件、救助人員104人となっている。

② 事故種別状況

救助出動件数を事故種別ごとに見てみると、最も多いのが建物等による事故６８件、次にその他の事故２６件、以下交通事故２１件、水難事故７件、ガス及び酸欠事故５件、機械による事故２件、火災１件となっている。

（事故種別の凡例）

１．火　　災

火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。

２．交通事故

全ての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

３．水難事故

水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。

４．風水害等自然災害事故

暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地すべりその他の異常な自然現象に起因する災害による事故をいう。

５．機械による事故

エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械等による事故をいう。

６．建物等による事故

建物、門、柵、へい等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。

７．ガス及び酸欠事故

一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故等をいう。

８．破裂事故

火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故をいう。

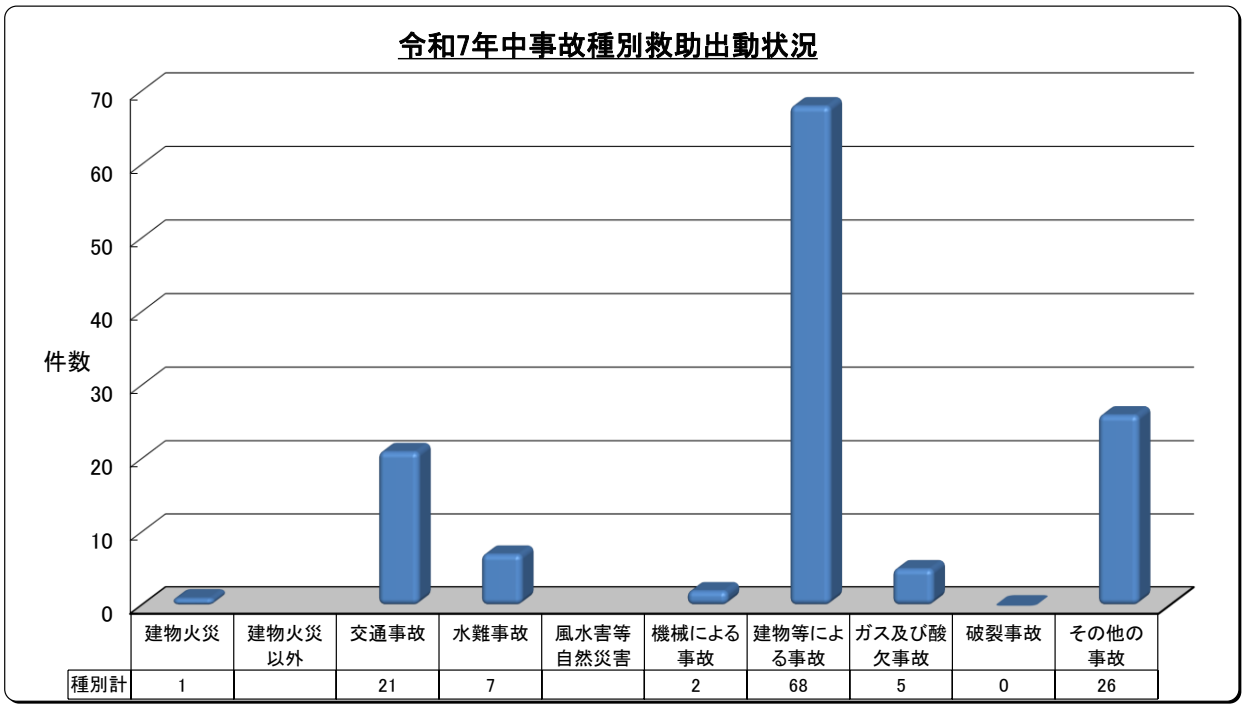
９．その他の事故

※　１．から８．に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたものをいう。

2. 救助の概要

① 事故種別救助出動状況

区分＼事故種別		建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合　計
出動件数		1		21	7		2	68	5		26	130
活動件数		1		14	6			51	4		23	99
救助人員		1		17	6			43	3		34	104
出動人員	救助隊員	7		153	53		16	220	39		121	609
	消防隊員	19		119	51		12	6	33		41	281
	救急隊員	6		84	18		6	201	15		84	414
	計	32		356	122		34	427	87		246	1,304
出動車両	救助工作車	2		40	13		4	68	10		33	170
	タンク車	3		14	4				2		3	26
	梯子車										1	1
	化学車	1		5	3		2	1	3		4	19
	指揮車等	1		19	7		2	1	5		7	42
	救急車	2		28	6		2	66	5		28	137
	その他	2		3	9						1	15
	計	11		109	42		10	136	25		77	410



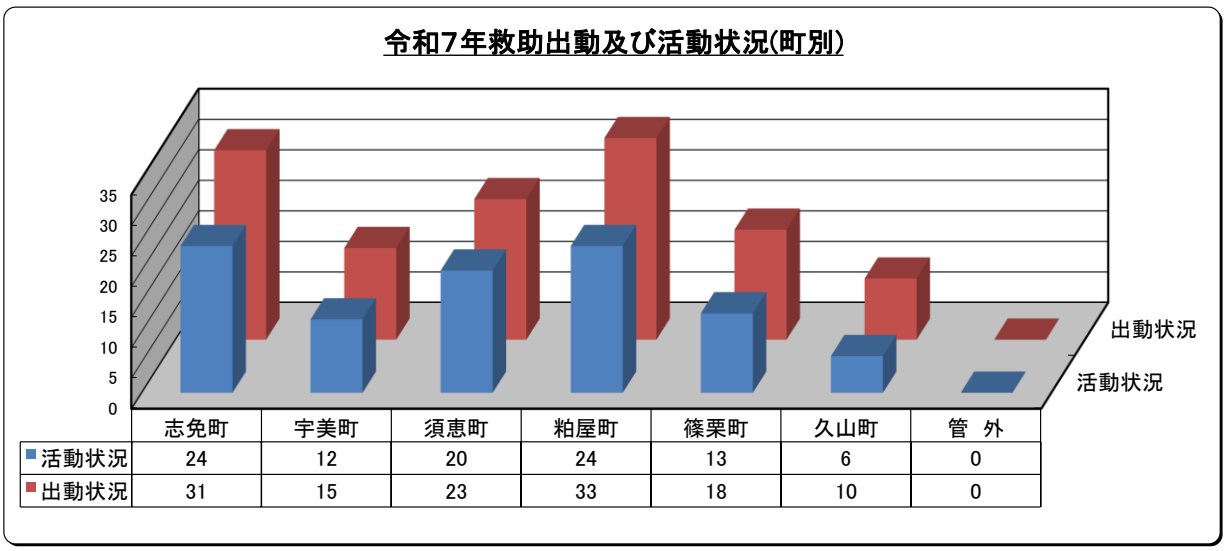
② 町別救助出動・活動状況

ア 出動状況

区分＼事故種別	建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合　計
志免町			4				21	1		5	31
宇美町			3	2		1	9				15
須恵町			4	2			11	1		5	23
粕屋町	1		4	2			18	1		7	33
篠栗町			2	1			8	1		6	18
久山町			4			1	1	1		3	10
管　外											
合　計	1		21	7		2	68	5		26	130

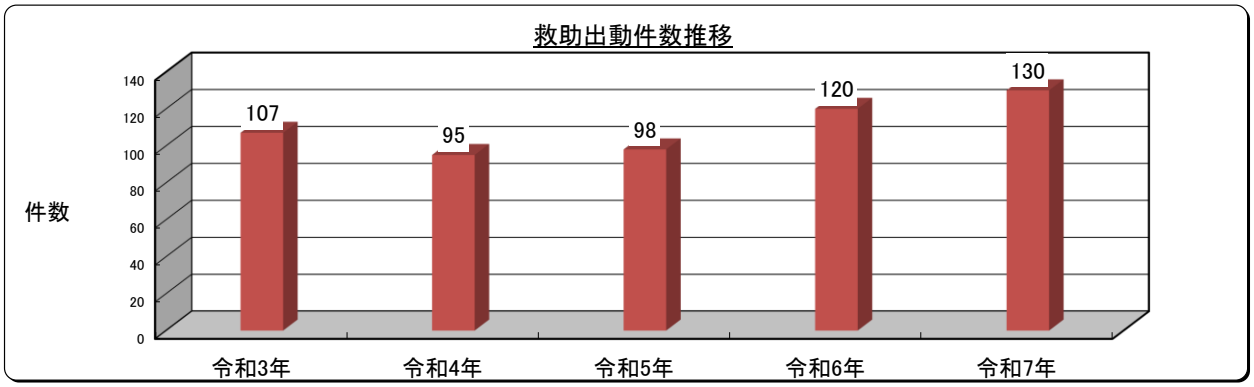
イ 活動状況

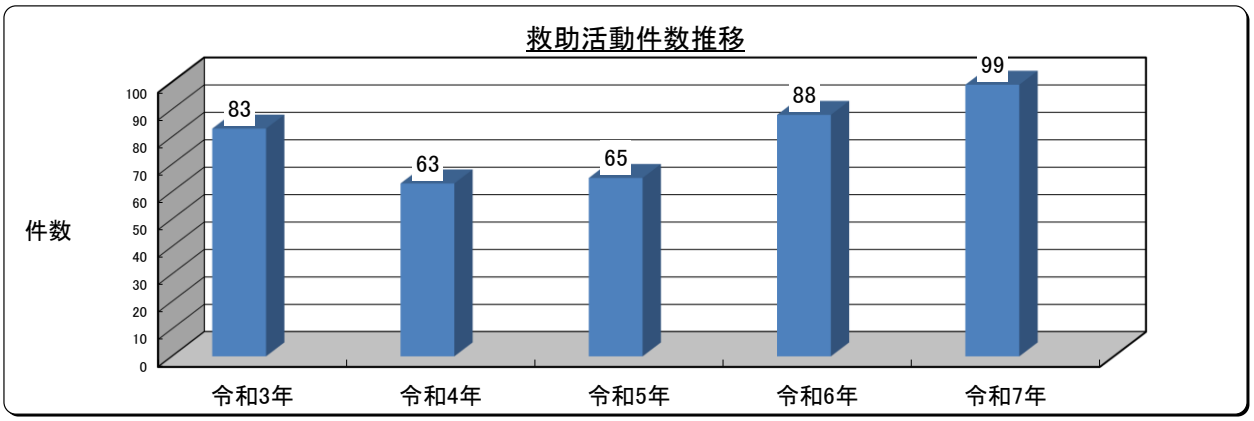
区分＼事故種別	建物火災	建物火災以外	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合　計
志免町			2				16	1		5	24
宇美町			3	2			7				12
須恵町			4	2			9			5	20
粕屋町	1		2	1			13	1		6	24
篠栗町			1	1			5	1		5	13
久山町			2				1	1		2	6
管　外											
合　計	1		14	6			51	4		23	99

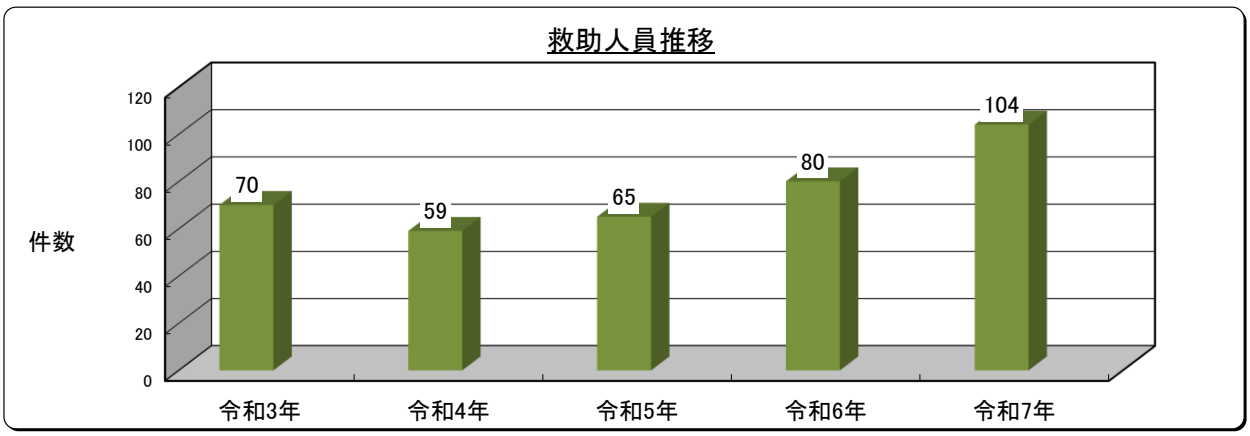


③ 救助出動件数、救助活動件数及び救助人員の推移

区分 / 年	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	対前年増減率	件数	対前年増減率	人員	対前年増減率
令和3年	107	33.8	83	59.6	70	48.9
令和4年	95	△ 11.2	63	△ 24.1	59	△ 15.7
令和5年	98	3.2	65	3.2	65	10.2
令和6年	120	22.4	88	35.4	80	23.1
令和7年	130	8.3	99	12.5	104	30.0







3 救助機械器具等の保有状況

	装備名		2026.4.1現在		
			南部	中部	計
救助器具	積載はしご	かぎ付チタン製	3	4	7
	〃	二連アルミ合金製	2	0	2
	〃	三連チタン製	2	4	6
	空気式救助マット		1	1	2
	マツト式空気ジャッキ		1	1	2
	救命索発射銃	空気圧式	0	0	0
	可搬式ウィンチ		2	2	4
	マンホール救出器具		1	0	1
	発動発電機	500W可搬式	11	5	16
	バスケットストレッチャー		2	2	4
	高度救助資機材	画像探索機Ⅰ型	1	0	1
	〃	画像探査機Ⅱ型(簡易画像探査機)	1	1	2
	〃	熱画像直視装置	1	2	3
	〃	地震警報器	1	0	1
	〃	夜間用暗視装置	1	0	1
	エアーテント		3	1	4
	救命ボート	ゴム製	1	1	2
	救命胴衣		36	46	82
	水中投光器		6	5	11
破壊器具	大型油圧式救助器具	スプレッダー	1	2	3
	〃	切断機	1	1	2
	〃	ジャッキ	1	1	2
	バッテリー式救助用破壊器具	カッター、ドリル	4	0	4
	空気式救助器具	エアカッター	1	1	2
	〃	エアソー	1	1	2
	エンジンカッター		1	2	3
	チェンソー		3	2	5
	削岩機		1	1	2
	ハンマードリル		2	1	3
	鉄線(鉄筋)カッター		8	6	14
	酸素溶断機		1	1	2
	万能斧		4	9	13
	携帯用コンクリート破砕機		1	1	2
保護器具	防護服	化学防護服	9	6	15
	〃	耐熱防護服	2	2	4
	耐電衣	耐電用防護服	2	2	4
	防毒マスク		5	3	8
	呼吸器	空気呼吸器	17	19	36
	〃	酸素呼吸器	0	2	2
	〃	簡易呼吸器	5	0	5
保護器具	潜水器具		5	5	10
	携帯警報機		11	16	27
	送排風機		1	1	2
	防塵めがね		0	3	3
通信器具	携帯無線機	260MHz	14	12	26
	携帯電話		4	5	9
測定器具	可燃性ガス測定器		2	3	5
	有毒ガス測定器		2	2	4
	酸素濃度測定器		2	3	5
	放射線測定器		1	1	2
	個人線量計		6	0	6
	ガンマ線及びエックス線用線量率計		1	0	1
	表面汚染検査計		1	0	1

※本表は、救助隊及び消防隊の保有救助資機材の合計

1　通信指令系統図

令和8年4月1日現在



粕屋南部消防本部


情報処理端末装置


指令端末装置


無線機
（粕南消防）

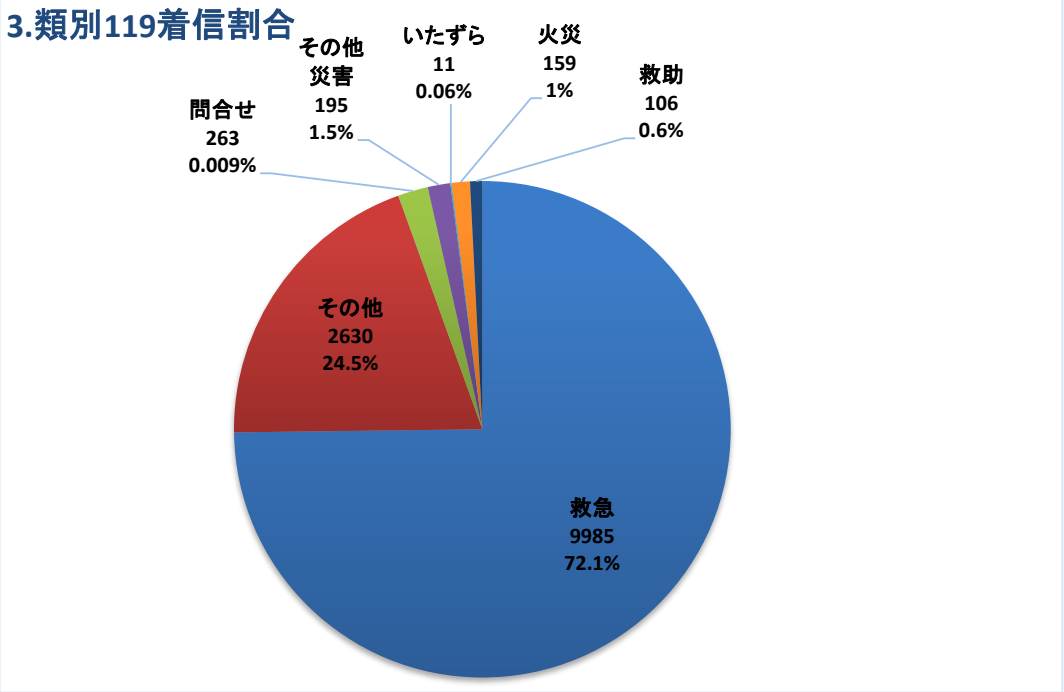

ヘルプ119
（通報者・通信員・署員）


大災害時
（119分散受信）

2　月別119着信数内訳

（令和7年中）

種別／月別	火災	救急	その他災害（救助除く）	救助	問合せ	いたずら	その他（誤報・試験訓練・転送等）	計
1	6	1,004	17	7	34	0	190	1,258
2	4	844	13	7	19	1	178	1,066
3	1	984	22	12	31	0	292	1,342
4	6	780	13	5	27	0	241	1,072
5	10	800	12	6	25	4	346	1,203
6	9	807	16	10	23	3	313	1,181
7	19	938	14	9	24	0	268	1,272
8	6	828	36	7	32	2	205	1,116
9	4	773	31	10	18	0	240	1,076
10	6	821	14	10	17	0	265	1,133
11	12	802	12	12	20	1	272	1,131
12	13	954	23	19	31	1	231	1,272
計	96	10,335	223	114	301	12	3,041	14,122



消防団編

1　消防団の歴史・・・・・・・・・・・・・104
2　消防団の組織・・・・・・・・・・・・・106
3　消防団員の年齢・・・・・・・・・・・・108
4　消防団員の勤務年数・・・・・・・・・・109
5　消防団の装備状況・・・・・・・・・・・109
6　火災出場状況・・・・・・・・・・・・・109
7　消防連絡協議会・・・・・・・・・・・・110

1　消防団の歴史

1　江戸時代

消防団の歴史は古く、江戸時代、八代将軍吉宗が、江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、町組織としての火消組である店火消（たなびけし）を編成替えし、町火消「いろは四八組」を設置させたことが今日の消防団の前身であるといわれています。



各火消組に「いろは」等の名前を付けたことにより、お互いの名誉にかけて競い合って働くという結果が生じ、消防の発展に多大な成果を得ることとなりました。町火消は町奉行の監督下にあったものの、純然たる自治組織であり、経費の一切が町負担で、組織、人員等も町役人の自由に委ねられていました。しかもその費用は、ほとんど器具設備等の購入に費やされ、組員は無報酬でした。

そのころの村落部の消防については、駆付消防が主で城下町のような組織的なものはありませんでした。この駆付消防は、古くは「大化の改新」後の 5 戸制度を起源とする 5 人組と現在の青年部ともいうべき若者組が当たりました。

2　明治～大正時代

明治時代、町火消は東京府に移管され、東京府は明治 3 年（1870 年）に消防局を置き、町火消を改組し消防組としました。明治 6 年（1873 年）に消防事務は内務省に移され、東京府下の消防は、翌明治 7 年（1873 年）に新設された東京警視庁に移されたので、東京警視庁では、直ちに消防組に関する消防章程を制定しました。これが明治の消防の組織活動の基礎となりました。

しかし、全国的には公設消防組は少なく、ほとんどが自治組織としての私設消防組であり、それも名だけというものが多かったのです。そこで、政府は社会の発展に即応する効率的な消防組織の育成を図るため、地方制度再編成を機会に、明治 27 年（1894 年）に消防組規則（勅令第 15 号）を制定し、消防組を府県知事の管掌として全国的な統一を図りました。具体的な内容は、消防組は知事が職権をもって設置すべきもので、今までの既設の消防組を認めたり、また市町村が自ら組織したものを認可することではいけないという強硬な絶対的至上命令なもので、消防組は知事の警察権に掌握されながら、その費用は一切市町村で負担するべきものと規定されていました。規則施行後にも、消防組の設立は遅々として進まなかったものの、警察署長等の積極的な働きかけなどにより、大正時代末には飛躍的にその数が増大していくこととなりました。

3　昭和時代（戦前）

昭和 4、5 年（1929、30 年）頃から、軍部の指導により、民間防空団体として防護団が各地に結成されました。昭和 12 年（1937 年）には防空法が制定され、国際情勢が悪化してゆく中、国防体制の整備が急がれるようになりました。昭和 13 年（1938 年）に内務次官名で消防組、防護団の統一について両団体統合要綱案が通牒され、勅令制定の基礎となる両団体統合の要綱が決定されました。これらを経て、消防組と防護団を統合し新たな警防組織を設けるため、昭和 14 年（1939 年）1 月に勅令をもって「警防団令」を公布しました。これにより、明治以来の消防組は解消し、警防団として同年 4 月 1 日に全国一斉に発足され、警察の補助機関として従来の水火消防業務に防空の任務を加えられて終戦に至りました。

4　昭和時代（戦後）

戦後、米国調査団の報告により、警察と消防の分離が勧告され、それに伴い総司令部から警察制度の改革について指示が行われました。内務省は警察制度審議会の答申を受け、昭和 22 年（1947 年）4 月 30 日に消防団令を公布。これにより従来の警防団は解消され、新たに全国の市町村に自主的民主的な「消防団」が組織されることとなりました。

しかし、警察制度審議会の答申及び政府の考え方に対して、総司令部は、その民主化の内容が不徹底と考え、答申に沿った警察制度の改革案に了承を与えませんでした。政府は消防組織法案を作成し、総司令部の了解を求めたものの、総司令部は消防制度に関する覚書案を一部修正し（覚書中「市町村公安委員会」を「自治体消防は市町村の管理に属する」と変更）民間情報局作成の法案要綱をあわせて通知してきました。内務省では、これに基づき法案を修正し、昭和 22 年（1947 年）12 月 23 日に消防組織法の公布が行われました。これにより、消防が警察から分離独立するとともに、すべて市町村の責務に移されました。また、消防組織法の趣旨の徹底と勅令であった消防団令を政令に改めるために、昭和 23 年（1948 年）3 月 24 日に新たな消防団令が公布され、消防団は義務設置から任意設置制になり、消防団に対する指揮監督権が警察部長又は警察署長（消防署長）から市長村長、消防長又は消防署長に移され、府県知事にあった市町村条例の認可権や消防団事務の監察権が廃止されました。

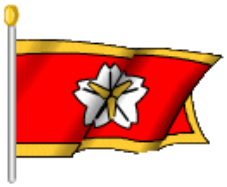
その後、消防団令は根拠法について明確を欠くものがあり、政令は法律に特別の委任がある場合を除くほか、その規定し得る範囲は憲法又は法律により既に定められている事項を実際に執行するために必要な定めをするいわゆる執行命令に限定されるものであり（憲法第 73 条第 6 号）、また法律の委任がなければ義務を課したり、権利を制限する規定を設けることは出来ない（内閣法第 11 条）ものであるから、そのような性質を持つ政令で消防団に関する基本的な事項を規定しておくことは適当でないという見解のもとに、消防組織法に第 15 条の 2 を追加し、同時に消防団令は廃止されました。

その後、組織法制定後も火災が頻発し日本再建途上の一大障害となっている情勢下で、消防組織の強化、拡充を図るため、昭和 26 年（1951 年）3 月に議員立法により消防組織法が改正されました。これにより、任意設置であった消防機関の設置は義務設置となりました。

このように、消防団は、江戸時代に義勇消防の元祖として発足して以来、様々な変遷を経て今日に至っています。







2 消防団の組織

消防団は、郷土愛護の精神に基づいて民間の有志の人々によって組織されており、消防団員は、各自の職業に従事しながら、災害が発生した際に、招集されて消防活動に従事します。
非常時は、本来の職を投げうって、郷土を災害から守るため献身的な活動を行っています。

志免町消防団　　団長　**濱﨑　義則**

分団名	担当区域
中央分団	志免 4、志免 6
第一分団	田富、成和町内ガーデン、下河原組合
第二分団	吉原、水鉛、桜丘1、桜丘中央、桜丘南
第三分団	志免 3、志免 5、坂瀬団地、向ヶ丘、石橋台、成和町内石櫃
第四分団	東区、松ヶ丘、成和町内南、緑風会組合
第五分団	志免 2
第六分団	南里1、南里 2、南里 3、王子八幡
第七分団	別府、別府 1、鏡、アネシス
第八分団	別府 2、別府 3、サンリヤン
第九分団	御手洗

宇美町消防団　　団長　**櫻木　正守**

分団名	担当区域
本部分団	辻荒木
第一分団	上ノ原、障子岳、宇美東、山ノ内、飛岳1、飛岳 2、飛岳 3
第二分団	福博中央、早見、四王寺坂 3
第三分団	上宇美 1、上宇美 2、上宇美本通り、上河原
第四分団	井野、新井野、平成、ひばりが丘 1 ひばりが丘 2、ひばりが丘 3
第五分団	桜原、馬場、下宇美、林崎、浦田、大名坂
第六分団	炭焼 1、炭焼 2、炭焼 3、炭焼 4、大谷、四王寺、末広、貴船
第七分団	原田下、原田中央、原田上、明治町、仲山、四王寺坂 2
第九分団	鎌倉、福博鎌倉、新成、四王寺坂 1
第十分団	三原、黒穂、柳原、神山手

須恵町消防団　　団長　**村山　真太郎**

分団名	担当区域
本部分団	南米里、大島原、川子一、川子二
新原分団	新原
新生分団	山の神、恵西、昭穂
飛越分団	西原、旭ケ丘
旅石分団	旅石
乙植木分団	乙植木
甲植木分団	甲植木、長札
須恵分団	須恵、城山
上須恵分団	上須恵、藤浦
佐谷分団	佐谷

粕屋町消防団　　団長　**小西　寿良**

分団名	担当区域
本部分団	粕屋町全域
第一分団	大隈、朝日
第二分団	上大隈
第三分団	江辻
第四分団	戸原、長戸
第五分団	長者原上、長者原中、長者原下
第六分団	内橋1、内橋 2、内橋 3、多の津、サンライフ
第七分団	柚須
第八分団	原町
第九分団	若宮
第十分団	乙仲原東、乙仲原西、阿恵
第十一分団	甲仲原、駕輿丁
第十二分団	酒殿
第十三分団	花ヶ浦
女　性　消　防　隊	

篠栗町消防団　　団長　**髙倉　拓馬**

分団名	担当区域
第一分団	城戸、山手、山王
第二分団	下町、大勢門
第三分団	新町、庄、若杉
第四分団	尾仲、乙犬
第五分団	田中、明治、池の端
第六分団	高田、金出
第七分団	萩尾
第八分団	篠栗町全域
第九分団	上町、中町
第十分団	津波黒、和田
女　性　消　防　隊	

久山町消防団　　団長　**井上　貴寛**

分団名	担当区域
本部分団	東久原、草場
第一分団	猪野
第二分団	上山田
第三分団	下山田
第四分団	上久原
第五分団	中久原
第六分団	下久原
女　性　消　防　隊	



３ 消防団員の年齢

令和8年4月1日現在

区分 / 年齢	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
17							
18			1			7	8
19	1		3	1	1	6	12
20	3	3	4	8	1	4	23
21	2	8	5	4	3	6	28
22		3	4	9	4	13	33
23	7	8	5	9	8	3	40
24	12	2	4	10	8	5	41
25	4	8	5	6	5	2	30
26	2	14	7	7	8	7	45
27	6	2	5	5	6	8	32
28	6	4	5	9	5	5	34
29	1	5	7	12	8	2	35
30	4	6	7	13	9	7	46
31	5	8	7	9	8	8	45
32	8	3	5	12	14	8	50
33	1	11	5	5	4	2	28
34	9	6	8	11	11	2	47
35	5	7	9	5	7	5	38
36	4	7	6	7	10	5	39
37	8	8	9	12	8	7	52
38	7	5	5	8	8	5	38
39	11	7	1	6	10	4	39
40	3	2	2		15		22
41	3	3	1		9		16
42	4	2	3		11		20
43	8	3	2		6		19
44	4	3			8	1	16
45		1			6		7
46	2	2		1	1		6
47	1	1		2	5	1	10
48	1						1
49		2			1	1	4
50		3					3
51							
52							
53							
54							
55							
56							
合計	132	147	125	171	208	124	907
平均年齢	33.0	32.0	30.0	30.0	34.0	28.0	31.6
条例定数	200	197	170	228	260	168	1223

4 消防団員の勤務年数

令和8年4月1日現在

区分 / 勤務年数	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
5 年 未 満	40	57	48	76	75	61	357
5年以上10年未満	26	30	31	48	50	32	217
10年以上15年未満	25	33	26	35	43	23	185
15年以上20年未満	29	18	21	11	29	7	115
20年以上25年未満	11	5	2	1	11	1	31
25 年 以 上	1	4					5
合 計	132	147	128	171	208	124	910

5 消防団装備状況

令和8年4月1日現在

区分 / 装 備	志免町	宇美町	須恵町	粕屋町	篠栗町	久山町	合計
普通消防ポンプ自動車	5	6	3	12	4	4	34
水槽付消防ポンプ自動車					1		1
小型動力ポンプ積載車	5	4	7	3	15	3	37
小型動力ポンプ	5	5		4	15	3	25
指 揮 車	1	1	1	1	3	1	8
合 計	16	16	11	16	38	8	105

6 火災出動状況

令和7年中

区分 / 月別	件数	消防団												計	
		志免町		宇美町		須恵町		粕屋町		篠栗町		久山町			
		車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員
1														0	0
2								6	24					6	24
3														0	0
4								2	20					2	20
5		11	78			1	1	6	34					18	113
6								17	126					17	126
7				11	59	2	2					2	15	15	76
8								1	12			7	43	8	55
9						1	2							1	2
10														0	0
11						1	1	1	12					2	13
12						1	2	14	62					15	64
計	0	11	78	11	59	6	8	47	290	0	0	9	58	84	493

7　消防連絡協議会

消防本部、署及び構成町並びに消防団が一体となり、消防業務及び消防技術の総合的研究を行い、消防の健全な発展に寄与することなどを目的とする組織です。

（令和8年9月現在）

所　　属	職　　名	氏　　名
志免町	消防団長	濱﨑　義則
	消防副団長	吉村　太地
	消防副団長	平田　滋栄
	生活安全課長	瀬田　修一
	消防主任	寺田　力
宇美町	消防団長	櫻木　正守
	消防副団長	竹内　文樹
	消防副団長	平　篤範
	地域コミュニティ課長	藤木　義和
	消防主任	八並　雄大
須恵町	消防団長	村山　真太郎
	消防副団長	江藤　拓児
	消防副団長	田原　博明
	地域コミュニティ課長	御手洗　徳行
	消防主任	園田　展也
粕屋町	消防団長	小西　寿良
	消防副団長	松永　徳太郎
	消防副団長	安河内　隆信
	地域共創課長	青木　裕次
	消防主任	因　拓也
篠栗町	消防団長	髙倉　拓馬
	消防副団長	塔野　秀幸
	消防副団長	井上　穣
	総務課長	有隅　哲哉
	消防主任	関　光一郎
久山町	消防団長	井上　貴寛
	消防副団長	梶原　茂則
	消防副団長	淀川　裕和
	総務課長	久芳　浩二
	消防主任	中山　幸一



粕屋南部消防組合消防本部

〒811-2204
福岡県糟屋郡志免町大字田富 170 番地
（代表）092-935-5111
http://www.kasuyananbu-shobo.jp/